

令和4年度施策運営目標に対する行政評価

令和5年5月

関西広域連合

関西広域連合施策運営目標期末評価について

1 趣旨

関西広域連合では、広域連合委員会が全委員の合意を原則とし、広域連合議会とともに、関西全体の広域行政を推進している。

また、事務の遂行に当たっては、広域連合協議会からの意見等を踏まえ取り組んでいる。

こうした体制を基本に、行政評価については、より効果的・効率的な広域行政運営及び施策の企画立案に活用するため、客観的な施策目標・指標に基づくPDCAサイクルを回すとともに、自己評価方式による施策運営目標評価を実施している。

2 自己評価の実施主体

本部事務局及び各分野事務局（以下「担当事務局」）がそれぞれの担当事務に応じて自己評価方式で実施する。

3 自己評価の方法

広域計画に基づく中長期的な戦略的課題の設定をした上で、年度ごとにおける施策推進上の目標を設け、事業の達成状況及び効果を把握し、必要性、効率性、有効性などの観点から自ら評価を実施し、その結果を事務事業に反映する（単年度評価・実績評価）。

- ・担当事務ごとに達成目標の設定を行い、評価を行う。
- ・中間評価及び期末評価を実施し、期末評価については、外部有識者から意見聴取を行った上で最終評価とする。

【評価と基準】

- A 達成 （設定した目標を達成）
- B 部分達成 （設定した目標のうち一部達成）
- C 未達成 （設定した目標が未達成）

なお、新型コロナウイルス感染症の影響により、事業の全てを中止又は延期したものについては「評価なし」とした。

また、新型コロナウイルス感染症の影響により、計画どおりの実施が困難となった事業については、総括表において各評価の横に「※」をつけた。

令和4年度施策運営目標評価結果に対する外部有識者からの主な意見

担当事務局で行った自己評価に対して、広域計画等推進委員会の座長である同志社大学 新川達郎 名誉教授 より意見を聴取した。

主な意見は、以下のとおり。

◆主な意見

- ・ インプット、アウトプット、アウトカムの違いを明確にすることが重要である。
- ・ アウトカムについては、そもそもその事業が何を目指しているかという本来の事業目的を明確にしたうえで設定することが重要であり、単年度の目標達成度の指標として設定するのではなく、広域計画3年間の目標に対するアウトカムになっているかどうか、その達成状況を的確に示しているかどうかについて、留意する必要がある。
- ・ 特に、情報発信事業においては、参加者数や閲覧数などの量的な把握だけでなく、伝えたい情報が実際に伝わったかどうか、その宣伝効果の「質」についても的確に捉えられるように工夫し、住民の理解度・認知度の把握に努めることが重要である。

令和4年度各分野事務局等施策運営目標の期末評価について

1	令和4年度各分野事務局等施策運営目標期末評価について（総括）	1
2	分野等別個表	
	○ 危機に強く、防災・減災のモデルとなる関西	11
	○ 医療における安全・安心ネットワークが確立された関西	15
	○ 国内外にわたる観光・文化・スポーツの交流拠点関西	
	・ 観光・文化の振興	22
	・ スポーツの振興	29
	・ ジオパークの推進	36
	○ 世界に開かれた経済拠点関西	
	・ 産業の振興	37
	・ 農林水産業の振興	44
	・ イノベーションの推進	48
	○ 地球環境・地球環境問題に対応し、環境・経済・社会の統合的向上による持続可能な関西	
	・ 環境保全の推進	49
	・ プラスチック対策の推進	54
	・ エネルギー政策の推進	55
	○ 人・モノ・情報が集積する基盤を有する世界のネットワーク拠点関西	56
	○ 共同化による事務処理の効率化及び行政効果の向上	
	・ 資格試験・免許等事務の一元的な実施・管理による効率化	57
	・ 広域職員研修の実施	58
	○ 国土の双眼構造を実現し、分権型社会を先導する関西	59
	関西における広域行政の責任主体としての役割を担う関西広域連合	
	○ 関西広域連合が目指すべき将来像の実現	61

令和4年度各分野事務局等施策運営目標の期末評価について(総括)

分野事務局等	施策運営目標	アウトプット(主な取組)	目標数値・アウトカム	評価			ページ
				アウトプット	達成数値・アウトカム		
広域防災	1 大規模広域災害を想定した広域対応の推進	1 関西防災・減災プラン(感染症対策編(新型インフルエンザ等))の見直し	関西全体の大規模広域災害への対応力の向上	評価なし	評価なし	—	11
		2 災害時相互応援協定を締結している九都県市等と相互の訓練参加や情報交換	災害時における相互応援体制の構築及び災害対応能力の向上	A	A	—	11
		3 南海トラフ地震を想定した広域応援訓練、緊急物資円滑供給連携訓練	訓練満足度:85%以上	A	A	98%	12
		4 関西における災害時の円滑な物資供給の実現に取り組むため、民間事業者等との連携強化を図り、「緊急物資円滑供給システム」の実効性を確保	ワークショップ満足度:85%以上	A	A	98%	12
	2 防災・減災事業の推進	1 災害時帰宅支援ステーション事業の普及啓発、帰宅困難者対策訓練(図上)の実施	①協力店舗数:12,000店舗 ②訓練参加団体数:15団体	A A	A A	12,256 店舗 51団体	13
		2 防災担当職員向け基礎研修及び災害救助法等専門研修	研修理解度:85%以上	A	A	95.6%	13
		3 防災イベント等への出展	出展ブースへの来場者数:900人	A	A	1,100人以上	14
		4 防災庁創設に向け、「防災庁」の必要性について国民的な理解を深めるため、防災イベントでのPRやセミナー等を開催	防災庁創設に関する、国、国民、関係機関等の理解深化	A	A	—	14

令和4年度各分野事務局等施策運営目標の期末評価について(総括)

分野事務局等	施策運営目標	アウトプット(主な取組)	目標数値・アウトカム	評価			ページ
				アウトプット	達成数値・アウトカム		
広域医療	1 「関西広域救急医療連携計画」の推進	1 関西広域救急医療連携計画推進委員会の開催	広域救急医療連携の充実	A	A	—	15
	2 広域救急医療体制の充実	1 ドクターヘリ運航事業の実施・支援	ドクターヘリレジストリへの参加基地病院数:6病院(対R3 1病院増)	A	A	6病院	16
		2 ドクターヘリ関係者会議を開催し、諸課題について調整・検討及び研究	円滑かつ効果的な広域救急医療体制の構築	A	A	—	16
		3 広域連合管内のドクターヘリ基地病院と連携し、OJT等の実践的な研修を実施	ドクターヘリ搭乗医師・看護師数:279名(対R3 7人増)	A	A	291名	17
		4 フライドクター及びフライトナースが参加するドクターヘリ基地病院交流・連絡会を開催し、研究発表、情報交換等を実施	連絡会議参加者数:28人	評価なし	評価なし	—	17
		5 ドクターヘリ普及・啓発イベントの実施	見学会アンケート満足度:80%以上	B ※	評価なし	見学会は実施できず	17
		6 近畿ブロック周産期医療広域連携検討会を開催し、広域連携の取組状況、ドクターヘリの運用等について情報共有	周産期医療の連携体制の充実	A	A	—	18
	3 災害時における広域医療体制の強化	1 CBRNE災害への対応に関するセミナーの実施	満足度:80%以上	A	A	95%	18
		2 感染症対策に係る情報共有及び感染症担当者会議の実施	先進事例等の情報共有による取組の充実	A	A	—	19
		3 災害医療コーディネーター等に対する研修会の実施	研修満足度:80%以上	A	A	100%	19
		4 近畿府県合同防災訓練等、広域的な災害医療訓練実施	連合管内参加DMAT数:30チーム	A	A	61チーム	19
		5 特殊災害に係る体制構築に向けた検討、情報共有	特殊災害への対応力向上	A	A	—	20
		6 広域災害救急医療情報システム(EMIS)の入力訓練等の実施	通信訓練参加府県市:5府県市以上	A	A	7府県	20
	4 課題解決に向けた広域医療体制の構築	1 薬物乱用防止対策に係る研修会、担当者会の実施	担当者会参加者の満足度:80%以上	A	A	96%	21
		2 広域医療連携に係る調査及び広報	担当者会参加者の満足度:80%以上	A	A	95.5%	21

令和4年度各分野事務局等施策運営目標の期末評価について(総括)

分野事務局等	施策運営目標	アウトプット(主な取組)	目標数値・アウトカム	評価			ページ
				アウトプット	達成数値・アウトカム		
広域観光・文化・スポーツ振興 (観光振興)	1 多様な広域観光の展開による関西への誘客	1 観光振興に係るノウハウや知見、成功事例等を共有し、テーマを通じて関西の魅力を発信	訪日検討層の訪関西意向率:41.1%	A	A	40.6%	22
	2 戦略的なプロモーションの展開	1 訪日観光客の増加が期待できる市場に対して観光プロモーションを実施し、関西への誘客を図るための情報を発信	官民連携による海外メディア招請及び情報発信、Web商談会等への出展回数:3回	A	A	19回	23
	3 外国人観光客の受入を拡大し、周遊力・滞在力を高める観光基盤の整備	1 通訳案内士の登録業務の実施及び人材育成のためスキルアップ研修の実施	・通訳案内士研修受講者数:200人 ・習熟度:80%以上	A	A	(のべ)236人 93.9%	23
		2 新たな周遊ルートの作成や受入環境の整備の実施	広域観光・周遊ルートの商品造成数:年2商品	A	A	5商品	24
	4 関西の強みを活かした文化・スポーツ観光の展開	1 情報発信サイト「The KANSAI Guide」により関西の見所をタイムリーに発信し、新たな観光需要を創出	「The KANSAI Guide」の ・年間訪問者数:65万人 ・年間閲覧数:100万ビュー	A	A	81万人 165万ビュー	24
	5 官民が一体となった広域連携DMOの取組の推進	1 官民一体で設立した広域観光DMO「関西観光本部」による観光プロモーション等の戦略的実施	官民連携による海外メディア招請及び情報発信、Web商談会等への出展回数:3回	A	A	19回	25
広域観光・文化・スポーツ振興 (文化振興)	6 関西文化の振興と国内外への魅力発信	1 テーマで古墳を結んだ周遊コースを造成し、まんが、イラスト等を活用したPRを実施	5コース作成	A	A	5コース	25
		2 関西エリアの文化芸術に関する構成府県市の支援策や相談窓口等を関西広域連合のホームページで発信	「関西の文化芸術関係者に向けた支援や相談窓口について」ページビュー数:2,000ビュー以上	A	C	770ビュー	26
	7 連携交流による関西文化の一層の向上	1 ・歴史文化遺産をテーマに文化庁地域文化創生本部等と連携したフォーラムの開催 ・世界遺産・日本遺産等の一体的な情報発信 等	来場者の世界遺産への関心向上:80%以上	A	A	90%以上	26
	8 関西文化の次世代継承	1 関西地域の文化団体や指導者等と連携し、次代を担う子どもたちが伝統文化・生活文化を体験できる教室を開催	オンライン教室の参加者数及び動画の視聴者数:800人以上	A	A	2,156人	27
	9 産学官連携による関西文化の創造	1 ・文化庁の関西本格移転や大阪・関西万博等に向け、関西からの文化発信事業を検討する「はなやか関西・文化戦略会議」を開催 ・産学官連携プラットフォームを創設し、事業を検討	プラットフォームの企画による事業を実施	A	A	2事業	27
		2 文化庁移転機運を醸成するイベント等を活用し関西経済連合会と連携した文化と産業の融合につながる交流イベントの実施	来場者:200人以上	A	A	1,500人	28
	10 文化庁移転等を契機とした関西文化の振興	1 関西文化の情報を一元的に扱うポータルサイトを開発し、サイト利用情報等のビックデータ及びAIの活用による利用者の好みに応じた文化情報、モデルルートを提案	サイトのページビュー数:120万以上	A	A	166万ビュー	28

令和4年度各分野事務局等施策運営目標の期末評価について(総括)

分野事務局等	施策運営目標	アウトプット(主な取組)	目標数値・アウトカム	評価			ページ	
				アウトプット	達成数値・アウトカム			
広域観光・文化・スポーツ振興(スポーツ振興)	1 「ワールドマスターズゲームズ2021関西」の開催支援	1 「ワールドマスターズゲームズ2021関西」をはじめとした生涯スポーツ大会への参加を勧奨するため、スポーツ活動への参加を促すキャンペーン等を実施	WMG2021関西認知度:全国25% 近畿50%	B ※	—	—	29	
		2 ワールドマスターズゲームズ2021関西組織委員会が実施する「インターカレッジコンペティション2022」の支援	参加チーム:25チーム以上	B	B	13チーム	29	
		3 運動習慣の促進と定着を図るため、デジタル技術を活用したウォーキングイベントの開催	参加人数:2,000人以上	A	A	5,314人	30	
		4 「関西マスターズゲームズ」の開催	参加人数 ・広域大会:1,000人以上 ・冠称大会:50,000人以上	A	A	1,376人 58,902人	30	
	2 「生涯スポーツ先進地域関西」の実現	1 ・関西圏域内の総合型地域スポーツクラブ等の小学生を対象としたスポーツ交流大会の実施 構成府県市開催の「スポーツ障害予防講習会」や「他分野リンクイベント」を「冠称事業」として実施	・スポーツ交流大会への全構成府県市から選手参加	B ※	B ※	4府県市	31	
			・スポーツ障害予防講習会等参加者数:500人以上	評価なし	評価なし	中止		
		2 スポーツを通じた女性の活躍を促進するため、スポーツイベント等の企画や参加形態、情報発信の充実などの方策を検討	女性のスポーツに特化したホームページの開設	B	B	—	31	
		3 国際競技大会やスポーツイベント等の情報発信及びホームページによる障害者スポーツに関する情報発信	ホームページアクセス数:1,000ビュー	A	A	1,394ビュー	32	
		4 障害者競技種目の体験会を大型商業施設などPR効果の高い会場で開催	参加者の満足度:85%以上	A	—	調査実施せず	32	
	3 「スポーツの聖地関西」の実現	5 スポーツ振興に積極的な企業やスポーツを通じて健康経営に積極的に取り組む企業等に対する表彰を実施	全構成府県市から応募	A	A	12府県市	32	
			1 世界パラ陸上に向けて、アスリート育成練習会、障害者スポーツ体験会を開催	参加者満足度:80%以上	A	—	調査実施せず	33
			2 関西圏域内で開催される国際競技大会や全国大会、スポーツイベントなどを掲載したホームページを運用し、指導者・ボランティア情報やスポーツツーリズム情報を一体的に発信	ホームページアクセス数:50,000ビュー	A	C	8,770ビュー	33
			3 パラパワーリフティング及びボッチャ、パラ水泳の育成練習会の開催	参加者満足度:85%以上	A	—	調査実施せず	34
	4 「スポーツツーリズム先進地域関西」の実現	4 普遍的なコーチング技術について、国際競技大会等で実績のある指導者を招聘し、関西圏域内のスポーツ指導者に向けた講習会を開催	参加者の理解度・満足度:80%以上	A	A	98.4%	34	
			1 関西圏域内で開催される国際競技大会や全国大会、スポーツイベントなどを掲載したホームページを運用し、指導者・ボランティア情報やスポーツツーリズム情報を一体的に発信	ホームページアクセス数:50,000ビュー	A	C	8,770ビュー	35
			2 周遊プログラムとして開発したサイクリングルートを活用したイベントを開催	参加者数:500人以上	A	A	511名	35

令和4年度各分野事務局等施策運営目標の期末評価について(総括)

分野事務局等	施策運営目標	アウトプット(主な取組)	目標数値・アウトカム	評価			ページ
				アウトプット	達成数値・アウトカム		
広域観光・文化・スポーツ振興(ジオパーク推進)	1 多様な広域観光の展開による関西への誘客	1 ・国内外に向けた観光プロモーションによるPR ・ジオパークを巡る周遊観光促進 ・ジオパークに通じた人材の育成	ジオパーク拠点施設への入込客数:53万人以上	A	A	61万人	36
広域産業振興	1 関西の優位性を活かしたイノベーション創出環境・機能の強化	1 スタートアップデータベースへの登録、国内イベントや海外メディアでの情報発信、情報発信イベントの開催、ポータルサイトの運営、情報発信等の実施	・スタートアップDBへの登録:50社	A	A	205社	37
		2 「Bio Japan」等へのブース出展等を行い、関西のポテンシャル等を発信	Bio Japanマッチング件数: 参加企業数(11社)×6倍以上	A	A	183件 参加企業数 ×16.6倍	38
		3 ものづくり企業の医療機器分野への参入を支援するための相談事業の実施	相談件数:250件以上	A	B	236件	38
		4 「グリーン・イノベーション研究成果企業化促進フォーラム」の実施	参加者数:200人以上 マッチング件数:フォーラム発表数(7件)×7.4倍以上	A	B	208人 34件 発表数× 4.8倍	39
	2 高付加価値化による中堅・中小企業等の成長支援	1 公設試験研究機関の一体的な運用にむけた取組や入口から出口までシームレスに企業を支援する広域的プラットフォームの構築	産業技術支援フェア参加者数:250人以上 「かんさいラボサーチ」アクセス数:23,000件以上	A	A	471人 23,668件	40
		2 プラスチックに代わる素材や製品の開発に向けた情報提供や研究開発支援、新たに創出された製品の販路拡大支援等	展示商談会等の総来場者数:1,000人以上	A	A	1,566人	40
		3 支援情報等ニューノーマルな時代に必要な情報を発信	Webセミナーの視聴回数:1,000回以上	A	A	1,118回	41
	3 個性豊かな地域魅力を活かした地域経済の活性化	1 デザインや実用性に優れた関西の工業製品等の産業資源をはじめとする関西の魅力やポテンシャルを国内外に発信	【海外プロモーション】リアル展示販売会場における関西広域連合ブースへの総来場者数:1000人以上 【CRAFT14】ホームページアクセス件数:4,300件以上	A	B	— 3,020件	42
	4 関西を支える人材の確保・育成	1 人材の確保・育成策について検討する人材検討会を運営するとともに、域内の大学、企業等の取組で参考となる情報を「from NOW ON KANSAI」として発信	産業人材 ホームページ アクセス件数:2,600 件以上	A	B	2,535件	43

令和4年度各分野事務局等施策運営目標の期末評価について(総括)

分野事務局等	施策運営目標	アウトプット(主な取組)	目標数値・アウトカム	評価			ページ	
				アウトプット	達成数値・アウトカム			
広域産業振興 (農林水産部)	1 地産地消運動の推進による域内消費拡大	1 「おいしい！KANSAI応援企業」の登録推進、紹介ページ作成、産品販売イベント等の実施	登録企業数:177社 (対前年度比113%)	A	B	170社	44	
		2 出前授業の実施、学校給食への関西広域連合域内特産農林水産物の提供	域内特産農林水産物提供学校:28校	A	A	214校	44	
		3 府県域を超えたイベント支援等による直売所間交流の促進	直売所間交流回数:10回	A	B	9回	45	
	2 国内外への農林水産物の販路拡大	1 事業者向けの海外輸出セミナーを開催し、輸出に向けての機運を醸成、各種情報を発信	参加者アンケートで「役に立った」と回答した割合:80%	A	A	89%	45	
		2 首都圏等の大型量販店や外食産業等の食品関係バイヤーと域内事業者とのWEB型マッチング商談会を開催	・満足度:80% ・成約率:10%	A	B	95% 9%	46	
	3 都市との交流による農山漁村の活性化と多面的機能の保全	1 「都市農村交流サイト」の運営と情報発信の強化	民間旅行サイトへの掲載施設数:100件	A	A	107件	46	
		2 都市農村交流に関するアドバイザー人材バンクを構築し、要請に応じて派遣 ・都市農村交流の優良事例の発表や、地域課題の解決に向けた現地見学と意見交換を行う現地検討会の開催 ・都市農村交流の優良事例をホームページで公開、広く発信・周知	現地検討会への参加人数:40人	A	A	54人	47	
	企画調整 (イノベーション推進)	1 産学官連携によるイノベーションの強化・推進	1 関西健康・医療創生会議における健康・医療データの収集・連携・利活用の推進及びこれまでの新型コロナウイルス感染症対策の検証と今後の防止策の検討、啓発	新型コロナウイルス感染症等に関するシンポジウム・セミナーへの参加人数:年1,000人	B	B	714人	48

令和4年度各分野事務局等施策運営目標の期末評価について(総括)

分野事務局等	施策運営目標	アウトプット(主な取組)	目標数値・アウトカム	評価				
				アウトプット	達成数値・アウトカム		ページ	
広域環境保全	1 地球温暖化対策	1 「関西脱炭素アクションポスター」を作成・配布するとともに、様々な分野において、住民、事業者、経済団体等とも連携し、多様な主体が一堂に会し交流することができる「関西脱炭素フォーラム」の開催 ・関西エコオフィス運動を広く展開するため、エコオフィス宣言事業所を募集するとともに、優れた取組事例をホームページで紹介	エコオフィス宣言新規宣言事業所数:20事業所以上	A	A	21事業所	49	
		2 ・次世代自動車の普及啓発の実施 ・効果的な施策推進を実施するための情報収集及び意見交換の実施	「次世代自動車への関心が高まった」回答率:80%以上	A	A	82%	50	
		3 地域資源を活用した先進事例等の情報共有、地域における再生可能エネルギー導入の担い手となる人材育成のため研修会を開催	研修会等参加者の再エネ導入への意欲向上度:90%以上	A	A	96%	50	
	2 自然共生型社会づくり(生物多様性の保全)	1 ・関西の活かしたい自然エリアの普及・啓発のためのモデルコースの作成及び公表 ・エコツアー体験学習の開催	エコツアーモデルコースの作成:6コース	A	A	6コース	51	
		2 ・関西地域カワウ広域管理計画(第3次)に基づき、生息動向等調査実施、対策検証事業の広域展開・計画作成支援の実施 ・関西地域カワウ広域管理計画(第4次)の策定	被害対策に取り組む構成府県:6府県	A	A	6府県	51	
		3 ニホンジカや外来獣対策の推進のため、委託側監督員の監理能力向上講座の実施、受託者育成テキストの更新、市町村主催の捕獲従事者講習会のテキスト作成等を実施	ニホンジカや外来獣等対策に関する理解が深まったとする講座参加者の割合:90%以上	A	A	100%	52	
	3 循環型社会づくり(資源循環の推進)	1 ・マイボトルスポットMAPの登録店舗等の情報更新、WEBサイトの管理及びマイボトルの利用促進に資する啓発の実施 ・プラスチックごみ及び食品ロス削減等について、住民・団体・企業等と連携しシンポジウムを開催するなど3R等の取組発信	マイボトルスポットMAP新規登録数:50以上 (10月の3R推進月間に集中して取組)	A	A	97カ所	52	
	4 持続可能な社会を担う人育て	1 ・幼児期の環境学習の指導者を育成するための研修会等実施 ・地域特性を活かした環境学習プログラム等を通じて交流型環境学習事業実施 ・環境保全活動と金融とのつながりに関するオンラインセミナー実施	理解が深まったとする参加者割合:90%以上	A	A	99%	53	
	企画調整(プラスチック対策)	1 プラスチック対策の推進	1 ・プラスチック代替品の社会実装に向けたモデル事業実施 ・プラスチックごみ散乱状況推計モデルを活用した実態把握、対策の検討及び評価を行うための利活用マニュアルの作成 ・プラットフォームの運営による関係各主体と課題の情報共有及びプラスチックごみ抑制に向けた連携・協働のための意見交換等	プラットフォームで共有した情報を有益と回答した参加者:6割以上	A	A	9割以上	54
	企画調整(エネルギー政策推進)	1 エネルギー政策の推進	1 ・関西水素サプライチェーン構想実現プラットフォームを開催し、産官学が連携して、課題の共有や解決策、具体的な水素実装の取組みを検討 ・エネルギーに関する構成府県市間の情報共有、国への提案等	交流会の累計参加者数:80人(交流会:計5回)	A	A	270人(交流会:4回)	55

令和4年度各分野事務局等施策運営目標の期末評価について(総括)

分野事務局等	施策運営目標	アウトプット(主な取組)	目標数値・アウトカム	評価			ページ
				アウトプット	達成数値・アウトカム		
企画調整 (広域インフラ)	1 広域交通インフラ機能強化、整備促進	1 道路や空港・港湾、リニア中央新幹線等について、国への要望や建設促進大会等を実施	広域インフラ整備の推進	A	A	—	56
資格試験・免許	1 資格試験、免許事務の着実な推進	1 試験委員との密な連携のもと問題チェックを強化	出題ミスの件数:0	A	A	ミス件数:0	57
		2 免許申請に対して正確かつ迅速な免許等の交付、非行免許所有者に対する厳正な対処と准看護師への再教育研修の適正な実施	免許交付処理の標準処理期間の維持:30日以内	A	A	30日以内を維持	57
広域職員研修	1 幅広い視野を有する職員の養成及び業務執行能力の向上 2 構成団体間の相互理解及び人的ネットワークの活用 3 効率的な研修の拡大	1 関西における共通課題をテーマとした政策形成能力研修を実施	受講者の理解度:90%以上	A	A	93%	58
		2 研修本会場と他会場をインターネットで結んだ「WEB型研修」の実施	・WEB型研修実施数:5研修 ・受講者の理解度:90%以上	A	A	30研修 98%	58
地方分権改革推進	1 分権型社会の実現に向けた効果的取組の推進	1 国の事務・権限の移譲に向けて関係府省に対し、地方分権改革に関する提案募集等による提案・協議の実施 ・広域連合設立後の社会情勢の変化を踏まえ、地方分権や国土構造に関する有識者の執筆による提言・意見集を編纂し、提言・意見を踏まえた取組の検討を実施	・提案募集の実現数:前年度以上 ・有識者提言・意見集の編纂 ・有識者の提言・意見を踏まえた取組の次期広域計画への反映	A	B	—	59
		2 政府機関等の地方移転及び機能向上を推進 ・政府機関と構成団体等の連携事業について情報共有 ・政府機関等の移転の進捗状況等の情報発信	・政府関係機関を含めた複数の団体の連携促進 ・政府機関移転に関する取組の認知度向上	A	A	—	59
		3 近畿市長会、近畿府県町村会をはじめ管内の市町村代表者等との意見交換を実施	・意見交換会の実施 ・市町村への情報提供件数:12件	A	A	12件	60
	2 琵琶湖・淀川における流域ガバナンスの向上に向けた取組の推進	1 琵琶湖・淀川流域対策に係る研究会の各部会(リスクファイナンス部会・水源保全部会)からの報告書について、連絡会議での議論を踏まえ、 【リスクファイナンス】 昨年度にとりまとめられた連絡会議報告書等を国関係機関や大学等の研究機関に情報提供・提案 【水源保全】 府県市で実施している水循環に関する施策の調査・共有や既往の研究やデータの調査・共有を行うとともに、流域の一般住民向けにシンポジウム等の開催を検討	【リスクファイナンス】 流域での共助の必要性の発信、国や大学研究機関等との連携の可能性の模索 【水源保全】 流域の水循環の重要性についての認識の共有。流域内の一般住民への流域連携の機運の醸成	A	A	—	60
		1 官民連携の推進 ・万博開催の効果を関西全域に波及させるため、連絡会議を開催 ・「関西女性活躍推進フォーラム」、「関西SDGsプラットフォーム」の設置・運営	関西における様々な課題への対応と官民連携の取組の推進等	A	A	—	61
企画管理	2 情報発信の推進	1 ホームページ、メールマガジン、フェイスブック、ツイッターを活用した情報発信、多様な広報媒体の活用、イベント等におけるPR活動の実施	①ホームページ閲覧数:2,500,000ビュー ②メールマガジン登録者数:4,800人 ③フェイスブックフォロワー数:940人 ④ツイッター閲覧数:4,000件	A	B	①1,996,202ビュー ②5,013人 ③912人 ④81,888件	62

評価	アウトプット	アウトカム
A	83	68
B	6	13
C	0	3
計	89	84

分野等別個表

関西広域連合の広域防災分野に係る施策運営目標

目標設定者： 広域防災担当委員 齋藤 元彦

基本目標 (目指すべき将来像)	危機に強く、防災・減災のモデルとなる関西	
	関西の防災に係る資源を活用し、そのネットワーク化を図ることにより、関西全体の安全・安心を向上させ、国内のみならず世界の防災・減災モデル”関西”を目指す。	
令和2年度施策運営目標評価結果に対する外部有識者からの意見	-	

施策運営目標1 (重点方針)	大規模広域災害を想定した広域対応の推進	評価区分	中間 ・ 最終
施策運営目標の課題	大規模広域災害時の実効性向上、災害時の物資供給の円滑化		
対応方針	実動訓練等を通じた実効性の検証を行うとともに、「関西防災・減災プラン」等の見直しを行う。 民間事業者等との連携強化により、「緊急物資円滑供給システム」の実効性確保を図る。		

番号	1-1	事業名	関西防災・減災プランの推進					
予算額	(R4)	5,532	千円	(R3)	4,865	千円	区分	継続(H24~)
目標			達成状況			評価		
アウトプット		目標数値・アウトカム (目標数値)	昨年度からの 改善事項	アウトプット		達成数値・アウトカム (達成数値)	アウトプット評価	達成数値・ アウトカム評価
・関西防災・減災プラン（感染症対策編（新型インフルエンザ等））の見直し		関西全体の大規模広域災害への対応力の向上 (-)	昨年度は、関西防災・減災プランの総則編、地震・津波災害対策編等を改訂した。	・関西防災・減災プラン（感染症対策編（新型インフルエンザ等））の見直しに向け、作業を進めている。		- -	新型コロナウイルスの感染拡大による影響を受け、想定したスケジュールどおり進んでいない。 評価なし	新型コロナウイルスの感染拡大による影響を受け、想定したスケジュールどおり進んでいない。 評価なし
令和4年度の課題	関西防災・減災プラン（感染症対策編（新型インフルエンザ等））について、新型コロナウイルス感染症への広域対応等を踏まえた改訂（中間案の作成）を行う。							
令和5年度の対応方針	近年の災害対応の教訓・検証や関西広域応援訓練等で明らかになった課題を踏まえ、関西防災・減災プランの見直しを行う。							

番号	1-2	事業名	相互応援体制の強化					
予算額	(R4)	456	千円	(R3)	465	千円	区分	継続(H23~)
目標			達成状況			評価		
アウトプット		目標数値・アウトカム (目標数値)	昨年度からの 改善事項	アウトプット		達成数値・アウトカム (達成数値)	アウトプット評価	達成数値・ アウトカム評価
他広域ブロックとの連携強化 ・災害時相互応援協定を締結している九都府市等と相互の訓練参加や情報交換等を実施し、連携強化を図る。 (訓練・情報交換会 実施回数 3回)		災害時における相互応援体制の構築及び災害対応能力の向上 (-)	他の協定締結広域ブロックと、引き続き連携強化を図る。	①9月1日の九都府市合同防災訓練(実動)に参加した。 ②10月16日の近畿2府7県合同防災訓練(実動)に参加した。 ③九州地方知事会(大分県)から10月20日の関西広域応援訓練(実動)に現地参加いただき、あわせて情報交換も実施した。		相互の訓練に参加することにより、災害時における相互応援体制の構築を概ね図れた。 (-)	計画どおり実施できた。 A	広域防災センターで実施した関西広域応援訓練(10/20)に、新型コロナウイルス感染症収束の兆しに伴い、九州地方知事会から現地参加いただき、広域連合、応援府県、関係機関の役割や情報の流れ等について情報交換を行う等、災害時における相互応援体制の構築を図ることができた。 A
令和4年度の課題	訓練や情報交換会による他広域ブロックとの顔の見える関係性の構築							
令和5年度の対応方針	他の広域ブロックが実施する訓練や情報交換会への参加による広域連携体制の更なる強化							

関西広域連合の広域防災分野に係る施策運営目標

目標設定者： 広域防災担当委員 齋藤 元彦

番号	1-3	事業名	広域応援訓練の実施					
予算額	(R4)	8,372	千円	(R3)	9,539	千円	区分	継続(H23～)
目標			達成状況				評価	
アウトプット	目標数値・アウトカム (目標数値)	昨年度からの 改善事項	アウトプット	達成数値・アウトカム (達成数値)	アウトプット評価	達成数値・ アウトカム評価		
関西広域応援訓練の実施 ・南海トラフ地震等を想定した広域応援訓練、緊急物資円滑供給連携訓練の実施。 (実動訓練 1回等)	広域的な防災体制の強化 (アンケートによる) 満足度85%	昨年度に実施した訓練での教訓等を踏まえ、実施する。	10月20日に関西広域応援訓練(実動)を実施した。	多くの団体が訓練に参加し、広域的な防災体制の強化を図ることができた。 (アンケートによる) 満足度98%	計画どおり実施できた。	目標を達成した。	A	A
令和4年度の課題	訓練内容の充実と参加団体数の増加							
令和5年度の対応方針	計画の実効性を確保するための訓練内容の充実化							

番号	1-4	事業名	緊急物資円滑供給システムの構築					
予算額	(R4)	566	千円	(R3)	565	千円	区分	継続(H23～)
目標			達成状況				評価	
アウトプット	目標数値・アウトカム (目標数値)	昨年度からの 改善事項	アウトプット	達成数値・アウトカム (達成数値)	アウトプット評価	達成数値・ アウトカム評価		
「緊急物資円滑供給システム」の実効性確保 ・東日本大震災、熊本地震における物資供給の状況を踏まえ、関西における災害時の円滑な物資供給の実現に取り組むため、民間事業者等との連携強化を図り、「緊急物資円滑供給システム」の実効性を確保する。 ・関西災害時物資供給協議会の開催 ・ワークショップの開催	災害時における物資供給体制の強化 (アンケートによる) 満足度85%	昨年度に実施した関西災害時物資供給協議会での教訓等を踏まえ、実施する。	10月20日に関西災害時物資供給協議会及びワークショップを実施した。	訓練等により災害時における物資供給体制の強化が図られた。 (アンケートによる) 満足度98%	計画どおり実施できた。	目標を達成した。	A	A
令和4年度の課題	物流事業者が有する物資搬送にかかる専門的な知識やノウハウ等について、いかに行政職員に伝えることができるか。							
令和5年度の対応方針	東日本大震災、熊本地震における物資供給の状況を踏まえ、民間事業者等との連携強化を図る。							

関西広域連合の広域防災分野に係る施策運営目標

目標設定者： 広域防災担当委員 齋藤 元彦

施策運営目標2 (重点方針)	防災・減災事業の推進	評価区分	中間・ 最終
施策運営目標の課題	災害時の帰宅困難者等対策の推進及び防災担当職員の育成、広域防災活動や防災庁創設に関する啓発		
対応方針	帰宅困難者等対策を通じて、企業防災の取組みを促進するとともに、防災庁創設等に関する啓発活動に取組み、住民の防災意識向上を図る。		

番号	2-1	事業名	帰宅困難者等対策の推進					
予算額	(R4)	2,985	千円	(R3)	4,011	千円	区分	継続(H23~)
目標			達成状況			評価		
アウトプット		目標数値・アウトカム (目標数値)	昨年度からの 改善事項	アウトプット		達成数値・アウトカム (達成数値)	アウトプット評価	達成数値・ アウトカム評価
災害時帰宅支援ステーション事業の実施 ・災害時帰宅支援ステーション事業の普及啓発により、構成団体及び連携県、企業、住民の防災・減災能力の向上を図る。 ・ポスターを参画事業者・店舗で掲出。		災害時帰宅支援ステーション事業参画事業者・店舗の増加 (協力店舗数12,000)	各事業者の協力による、各店舗のレジやデジタルサイネージの活用に加え、構成府県市の訓練での啓発活動を強化	ステーション事業普及啓発用ポスターやレジ画面等に表示するデジタルサイネージ等の掲示により、普及啓発活動を実施した。		災害時帰宅支援ステーション事業参画事業者・店舗の増加 (協力店舗数 12,256)	計画どおり実施できた。 A	目標を達成した。 A
帰宅困難者対策訓練(図上)の実施 ・「関西広域帰宅困難者対策ガイドライン」の実効性を確保するため、関係構成府県市と連携し、図上訓練を実施する。		行政機関・事業者の帰宅困難者対策の充実 (訓練参加団体数 15)	昨年度実施した帰宅困難者対策緊急自主点検で出た課題を踏まえた訓練を実施する	1月31日に帰宅困難者対策訓練(図上)を実施した。		多くの行政機関・事業者が訓練に参加し、帰宅困難者対策の充実が図れた。 (51団体)	計画どおり実施できた。 A	目標を達成した。 A
令和4年度の課題	帰宅支援ステーション事業にかかる事業者・府県民への普及・啓発活動							
令和5年度の対応方針	関西全体で広域的な帰宅困難者の支援に取り組む。							

番号	2-2	事業名	総合的・体系的な研修の実施					
予算額	(R4)	1,716	千円	(R3)	800	千円	区分	継続(H23~)
目標			達成状況			評価		
アウトプット		目標数値・アウトカム (目標数値)	昨年度からの 改善事項	アウトプット		達成数値・アウトカム (達成数値)	アウトプット評価	達成数値・ アウトカム評価
基礎研修等の実施 ・防災担当職員向け基礎研修及び災害救助法実務担当者研修等を実施		構成府県市の防災担当職員等の災害対応能力の向上 (アンケートによる 研修理解度85%)	前年度実施した研修での参加者意見を踏まえた研修内容の充実	5月に連絡調整会議を開催し、今年度の研修時期及び内容等について調整を行い下記のとおり実施した。 ・京都府(11月17日) ・京都市(1月30日) ・滋賀県(2月10日) ・大阪府(3月7日)		防災担当職員の災害対応能力の向上が図れた。 (アンケートによる 研修理解度95.6%)	計画どおり実施できた。 A	目標を達成した。 A
令和4年度の課題	より実践的な研修内容と研修時期の検討及び研修参加者の確保							
令和5年度の対応方針	研修の参加者を増やすための十分な周知期間の確保及び研修内容の検討							

関西広域連合の広域防災分野に係る施策運営目標

目標設定者： 広域防災担当委員 齋藤 元彦

番号	2-3	事業名	広域防災活動に関する情報の発信					
予算額	(R4)	874	千円	(R3)	501	千円	区分	継続(H24～)
目標				達成状況			評価	
アウトプット	目標数値・アウトカム (目標数値)	昨年度からの 改善事項	アウトプット	達成数値・アウトカム (達成数値)	アウトプット評価	達成数値・ アウトカム評価		
防災イベント等への出展 ・広域連合における広域防災の取組みをPRし、住民の防災意識の向上に取り組む。	住民の防災意識の向上 (出展ブース来場者数 900人)	昨年度の実績を踏まえ、効果的な出展内容・PRを実施	防災イベント等へ下記のとおり出展した。 ・「防犯防災総合展(大阪)」(6/9、10)(講演6/9) ・「震災対策技術展(大阪)」(6/15、16) ・「九都府県合同防災訓練」(9/1) ・「近畿府県合同防災訓練」(10/16) ・「防災推進国民大会」(10/16) ・「1.17のつどい」(1/17) ・「震災対策技術展(横浜)」(2/2、3)(講演2/3)	防災イベント等へのブース出展においてPRすることで、住民の防災意識向上が図れた。 (1,100人以上)	計画どおり実施できた。	目標を達成した。		
令和4年度の課題	訴求効果の高い防災イベントへの出展							
令和5年度の対応方針	費用対効果も踏まえ、訴求効果の高い防災イベントへ出展							

番号	2-4	事業名	防災庁創設に向けた啓発活動					
予算額	(R4)	845	千円	(R3)	1,206	千円	区分	継続(H28～)
目標				達成状況			評価	
アウトプット	目標数値・アウトカム (目標数値)	昨年度からの 改善事項	アウトプット	達成数値・アウトカム (達成数値)	アウトプット評価	達成数値・ アウトカム評価		
啓発活動の実施 ・過去の災害の教訓を踏まえ、事前対策から復旧・復興まで一連の災害対策を担う「防災庁」の必要性について国民的な理解を深めるため、防災イベントでのPRやセミナー等を開催する。	防災庁創設に関する、国、国民、関係機関等の理解が深まる。(気運が高まる) (-)	啓発品を活用し、来場者との接点をより増やすことで、「知ってもらう」機会を増やす。	防災イベント等へ下記のとおり出展した。 ・「防犯防災総合展(大阪)」(6/9、10)(講演6/9) ・「震災対策技術展(大阪)」(6/15、16) ・「九都府県合同防災訓練」(9/1) ・「近畿府県合同防災訓練」(10/16) ・「防災推進国民大会」(10/16) ・「1.17のつどい」(1/17) ・「震災対策技術展(横浜)」(2/2、3)(講演2/3)	- (-)	計画どおり実施できた。	「防災庁」の必要性について国民等への理解を深めるために、防災イベント等において、展示ブースの展開・啓発マスクの配布等の啓発活動を行うとともに、「防犯防災総合展(大阪)」及び「震災対策技術展(横浜)」において人と防災未来センター河田センター長から「防災庁創設」に係るご講演をいただき、国民の理解増進を図った。		
令和4年度の課題	防災庁創設に向け、国民にその必要性等をいかに理解してもらえるか。							
令和5年度の対応方針	引き続き、国民的な理解増進を図るため、シンポジウム等の実施により機運醸成を図る。							

関西広域連合の広域医療分野に係る施策運営目標

目標設定者： 広域医療担当委員 飯泉 嘉門

基本目標 (目指すべき将来像)	医療における安全・安心ネットワークが確立された関西		
	関西の各地域の医療資源の有機的な連携により、特にドクターヘリ等救急医療面で多重的なセーフティーネットを構築し、また、災害時には構成団体の連携により医療資源を最大限効果的に活用できる安全・安心の4次医療圏“関西”を目指す。		
令和3年度施策運営目標評価結果に対する外部有識者からの意見	—		

施策運営目標1 (重点方針)	「関西広域救急医療連携計画」の推進	評価区分	中間 最終
施策運営目標の課題	連携計画の着実な推進		
対応方針	第三者機関である「関西広域救急医療連携計画推進委員会」において、「関西広域救急医療連携計画」に位置づけられた施策や取組目標の達成状況などについて、専門的な見地から、より客観的な評価をいただきながら、府県市民のニーズや社会情勢の変化に適切に対応しつつ、連携計画の着実な推進を図る。		

番号	1-1	事業名	関西広域救急医療連携計画推進委員会の開催					
予算額	(R4)	354	千円	(R3)	354	千円	区分	継続(H24~)
目標			達成状況			評価		
アウトプット	目標数値・アウトカム (目標数値)	昨年度からの 改善事項	アウトプット	達成数値・アウトカム (達成数値)	アウトプット評価	達成数値・ アウトカム評価		
①関西広域救急医療連携計画推進委員会の開催 ・推進委員から、計画の推進等について助言、提言をいただく。 開催回数：1回(予定) 委員：学識経験者(医療分野の有識者等)	計画の着実な推進により、広域医療連携の充実が図られ、計画の理念である「安全・安心の”4次医療圏”関西」の実現につながる。 (-)	-	関西広域救急医療連携計画推進委員会の開催(3月・書面)	計画に位置づけられた施策や取組目標の達成状況などについて、専門的な見地から、より客観的な評価やご助言をいただいた。 (-)	関西広域救急医療連携計画推進委員会を開催した。	A	府県市民のニーズや社会情勢の変化に適切に対応できるよう、ご助言をいただき、広域医療連携の取組の充実が図られた。 A	
令和4年度の課題	—							
令和5年度の対応方針	引き続き、委員からご助言をいただき、現計画を着実に推進するとともに、次期計画の改定を行う。							

関西広域連合の広域医療分野に係る施策運営目標

目標設定者： 広域医療担当委員 飯泉 嘉門

施策運営目標2 (重点方針)	広域救急医療体制の充実	評価区分	中間 最終
施策運営目標の課題	より一層安定的なドクターヘリの運航の確保		
対応方針	ドクターヘリによる広域救急医療体制の充実を図るため、着実な運航業務の推進、連合内及び連合隣接地域における連携強化・相互応援体制の構築を推進するとともに、ドクターヘリの搭乗人材の確保や普及・啓発、運航に必要な予算額を確保する。		

番号	2-1	事業名	ドクターヘリの運航事業の実施					
予算額	(R4)	1,647,321	千円	(R3)	1,532,000	千円	区分	継続(H23~)
目標				達成状況		評価		
アウトプット	目標数値・アウトカム (目標数値)	昨年度からの 改善事項	アウトプット	達成数値・アウトカム (達成数値)	アウトプット評価	達成数値・ アウトカム評価		
①「3府県ドクターヘリ」及び「兵庫県ドクターヘリ」運航事業への補助を行う。 ②「大阪府ドクターヘリ」、「京滋ドクターヘリ」、「徳島県ドクターヘリ」及び「鳥取県ドクターヘリ」運航事業について、専門知識及びノウハウを有する事業者に運航業務を委託し、円滑かつ迅速な救急医療提供体制を確保する。 ③ドクターヘリの安全管理体制の確立や有効性を検証するため、ドクターヘリレジストリ(日本航空医療学会によるドクターヘリ全国症例登録システム)への症例登録を促進する。	ドクターヘリの効率的・効果的な運航体制の確立により、傷病者の救命率の向上及び後遺症の軽減が図られ、ひいては府県民の安全・安心の向上が図られる。 ドクターヘリレジストリへの参加基地病院数：6病院 (対R3 1病院増)	症例登録を促進し、より効率的・効果的なドクターヘリ運航事業に努める。	①「3府県ドクターヘリ」及び「兵庫県ドクターヘリ」の基地病院が行う運航事業への補助により、各ドクターヘリにおいて救急搬送業務を適切かつ円滑に実施した。 ②「大阪府ドクターヘリ」、「京滋ドクターヘリ」、「徳島県ドクターヘリ」及び「鳥取県ドクターヘリ」運航事業について、専門知識及びノウハウを有する事業者への運航業務の委託により、各ドクターヘリにおいて救急搬送業務を適切かつ円滑に実施した。 ③ドクターヘリレジストリへの症例登録を促進した。	ドクターヘリレジストリへの参加基地病院数 ドクターヘリレジストリへの参加基地病院数：6病院 (対R3 1病院増)	補助及び委託事業の実施により、連合管内の各ドクターヘリは無事故で円滑に日々の運航を行った。	ドクターヘリレジストリ参加基地病院数について、昨年度から引き続き参加している5病院に加えて、鳥取大学医学部附属病院が新規に参加した。	A	A
令和4年度の課題	-							
令和5年度の対応方針	引き続き、各基地病院や運航委託事業者との適切な連携を図り、安全かつ円滑なドクターヘリ運航事業の推進に努める。							

番号	2-2	事業名	ドクターヘリ関係者会議の開催					
予算額	(R4)	382	千円	(R3)	382	千円	区分	継続(H25~)
目標				達成状況		評価		
アウトプット	目標数値・アウトカム (目標数値)	昨年度からの 改善事項	アウトプット	達成数値・アウトカム (達成数値)	アウトプット評価	達成数値・ アウトカム評価		
①「ドクターヘリ関係者会議」の開催 ・「ドクターヘリ関係者会議」を開催し、ドクターヘリに関する諸課題について、調整、検討及び研究を行う。	各関係機関が軌を一にした課題解決を推進することにより、ドクターヘリを活用した円滑かつ効果的な広域救急医療体制の構築が図られる。 (-)	近畿ブロック8機体制による災害時の広域運航体制のあり方について、隣接ブロックとの連携等の検討を行う。	1月17日にドクターヘリ関係者会議をWeb会議にて開催し、広域災害時の奈良県ヘリも含めた8機のドクターヘリによる体制等について、検討を行った。	広域災害時のドクターヘリの体制について、各基地病院のドクターヘリに参加いただき議論を行った。 (-)	同会議の開催により、連合管内の各ドクターヘリの一体的な運航体制について、各基地病院及び構成府県間の意識共有が図られた。	各関係者の議論により、広域災害時の奈良県ヘリも含めた8機のドクターヘリによる体制について、検討が進められるとともに、連携強化が図られた。	A	A
令和4年度の課題	-							
令和5年度の対応方針	ドクターヘリ関係者会議の開催により、引き続き、災害発生時の一体的な運航体制について検討・議論を行う。							

関西広域連合の広域医療分野に係る施策運営目標

目標設定者： 広域医療担当委員 飯泉 嘉門

番号	2-3	事業名	救急医療人材の育成					
予算額	(R4)	990	千円	(R3)	990	千円	区分	継続(H24～)
目標				達成状況			評価	
アウトプット	目標数値・アウトカム (目標数値)	昨年度からの 改善事項	アウトプット	達成数値・アウトカム (達成数値)	アウトプット評価	達成数値・ アウトカム評価		
①ドクターヘリ搭乗人材の育成 ・連合管内のドクターヘリ基地病院と連携し、OJT等の実践的な研修を実施する。	ドクターヘリ搭乗医師・看護師の養成が図られ、より安全・安心な救急医療体制が構築される。 (279名 (対R3 7人増))	更なる搭乗医師・看護師の確保に向け、各基地病院においてOJT研修を推進する。	各ドクターヘリ基地病院において、OJTによる実践的な研修を実施した。	ドクターヘリ搭乗医師・看護師数 (291名 (対R3 19人増))	各基地病院において鋭意OJTに取り組み、目標人数を達成した。	順調に研修が修了し、更なる搭乗医師・看護師の養成が図られた。	A	A
令和4年度の課題	-							
令和5年度の対応方針	搭乗医師・看護師は異動を伴うため、今後も安定的なドクターヘリ運航の確保が図られるよう、継続的に新たな人材の育成に努める。							

番号	2-4	事業名	ドクターヘリ基地病院交流・連絡会の開催					
予算額	(R4)	200	千円	(R3)	200	千円	区分	継続(H29～)
目標				達成状況			評価	
アウトプット	目標数値・アウトカム (目標数値)	昨年度からの 改善事項	アウトプット	達成数値・アウトカム (達成数値)	アウトプット評価	達成数値・ アウトカム評価		
①ドクターヘリ基地病院交流・連絡会の開催 ・連合管内のドクターヘリ基地病院のフライトドクター及びフライトナースが参加する「ドクターヘリ基地病院交流・連絡会」を開催し、研究発表、情報交換などを行う。	フライトドクター・ナースのスキルアップ及び基地病院間の連携強化が図られる。 (連絡会議参加者数 28人)	開催時期・場所・内容について、各基地病院の意見を聞きながら、工夫を凝らし、充実した会の開催に努める。	各基地病院のフライトドクター・ナースに対して、開催時期・場所・内容についてアンケートを行ったところ、オンラインではなく現地開催を求める意見が多数あったため、ドクターヘリ関係者会議において、次年度に現地開催する方針を語り、了承を得られた。	現地開催の方針となり、今年度の開催は見送った。 (-)	次回は現地開催との方針としたため、新型コロナウイルスの影響を考慮し、今年度の開催は見送った。	現地開催の方針となり、今年度の開催は見送った。	評価なし	評価なし
令和4年度の課題	現地開催に向けて、当年度の開催は見送り、次年度に開催することとなった。							
令和5年度の対応方針	基地病院と連携し、ドクターヘリ基地病院交流・連絡会を開催する。							

番号	2-5	事業名	ドクターヘリの普及啓発の実施					
予算額	(R4)	484	千円	(R3)	904	千円	区分	継続(H25～)
目標				達成状況			評価	
アウトプット	目標数値・アウトカム (目標数値)	昨年度からの 改善事項	アウトプット	達成数値・アウトカム (達成数値)	アウトプット評価	達成数値・ アウトカム評価		
①ドクターヘリの普及・啓発イベントの実施 ・ドクターヘリ愛称を活用した情報発信を行うなどの普及・啓発を図る。	府県民から身近で愛されるドクターヘリ事業へと進化が図られる。 (見学会アンケート満足度 80%以上)	コロナ対策を徹底し、見学会の開催に努める。	各ドクターヘリにおいて関係機関等と連携し、随時、啓発事業等を実施している。	新型コロナウイルスの影響により、見学会は実施できなかった。 (-)	新型コロナウイルスの影響により、見学会は実施できなかったが、各ドクターヘリにおいて関係機関と連携し、随時、啓発事業を実施した。	新型コロナウイルスの影響により、見学会は実施できなかった。	B	評価なし
令和4年度の課題	-							
令和5年度の対応方針	引き続き、関係機関と連携し、普及啓発に取り組む。							

関西広域連合の広域医療分野に係る施策運営目標

目標設定者： 広域医療担当委員 飯泉 嘉門

番号	2-6	事業名	周産期医療連携体制の構築					
予算額	(R4)	324	千円	(R3)	324	千円	区分	継続(H25～)
目標				達成状況			評価	
アウトプット	目標数値・アウトカム (目標数値)		昨年度からの 改善事項	アウトプット	達成数値・アウトカム (達成数値)	アウトプット評価	達成数値・ アウトカム評価	
近畿ブロック周産期医療広域連携検討会の開催(年1回)周産期医療における広域連携の取組状況、ドクターヘリの運用、災害時の体制整備等について情報共有を図り、各府県の災害時の対応力の向上を図る。	「近畿ブロック周産期医療広域連携検討会」構成府県間における周産期医療の連携体制の充実を図る。 (-)		-	近畿ブロック周産期医療広域連携検討会を開催(R5.2.10オンライン)し、母体搬送の広域での取組について意見交換を行うとともに、構成府県における ・コロナ陽性妊婦の受入れ医療機関及び入院調整等 ・コロナ5類移行への課題や検討状況等 ・災害時小児周産期リエゾンとの連携 ・近畿ブロックでのリエゾンネットワークの構築 について、情報共有・意見交換を行った。	近畿ブロック周産期医療広域連携検討会の実施により、広域搬送の諸課題や連携体制の強化に向けた提案、先進的な取組を共有し、さらなる連携体制の充実を図った。 (-)	令和4年度近畿ブロック周産期医療広域連携検討会を開催(R5.2.10)	「近畿ブロック周産期医療広域連携」の取組を継続し、さらなる連携体制の充実が図られた。 A A	
令和4年度の課題	構成府県間での災害時小児周産期リエゾンの情報を共有できる仕組みづくりに関する意見があり、アンケートを実施							
令和5年度の対応方針	アンケートの結果を受け、検討会において、共有方法等について検討する。							

施策運営目標3 (重点方針)	災害時における広域医療体制の強化	評価区分	中間 最終
施策運営目標の課題	大規模災害に備えて、連合管内の関係者間の連携を強化し、災害対応力向上を図る必要がある。		
対応方針	連携強化のための合同研修の開催や大規模訓練への参加等を進める。		

番号	3-1	事業名	CBRNE災害対策に係る広域連携					
予算額	(R4)	296	千円	(R3)	-	千円	区分	新規
目標				達成状況			評価	
アウトプット	目標数値・アウトカム (目標数値)		昨年度からの 改善事項	アウトプット	達成数値・アウトカム (達成数値)	アウトプット評価	達成数値・ アウトカム評価	
①CBRNE災害に対応できる人材の養成 ・医療関係者及び行政職員に対して、CBRNE災害への必要な対応を学ぶセミナーを行う。 (開催数年1回)	個人毎のCBRNE災害対応能力の向上及び構成府県間の連携の強化を図る。 (セミナー後アンケート結果 満足度80%以上)		-	12月26日にオンライン開催により「爆発物、化学、生物テロ対策」をテーマとしてCBRNE災害対策セミナーを開催した。 (参加申込56名)	セミナーを開催することにより構成府県市のCBRNE災害への対応力の向上を図った。 (95%)	CBRNE災害対策セミナーを開催した。	参加者の技能向上に資する研修を実施することができた。 A A	
令和4年度の課題	-							
令和5年度の対応方針	構成府県のニーズに応じた研修等を継続する。							

関西広域連合の広域医療分野に係る施策運営目標

目標設定者： 広域医療担当委員 飯泉 嘉門

番号	3-2	事業名	感染症対策に係る広域連携の推進					
予算額	(R4)	446	千円	(R3)	557	千円	区分	継続(R3～)
目標			達成状況			評価		
アウトプット	目標数値・アウトカム (目標数値)	昨年度からの 改善事項	アウトプット	達成数値・アウトカム (達成数値)	アウトプット評価	達成数値・ アウトカム評価		
①感染症対策に係る広域連携の推進 ・感染症対策に係る広域連携を必要に応じて行えるよう、情報共有等を継続して行うとともに、感染症担当者会議を実施する。	構成府県市の先進事例等の情報共有を行うことにより、構成府県市の取組の充実を図る。 (-)	-	・新型コロナウイルス感染症に係る構成府県市における取組事例や検査・医療体制の状況等について、情報共有を行った(毎月)。 ・感染症合同研修会を開催した(3月28日)。	新型コロナウイルス感染症への対応状況や課題について、国の動きや感染状況に応じたトピックを設定し、情報共有を行った。 (-)	感染症対策に係る広域連携を必要に応じて行えるよう、情報共有が図られた。	感染症対策に係る知見が共有され、構成府県市における取組の充実が図られた。		
令和4年度の課題	-							
令和5年度の対応方針	新型コロナウイルス感染症の5類移行を踏まえつつ、感染症対策に係る広域連携の推進を図る。							

番号	3-3	事業名	災害医療コーディネーター養成研修の実施					
予算額	(R4)	451	千円	(R3)	451	千円	区分	継続(H24～)
目標			達成状況			評価		
アウトプット	目標数値・アウトカム (目標数値)	昨年度からの 改善事項	アウトプット	達成数値・アウトカム (達成数値)	アウトプット評価	達成数値・ アウトカム評価		
①被災地医療を統括・調整するリーダー人材の養成 ・災害医療コーディネーターを委嘱されている者、または将来の委嘱が見込まれる者に対しての研修会を行う。 (開催数年1回)	個人毎の災害対応能力の向上及び構成府県間の連携の強化を図る。 (研修後アンケート結果 満足度80%以上)	より多くの人に参加していただけるよう、開催時期や時間帯、開催内容、周知方法等について関係者の意見も伺いながら検討を行う。	3月28日にオンライン開催により「COVID-19これまでとこれから」をテーマとして災害医療セミナーを開催した。 (参加申込者163名)	研修後アンケートの結果、「参考となった」と回答いただいた参加者の割合が100%となった (100%)	災害医療コーディネーター研修を開催した。	参加者の技能向上に資する研修を実施することができた。		
令和4年度の課題	構成府県市間での技術・知識の共有が容易で、今後の連携強化につなげられる研修内容の選出							
令和5年度の対応方針	内容について、時宜を得たテーマや令和4年度セミナー実施後の受講者アンケートを参考に検討し、より多くの関係者にとって有用なものを引き続き検討していく。							

番号	3-4	事業名	広域的な災害医療訓練の実施					
予算額	(R4)	425	千円	(R3)	305	千円	区分	継続(H23～)
目標			達成状況			評価		
アウトプット	目標数値・アウトカム (目標数値)	昨年度からの 改善事項	アウトプット	達成数値・アウトカム (達成数値)	アウトプット評価	達成数値・ アウトカム評価		
①広域的な災害医療訓練の実施 ・「近畿府県合同防災訓練」等の広域的な災害医療訓練の実施 (訓練実施回数 年1回)	連合管内の広域連携のあり方を検討するための知見を得るとともに、他部局・他地域等との横の繋がりを作る。 (連合管内参加DMAT数 30チーム)	広域的な災害医療訓練の実施や参加に加えて、各構成府県市において実施した訓練の情報共有を行うなど、関係者の連携強化を図る。	大規模災害時医療活動訓練に、連合管内DMATがプレイヤー及びコントローラーとして参加した。	大規模災害時医療活動訓練に、連合管内DMATがプレイヤーとして参加した。 (連合管内参加DMAT数 61チーム)	大規模災害時医療活動訓練に、連合管内DMATが参加した。	他地域、他職種との連携強化が図られた。		
令和4年度の課題	感染症に配慮した形での訓練の実施							
令和5年度の対応方針	引き続き、政府主催の大規模訓練への参加に加え、各構成府県市において実施した訓練の情報共有を行うなど、関係者の連携強化を図る。							

関西広域連合の広域医療分野に係る施策運営目標

目標設定者： 広域医療担当委員 飯泉 嘉門

番号	3-5	事業名	特殊災害への対応力向上							
予算額	(R4)	150	千円	(R3)	166	千円	区分	継続(R1~)		
目標				達成状況		評価				
アウトプット		目標数値・アウトカム (目標数値)		昨年度からの 改善事項		アウトプット		達成数値・アウトカム (達成数値)	アウトプット評価	達成数値・ アウトカム評価
①特殊災害への対応における連携 ・国内外の交流拡大に伴い特殊災害に係る体制構築に向けた検討を行う。		・構成府県市と情報共有を行うことにより、特殊災害への対応力の向上を図る。 (-)		-		遠隔医療推進セミナーを実施することで、感染症蔓延下における診療体制の確保を図った。		セミナーを開催することにより構成府県市の特殊災害への対応力の向上を図った。 (-)	遠隔医療推進セミナーを実施した。	感染症蔓延下における医療提供体制強化に結びつけた。 A
令和4年度の課題		特殊な事例についての研修を実施できる講師の確保								
令和5年度の対応方針		-								

番号	3-6	事業名	災害時における情報収集・連携体制強化訓練の実施							
予算額	(R4)	0	千円	(R3)	0	千円	区分	継続(H30~)		
目標				達成状況		評価				
アウトプット		目標数値・アウトカム (目標数値)		昨年度からの 改善事項		アウトプット		達成数値・アウトカム (達成数値)	アウトプット評価	達成数値・ アウトカム評価
①通信訓練の実施 ・構成府県市合同による衛星携帯電話の通信訓練や、「広域災害救急医療情報システム(EMIS)」の入力訓練を行う。 (訓練実施回数 年1回)		災害時の情報収集能力の向上及び連合管内の構成府県市間の横の繋がりを強化する。 (通信訓練参加府県市 5府県市以上)		-		2月20日に構成府県市合同による衛星携帯電話の通信訓練及び「広域災害救急医療情報システム(EMIS)」の入力訓練を行った。		訓練に全構成府県が参加した。 (通信訓練参加府県 7府県)	構成府県合同による衛星携帯電話の通信訓練や、「広域災害救急医療情報システム(EMIS)」の入力訓練を行った。 A	訓練に全構成府県が参加し、災害時の情報収集能力の向上及び連合管内の構成府県市間の横の繋がりが強化された。 A
令和4年度の課題		新規担当職員の衛星携帯電話及びEMISの操作技術の取得								
令和5年度の対応方針		継続実施								

関西広域連合の広域医療分野に係る施策運営目標

目標設定者： 広域医療担当委員 飯泉 嘉門

施策運営目標4 (重点方針)	課題解決に向けた広域医療体制の構築	評価区分	中間 最終
施策運営目標の課題	薬物乱用防止対策や感染症対策、ジェネリック医薬品の適正使用など、各府県市の共通課題に対応した広域医療体制を構築する。		
対応方針	構成府県市間で情報を共有しながら、広域で連携して取り組むことで高い効果が期待できる項目について、調査研究を行うとともに、連携して広報等を実施する。		

番号	4-1	事業名	薬物乱用防止対策に係る広域連携					
予算額	(R4)	310	千円	(R3)	310	千円	区分	継続(H26~)
目標			達成状況			評価		
アウトプット	目標数値・アウトカム (目標数値)	昨年度からの 改善事項	アウトプット	達成数値・アウトカム (達成数値)	アウトプット評価	達成数値・ アウトカム評価		
①薬物乱用防止対策に係る研修会や担当者会 ・危険ドラッグや大麻等薬物乱用の実態に対応した実務担当者会や研修会を行う。(年1回開催)	新たに発生した課題や事案等に対応した研修等を広域的に行うことにより、より効率的・効果的に担当者の知識習得、情報共有がなされる。 (担当者会参加者の満足度調査 80%以上)	各構成府県市での薬物乱用防止関係機関と連携し、薬物乱用防止に有用な情報の共有や意見交換を進める。	・実務担当者会議及び研修会をWeb会議で開催 R5年2月13日開催	各構成府県市からの担当者会・研修会参加者の満足度(担当者会参加者22名、研修会参加者77名) (96%)	・担当者会では、薬物乱用防止啓発の取組状況等や次年度の活動方針について情報共有・意見交換を行うとともに、研修会では、薬物事犯の現状及び大麻をはじめとした薬物鑑定等について研修を行い、知識の向上が図られた。 A	担当者会では、薬物乱用防止の取組の現状等や次年度の活動方針について意見交換を行い、今後の取組や課題について情報共有が図られた。 また、研修会では、神戸税関から不正薬物の密輸を取り巻く現状及び大麻鑑定関連について、四国厚生支局から大麻事犯の最近の状況等について講演、知識の習得が図られた。 A		
令和4年度の課題	危険ドラッグ事犯の件数は多くないものの、若年層での大麻等乱用が問題となっており、薬物への正しい知識の普及について、効果的な取組を継続していくことが必要である。							
令和5年度の対応方針	薬物事犯の現状や分析方法等の研修を実施することにより、最新の知見の習得を行うとともに、各構成府県市間で薬物乱用防止の取組や課題等の情報共有や連携方法の協議・検討を行う。							

番号	4-2	事業名	専門分野における広域連携					
予算額	(R4)	382	千円	(R3)	382	千円	区分	継続(H26~)
目標			達成状況			評価		
アウトプット	目標数値・アウトカム (目標数値)	昨年度からの 改善事項	アウトプット	達成数値・アウトカム (達成数値)	アウトプット評価	達成数値・ アウトカム評価		
①広域医療連携に係る調査及び広報 ・ジェネリック医薬品の適正な使用に向けて、構成府県市の具体的な取組について、情報共有を行う。	研修会の開催や構成府県市の先進事例等の情報共有を行うことにより、担当者の知識習得、関係の強化及び構成府県市の取組の充実・底上げが図られる。 (担当者会参加者の満足度調査 80%以上)	担当者会及びアンケート調査等により情報共有の強化及び構成自治体の取組み効率化を図る	第1回担当者会をR4/8/31にオンライン形式で開催、各構成団体で実施した効果的な取組及びジェネリック医薬品の使用割合80%以上の目標達成に向けて情報共有と意見交換を実施した。 R4/12/20にオンライン形式で研修会を開催、ジェネリック医薬品の品質確保、安定供給、使用促進について業界を取り巻く現状や国の取組内容等について情報共有を図った。	担当者会参加者の満足度調査 80%以上(担当者会参加25名、27名) (95.5%)	・担当者会では各構成府県市の取組や現状について情報共有を実施することができた。 ・研修会では、後発医薬品を取り巻く状況と品質確保、安定供給体制の確保、使用促進へ向け、今後の取組に有用な情報の収集・共有を行うことができた。 A	担当者会議で情報共有ができたこと、研修会で後発医薬品の使用推進に必要なと考えられる品質確保、安定供給の確立及び使用促進策について情報収集、共有ができたことにより、今後の取組内容の発展・充実が図られた。 A		
令和4年度の課題	出荷調整等により医薬品の安定供給に不安が感じられている状況下、後発医薬品の使用推進に如何に医療従事者、患者双方に理解を得て取り組んでいくか。							
令和5年度の対応方針	令和5年度末の全ての都道府県で後発医薬品の使用割合80%以上という目標達成に向けて、改善のために必要な情報の収集と共有、知見の習得を行う。							

関西広域連合の広域観光・文化・スポーツ振興分野(観光・文化の振興)に係る施策運営目標

目標設定者: 広域観光・文化・スポーツ振興担当委員 西脇 隆俊

基本目標 (目指すべき将来像)	国内外にわたる観光・文化・スポーツの交流拠点関西 観光資源や歴史文化遺産、スポーツ資源を活かし、更に魅力を高めながら情報発信を行うとともに、関西に移転する新・文化庁とも連携して積極的に関西・日本を元気にする新しい取組を展開し、世界に誇る国際観光・文化・スポーツ圏“関西”を目指す。		
令和3年度施策運営目標評価結果に対する外部有識者からの意見	—		

施策運営目標1 (重点方針1)	多様な広域観光の展開による関西への誘客	評価区分	中間 最終
施策運営目標の課題	関西広域観光圏における需要の創出		
対応方針	訪日検討層に対し関西の魅力を様々な角度から紹介するとともに海外プロモーションを実施し、訪日検討層の訪関西意向を向上させる。		

番号	1-1	事業名	テーマ別観光推進事業					
予算額	(R4)	1,039	千円	(R3)	0	千円	区分	新規
目標				達成状況			評価	
アウトプット	目標数値・アウトカム (目標数値)	昨年度からの 改善事項	アウトプット	達成数値・アウトカム (達成数値)	アウトプット評価	達成数値・ アウトカム評価		
関西に点在する文化財、食、自然などの観光資源を持つ構成府県市や関係者等により、それぞれの観光振興に係るノウハウや知見、成功事例等を共有する勉強会を実施し、テーマを通じた観光資源の磨き上げ、情報発信につなげる。	テーマツーリズム等を通じて関西の魅力をPRすることにより、「KANSAI」ブランドの認知度向上と訪日観光客の関西への誘客を図る。 訪日検討層に対する訪関(西意向率(関西観光本部調査):目標値41.1%)	—	奈良県で開催された第7回UNWTOガストロミーツーリズム世界フォーラムに、関西観光本部等と連携して「関西の日本酒文化」をテーマにブース出展し、国内外からの参加者に関西の食文化や観光コンテンツを情報発信した。 また、「サステナブル」をテーマに、CNNデジタルとのタイアップ記事を制作・公開し、海外のミドル・アッパー層に、関西が持続可能な観光地として魅力的であることを発信した。 そのほか、「城・建築物」をテーマに府県市担当者や勉強会や現地視察を実施するとともに、関西観光本部と連携し、「食」や「海」等をテーマに、府県市のコンテンツを収集するなど、テーマを通じた観光資源の磨き上げを行った。	テーマを通じた観光資源の磨き上げや情報発信により、「KANSAI」ブランドの認知度向上と訪日観光客の関西への誘客を図った。 訪日検討層に対する訪関西意向率(関西観光本部調査): 40.6%	UNWTOガストロミーツーリズム世界フォーラムでは、UNWTO加盟国の観光庁担当者や学術機関の専門家など来場者約600名に情報発信。 CNNデジタルとのタイアップ記事は200近い国・地域からのアクセスを獲得。 A	関西の魅力をPRすること等により、欧米豪訪日検討層の訪関西意向率が令和3年度より6.5%上昇した。(令和3年度34.1%) A		
令和4年度の課題	各構成府県市が実施する事業との連携によるPRが必要							
令和5年度の対応方針	「城・建築物」や「食」、「自然」、「サステナブル」等のテーマについて、構成府県市の意見を聞きながら観光資源の磨き上げや情報発信に向けた深掘りを行う							

関西広域連合の広域観光・文化・スポーツ振興分野(観光・文化の振興)に係る施策運営目標

目標設定者: 広域観光・文化・スポーツ振興担当委員 西脇 隆俊

施策運営目標2 (重点方針2)	戦略的なプロモーションの展開	評価区分	中間 最終
施策運営目標の課題	KANSAIの知名度の向上		
対応方針	訪日検討層に対し関西の魅力を様々な角度から紹介するとともに、海外プロモーションを実施し「KANSAI」を売り込む。		

番号	2-1	事業名	海外観光プロモーション事業					
予算額	(R4)	9,114	千円	(R3)	9,114	千円	区分	継続(H26~)
目標			達成状況			評価		
アウトプット	目標数値・アウトカム (目標数値)	昨年度からの 改善事項	アウトプット	達成数値・アウトカム (達成数値)	アウトプット評価	達成数値・ アウトカム評価		
国内外観光客の増加が期待できる市場に対して、観光プロモーションを行い、関西への誘客を図るための情報発信を行う。	官民が連携した情報発信を通じて、「KANSAI」ブランドの認知度向上と訪日観光客の関西への誘客を図る。 官民連携による海外メディア (招請及び情報発信、web商談) 会等への出展回数:3回	—	「サステナブル」をテーマに、CNNデジタルとのタイアップ記事を制作・公開し、海外のミドル・アッパー層に、関西が持続可能な観光地として魅力的であることを発信した。 また、水際対策の緩和を踏まえ、直近での訪日が期待できる東アジア(韓国、台湾、香港)に対して、現地インフルエンサーを日本に招いてのファムトリップや関西観光本館と連携した現地での交流会を実施した。 そのほか、在シンガポール日本国大使館での天皇誕生日祝賀レセプションに参加し、ブース出展を行うなどのプロモーションも行った。	官民連携による海外メディア招請及び情報発信、web商談会等への出展を実施 官民連携による海外メディア招請及び情報発信、web商談会等への出展回数:19回	水際対策の緩和を踏まえて、次の旅行先として関西が選ばれることを目指すプロモーションが実施できた。 CNNデジタルとのタイアップ記事は200近い国・地域からのアクセスを獲得。	水際対策の緩和を踏まえ、積極的に海外メディアの招請やメディアを通じた情報発信、web商談会等を実施し、関西の魅力を世界にPRできた。	A	
令和4年度の課題	外国人観光客の受入れ拡大を見据えた、関西への誘客に向けた取組が必要							
令和5年度の対応方針	2025年大阪・関西万博の開催等を見据えて、海外へのプロモーションを実施する							

施策運営目標3 (重点方針3)	外国人観光客の受入を拡大し、周遊力・滞在力を高める観光基盤の整備	評価区分	中間 最終
施策運営目標の課題	外国人観光客の利便性とおもてなしの向上		
対応方針	通訳案内士の人材育成と観光客のニーズに応じた通訳案内士とのマッチングのしくみづくり、広域周遊の促進に向けた環境整備を行う。		

番号	3-1	事業名	通訳案内士等の人材育成事業					
予算額	(R4)	2,500	千円	(R3)	2,500	千円	区分	継続(H26~)
目標			達成状況			評価		
アウトプット	目標数値・アウトカム (目標数値)	昨年度からの 改善事項	アウトプット	達成数値・アウトカム (達成数値)	アウトプット評価	達成数値・ アウトカム評価		
外国人観光客が安心して関西観光を楽しめるよう、通訳案内士登録に関する業務を行うとともに、広域的に対応できる通訳案内士の人材育成を図るため、通訳案内士のスキルアップ研修を行う。 ・通訳案内士の登録 ・ホームページ上での通訳案内士の情報発信 ・通訳案内士を対象とした研修会の開催	通訳案内士のスキルアップを図ることにより、外国人旅行者の満足度を高め、再来訪意識と誘客を促進する。 研修受講者数:200人 (習熟度80%以上(受講者か)らのアンケートによる)	—	今年度は7月から3月にかけて、通訳案内士のスキルアップのための研修会を3事業(関西の祭り、酒蔵ツーリズム、広域周遊)、14項目実施したほか、ホテルコンシェルジュや地域事業者と通訳案内士との交流会を実施するなど、通訳案内士の活躍の機会拡大にも努めた。	研修受講者数及び受講者の習熟度(習熟度は、受講者アンケートで「よく理解できた」又は「理解できた」を選んだ割合によるもの) 研修受講者(のべ):236人 習熟度:93.9%	新型コロナウイルス感染症の影響が懸念されたが、webでの研修及び実施研修を予定どおり実施できた。	研修受講者の習熟度が高い研修を実施できたことで、通訳案内士のスキルアップを果たせた。	A	
令和4年度の課題	外国人観光客が安心して関西での観光を楽しめるよう、コロナ禍でも通訳案内士の育成を図ることが必要							
令和5年度の対応方針	2025年大阪・関西万博の開催等を見据え、引き続き人材育成に努める							

関西広域連合の広域観光・文化・スポーツ振興分野(観光・文化の振興)に係る施策運営目標

目標設定者: 広域観光・文化・スポーツ振興担当委員 西脇 隆俊

番号	3-2	事業名	関西周遊環境の整備					
予算額	(R4)	12,000	千円	(R3)	12,000	千円	区分	継続(R2~)
目標			達成状況			評価		
アウトプット	目標数値・アウトカム (目標数値)	昨年度からの 改善事項	アウトプット	達成数値・アウトカム (達成数値)	アウトプット評価	達成数値・ アウトカム評価		
2025年開催の大阪・関西万博に向け、関西でのさらなる広域周遊を促進するため、新たな周遊ルートの作成や受入環境の整備を実施する。	外国人観光客を主な対象とした広域周遊観光ルートの商品が達成されることにより、訪日観光客の関西への誘客を図る。 (広域周遊観光ルートの商品) 達成数: 年2商品	—	外国人観光客の関心が高いテーマをエリアごとに設定した広域周遊観光ルート「THE EXCITING KANSAI」の取組を推進し、既に商品作成していた6ルートに加え、新たに5つのルートの商品を作成するとともに、旅行商品の予約ができるwebページの多言語化(新たに仏・西・繁・簡を追加)を行った。	新たに「伊勢～奈良エリア」、「琵琶湖東岸～三重エリア」、「徳島～加太ルート」、「若狭～森の京都ルート」、「三重～滋賀エリア」の5つのルートの商品を作成 広域周遊観光ルート (トの商品達成数:) 5商品	webページの多言語化(新たに仏・西・繁・簡を追加)を進めるなど、海外旅行者の受入準備を進めた。	目標以上の達成数を達成した。		
令和4年度の課題	外国人観光客に関西の魅力を伝えるガイドの育成や広域周遊観光ルートの作成など、関西広域を周遊できる環境整備を進めていくことが必要							
令和5年度の対応方針	令和4年度の実施状況を踏まえ、環境整備を進めていく							

施策運営目標4 (重点方針4)	関西の強みを活かした文化・スポーツ観光の展開	評価区分	中間 最終
施策運営目標の課題	関西の新しい観光需要の創出		
対応方針	既存の観光資源のみではなく、スポーツ、食、マンガ・アニメ、世界遺産情報等様々な新しい情報を発信		

番号	4-1	事業名	webによる情報発信事業					
予算額	(R4)	500	千円	(R3)	500	千円	区分	継続(H26~)
目標			達成状況			評価		
アウトプット	目標数値・アウトカム (目標数値)	昨年度からの 改善事項	アウトプット	達成数値・アウトカム (達成数値)	アウトプット評価	達成数値・ アウトカム評価		
外国人観光客を誘客するための情報発信サイト「The KANSAI Guide」により、関西の見所をタイムリーに発信し、新たな観光需要の創出を図る。	コンテンツを充実させ、外国人観光客の利便性を高めるとともに、新たな観光スポットへ誘客する。 「The KANSAI Guide」の年間訪問者数: 65万人 年間閲覧数100万PV	情報発信サイト「The KANSAI Guide」のリニューアルに伴い、サイトの訪問者数及び閲覧数を目標数値に変更	感染防止対策や外国人に守っていただきたいマナーの情報、国内の旅行キャンペーン情報を掲載するなど、情報発信サイト「The KANSAI Guide」により、関西の観光等の情報を随時更新し、情報発信を行った。 また、サイト訪問者の行動履歴などのデータを分析・共有し、観光振興の戦略立案に活用するためのツールである「マーケティングダッシュボード」の開発を進めた。	外国人観光客を誘客するための情報発信サイト「The KANSAI Guide」の年間訪問者数及び年間閲覧数 サイト訪問者数 81万人 サイト閲覧数 165万PV	関西の観光情報を随時更新するなどコンテンツを充実させ、タイムリーに情報発信するとともに、データ分析ツールの開発など新たな観光需要の創出を図るための仕組みを構築した。	・サイト訪問者数81万人 ・サイト閲覧数165万PV		
令和4年度の課題	コンテンツの充実によるアクセスの向上、新たな観光需要となりうるコンテンツの検討							
令和5年度の対応方針	アクセス数の向上、外国人観光客の利便性を高める情報発信の方策等について、関西観光本部とともに検討を行っていく							

関西広域連合の広域観光・文化・スポーツ振興分野(観光・文化の振興)に係る施策運営目標

目標設定者: 広域観光・文化・スポーツ振興担当委員 西脇 隆俊

施策運営目標5 (重点方針5)	官民が一体となった広域連携DMOの取組の推進	評価区分	中間 最終
施策運営目標の課題	官民が一体となって設立した広域連携DMO「関西観光本部」の組織基盤の強化		
対応方針	関西観光本部の組織基盤の強化の検討と、関西観光本部と連携した様々な観光プロモーション事業の実施		

番号	5-1	事業名	関西観光本部事業					
予算額	(R4)	31,500	千円	(R3)	31,500	千円	区分	継続(H29~)
目標			達成状況			評価		
アウトプット	目標数値・アウトカム (目標数値)	昨年度からの 改善事項	アウトプット	達成数値・アウトカム (達成数値)	アウトプット評価	達成数値・ アウトカム評価		
官民が一体となって設立した広域連携DMO「関西観光本部」において、様々な観光プロモーション事業等を戦略的に実施するため、関西観光本部へ負担金を拠出する。	関西観光本部と連携した情報発信を通じて、訪日観光客の関西への誘客を図る。 官民連携による海外メディア (招請及び情報発信、web商談) 会等への出展回数:3回	—	「The KANSAI Guide」の情報発信力強化やマーケティングダッシュボードの高度化事業を進めるとともに、海外メディアやランドオペレーターを対象としたファムトリップを実施。また英、仏、台湾、タイにて現地セミナーもしくはオンラインセミナー及びセールスコールを実施。更に過去2年間は、オンライン開催であった台湾大商談会を4年度は、現地で多くの旅行業界関係者の参加を得て実施し、最新の関西観光情報をPRするなど、官民が連携して様々な観光プロモーションに取り組んだ。	官民連携による海外メディア招請及び情報発信、web商談会等への出展を図る。 官民連携による海外メディア招請及び (情報発信、web商談) 会等への出展回数:19回	コロナ禍、また水際対策の緩和後において官民及び地域と連携し、観光プロモーションを実施できた。	インバウンドの本格的な回復を見据えて、訪日意欲の高い海外の観光客や事業者に関西の観光情報を届けた。	A	A
令和4年度の課題	戦略的に官民一体による広域観光振興を推進することが必要							
令和5年度の対応方針	官民一体で広域観光振興の推進に戦略的に取り組む							

施策運営目標6 (重点方針)	関西文化の振興と国内外への魅力発信	評価区分	中間 最終
施策運営目標の課題	令和4年度中の文化庁の関西移転や2025年大阪・関西万博に向け、関西文化の発信力を一層高める必要がある		
対応方針	関西文化の魅力を国内外へアピールする		

番号	6-1	事業名	文化施設魅力発信事業					
予算額	(R4)	2,000	千円	(R3)	1,800	千円	区分	継続(R1~)
目標			達成状況			評価		
アウトプット	目標数値・アウトカム (目標数値)	昨年度からの 改善事項	アウトプット	達成数値・アウトカム (達成数値)	アウトプット評価	アウトカム評価		
テーマで古墳を結んだ周遊コースを造成し、まんが、イラスト等を活用したPRを行う。	テーマで結ぶことで古墳への関心を高め、広域的な周遊観光を図る。 (5コース作成)	古墳のPRだけでなく具体的な周遊観光につなげる。	テーマで古墳を結んだ周遊コースの造成と、まんが、イラスト等を活用したPRの実施に取り組んでいる。	テーマで古墳を結んだ周遊コースの造成 (5コース作成)	テーマで古墳を結んだ周遊コースを造成しPRを実施	テーマで古墳を結んだ周遊コースを5コース造成	A	A
令和4年度の課題	古墳に関心の低い層を対象とした新たな愛好者拡大及び周遊観光につながる取組が必要							
令和5年度の対応方針	「関西文化の日」と同様の取組を見直し、古墳など共通のテーマやストーリーとともに文化施設の魅力を発信する。							

関西広域連合の広域観光・文化・スポーツ振興分野(観光・文化の振興)に係る施策運営目標

目標設定者: 広域観光・文化・スポーツ振興担当委員 西脇 隆俊

番号	6-2	事業名	関西文化芸術支援情報発信事業						
予算額	(R4)	400	千円	(R3)	400	千円	区分	継続(R3~)	
目標				達成状況			評価		
アウトプット		目標数値・アウトカム (目標数値)		昨年度からの 改善事項	アウトプット		達成数値・アウトカム (達成数値)	アウトプット評価	アウトカム評価
関西エリアの文化芸術に関して構成府県市が取り組んでいる支援策や相談窓口の状況等を取りまとめ、関西広域連合のホームページで発信		関西の文化芸術関係者が必要な支援の情報を知ることができる。 「関西の文化芸術関係者に向けた支援や相談窓口について」のホームページの2,000ページビュー以上		民間の取組の掲載とホームページ内容の適宜更新	関西エリアの文化芸術に関して構成府県市が取り組んでいる支援策や相談窓口の状況等についてホームページを適宜更新し、情報発信している。 (770ビュー)		ホームページを適宜更新	補助金等の情報を随時更新し、情報発信を行った。 A	「関西の文化芸術関係者に向けた支援や相談窓口について」のホームページのページビュー数 770ビュー C
令和4年度の課題		民間が取り組んでいる支援策をホームページに加え、官民が連携した情報共有とその発信を行う							
令和5年度の対応方針		ホームページの内容を適宜更新し、適切な発信方法を検討する。							

施策運営目標7 (重点方針)	連携交流による関西文化の一層の向上	評価区分	中間 最終
施策運営目標の課題	事業実施のための連携交流をさらに深める必要がある		
対応方針	構成団体や官民の連携交流を通じて、関西文化のブランド力を向上させる		

番号	7-1	事業名	関西プレゼンツ「世界文化遺産」等発信事業						
予算額	(R4)	2,557	千円	(R3)	3,336	千円	区分	継続(H26~)	
目標				達成状況			評価		
アウトプット		目標数値・アウトカム (目標数値)		昨年度からの 改善事項	アウトプット		達成数値・アウトカム (達成数値)	アウトプット評価	アウトカム評価
・歴史文化遺産をテーマに文化庁地域文化創生本部等と連携したフォーラムを開催 ・世界遺産、日本遺産等の一体的な情報発信 ・日本遺産ウェブサイトの運用		世界遺産や無形文化遺産、世界の記憶、ジオパーク、世界遺産暫定リスト登録遺産、日本遺産等も含めて、一体的に情報発信を行い、関西全域での観光・文化振興が期待出来る。 来場者アンケート (○世界遺産への関心が高まった 回答者80%以上)		新たな年次テーマのもとでフォーラムを開催	・歴史文化遺産フォーラムを令和5年2月に京都市で開催 ・世界遺産、日本遺産等の一体的な情報発信 ・日本遺産ウェブサイトの運用		歴史文化遺産フォーラムにおいて来場者アンケート実施 (○世界遺産への関心が高まった回答者 90%以上)	ユニークベニューを活用した歴史文化遺産フォーラムを開催 A	歴史文化遺産フォーラムにおいて来場者アンケートの回答者の90%以上が世界遺産への関心が高まったと回答 A
令和4年度の課題		歴史文化遺産への興味関心を高めるため、関係団体と連携して内容を充実させる							
令和5年度の対応方針		時期に応じたテーマを設定するとともに、機会創出のため関係団体との連携を積極的に行う。							

関西広域連合の広域観光・文化・スポーツ振興分野(観光・文化の振興)に係る施策運営目標

目標設定者: 広域観光・文化・スポーツ振興担当委員 西脇 隆俊

施策運営目標8 (重点方針)	関西文化の次世代継承	評価区分	中間 最終
施策運営目標の課題	新型コロナウイルス感染症の影響により、子どもたちが伝統文化や生活文化等に触れる機会が減少している。		
対応方針	人が集まらない形により、子どもたちが伝統文化や生活文化等を体験できる機会を創出し、次世代継承を図る。		

番号	8-1	事業名	関西の文化人材活用事業					
予算額	(R4)	29,342	千円	(R3)	11,000	千円	区分	継続(R2~)
目標			達成状況			評価		
アウトプット		目標数値・アウトカム (目標数値)	昨年度からの 改善事項	アウトプット		達成数値・アウトカム (達成数値)	アウトプット評価	アウトカム評価
関西地域の文化団体や指導者等と連携し、次代を担う子どもたちが伝統文化や生活文化を体験できる教室を開催する。		関西の子どもたちが地域の伝統文化や生活文化等を体験・習得できる機会を創出し、伝統文化等を伝承・発展させるとともに子どもたちの豊かな人間性の滋養を図る。 オンライン教室の参加者 (数及び動画の視聴者数) 800人以上	オンライン教室の開催数を拡充	伝統文化親子教室をオンライン開催 8月27日(土)歌舞伎体験、9月11日(日)丹後二俣紙体験、10月10日(月・祝日)阿波踊り体験、10月29日(土)根来塗体験、11月5日(土)麒麟獅子舞体験、11月27日(日)日本舞踏体験、12月3日(土)甲賀流忍術体験、12月18日(日)奈良墨体験		オンライン教室の参加者数及び動画の視聴者数 800人以上 オンライン教室の参加者数及び動画の視聴者数 2,156人	昨年より体験内容、事業日数を増加させ、積極的な広報を行ったことで視聴者数が増加した。 A	オンライン教室を多くの方に視聴いただいた。 A
令和4年度の課題	体験教室のメニューを拡大し、子どもたちが伝統文化に触れる機会を拡大するとともに関西の文化人材の活用の機会を増加させていく必要。							
令和5年度の対応方針	体験内容を充実させ、引き続き伝統文化等の次世代継承を図る。							

施策運営目標9 (重点方針)	産学官連携による関西文化の創造	評価区分	中間 最終
施策運営目標の課題	文化と産業を融合させた新たな文化振興が必要である		
対応方針	行政や様々な分野の専門家、関係機関等の協働によるプラットフォームを活用し、次世代の新しい日本文化を創造、発信する取組を推進する。		

番号	9-1	事業名	はなやか関西・文化戦略会議を核とした取組					
予算額	(R4)	1,800	千円	(R3)	2,309	千円	区分	継続(H26~)
目標			達成状況			評価		
アウトプット		目標数値・アウトカム (目標数値)	昨年度からの 改善事項	アウトプット		達成数値・アウトカム (達成数値)	アウトプット評価	アウトカム評価
・文化庁の関西本格移転や2025年の大阪・関西万博等に向けた関西からの文化発信事業を検討するはなやか関西・文化戦略会議を開催(年1~2回程度) ・産学官連携プラットフォームを創設し、具体的なテーマのもとで文化関係者と産業関係者が交流し事業につなげる。		・産学官の多様な主体が交流・連携することで新たな文化創造の取組を促進する。 (プラットフォームの企画による事業を実施)	意見の聴取のみならず具体的な事業を実施できる体制を整備。	(公社)関西経済連合会、関西元氣文化圏推進協議会等のメンバーで構成された文化創造・交流プラットフォームにより、2つのプロジェクトを実施 ①万博に向けた取組 ②企業と芸術家の共創による文化創造		プラットフォームの企画による事業を実施 (2プロジェクト実施)	文化創造・交流プラットフォームにより新たな文化創造の取組を実施した。 A	2つのプロジェクトを実施 A
令和4年度の課題	新たな文化創造に向けた産学官による交流機会の創出							
令和5年度の対応方針	若手人材の育成策や大阪・関西万博に向けた文化振興策を検討する。							

関西広域連合の広域観光・文化・スポーツ振興分野(観光・文化の振興)に係る施策運営目標

目標設定者: 広域観光・文化・スポーツ振興担当委員 西脇 隆俊

番号	9-2	事業名	文化創造イノベーション推進事業					
予算額	(R4)	5,000	千円	(R3)	0	千円	区分	新規
目標			達成状況			評価		
アウトプット		目標数値・アウトカム (目標数値)	昨年度からの 改善事項	アウトプット		達成数値・アウトカム (達成数値)	アウトプット評価	アウトカム評価
文化庁移転機運を醸成するイベント等を活用し関西経済連合会と連携し文化と産業の融合につながる交流イベントを実施する。		交流イベントを通じ、来場者に 関西の新たな文化力を発信し、 更なる文化と産業の融合の 機会創出につなげる。 (イベント来場者 200人以上)	-	文化創造・交流プラットフォームで連携し、関西文化学術 研究都市内のけいはんな記念公園で芸術家によるアート イベントを実施 事前ワークショップ 3回(2/23、3/3、3/4) アートイベント 3/25、26 (来場者数 約 1,500人)		企業と芸術家の共創による 文化創造～関西の光のア ーティスト×ものづくり企業～ (来場者数 約 1,500人)	企業と芸術家の共創による文化創造イ イベントを実施	企業と芸術家の共創による 文化創造イベントを実施し、 多くの方に来場いただいた。
令和4年度の課題	産官学が連携し、新たな文化創造に向けた具体的な事業の推進							
令和5年度の対応方針	産官学の連携を強化して文化と産業の融合の機会創出を拡大する。							

施策運営目標10 (重点方針)	文化庁移転等を契機とした関西文化の振興	評価区分	中間 最終
施策運営目標の課題	文化庁の関西移転、2025年大阪・関西万博の開催を契機とした関西文化の魅力発信の推進		
対応方針	ビックデータやAIの活用して文化需要を把握し、利用者が求めている関西の文化情報を発信		

番号	10-1	事業名	関西圏文化観光促進DX推進事業					
予算額	(R4)	18,000	千円	(R3)	0	千円	区分	新規
目標			達成状況			評価		
アウトプット		目標数値・アウトカム (目標数値)	昨年度からの 改善事項	アウトプット		達成数値・アウトカム (達成数値)	アウトプット評価	アウトカム評価
関西文化の情報を一元的に扱うポータルサイトを開発し、サイト 利用情報等のビックデータ及びAIの活用により利用者の好みに 応じた文化情報、モデルルート提案する。		サイト利用者の利便性の向上 (サイトのページビュー120 万以上)	-	関西文化の情報を一元的に扱うポータルサイトを開発		関西文化の情報を一元的に 扱うポータルサイト作成 (166万PV)	ポータルサイト作成 (A)	関西文化の情報を一元的に扱う ポータルサイトのページビュー数 ビュー (A)
令和4年度の課題	利用者の好みに応じた関西の文化情報等の発信							
令和5年度の対応方針	大阪・関西万博に向けて関西の文化施設利用に係るデジタルパスポートを発行							

関西広域連合のスポーツ分野に係る施策運営目標

目標設定者： 広域スポーツ部担当委員 齋藤元彦

基本目標 (目指すべき将来像)	国内外にわたる観光・文化・スポーツの交流拠点関西		
	世界に誇る観光資源や歴史文化遺産、スポーツ施設を活かし、さらに魅力を高めながら情報発信を行うとともに、関西に移転する新・文化庁とも連携して積極的に関西・日本を元気にする新しい取組を展開し、国内だけでなく海外との地域間競争に打ち勝つ国際観光・文化・スポーツ圏“関西”を目指す。		
令和3年度施策運営目標評価結果に対する外部有識者からの意見	—		

施策運営目標1 (重点方針)	「ワールドマスターズゲームズ2021関西」の開催支援	評価区分	中間 最終
施策運営目標の課題	「ワールドマスターズゲームズ2021関西」の開催に向け、組織委員会や実行委員会との連携による大会の機運醸成が必要。		
対応方針	ワールドマスターズゲームズ2021関西組織委員会や実行委員会と連携し、大会の機運醸成及び知名度の向上を図る。		

番号	1-1	事業名	「ワールドマスターズゲームズ2021関西」等の機運醸成に向けた取組み					
予算額	(R4)	1,200	千円	(R3)	4,865	千円	区分	継続(H30~)
目標			達成状況			評価		
アウトプット	目標数値・アウトカム (目標数値)	昨年度からの 改善事項	アウトプット	達成数値・アウトカム (達成数値)	アウトプット評価	達成数値・ アウトカム評価		
「ワールドマスターズゲームズ2021関西」をはじめ、各種の生涯スポーツ大会への参加を勧奨するため、構成府県市でスポーツ活動への参加を促すキャンペーンを行うなど、スポーツに参加しやすい風土づくりやスポーツへの参加機会の拡充に取り組む。	機運醸成に向けた取組を通じて地域のスポーツ振興に向けた広域的連携を図る。 (WMG2021関西認知度 全国25% 近畿50%)	「ワールドマスターズゲームズ2021関西」の再延期に伴い、長期的な視野での事業計画を検討していく。	<各府県市の取組> ・滋賀県：イベントプログラムにPR広告を掲載 ・京都府：SNSキャンペーン ・奈良県：広報グッズの作成、配布 ・和歌山県：スポーツ体験会実施 ・徳島県：広報グッズの作成、配布 ・神戸市：神戸空港に壁面広告を掲示	-	大会が2027年5月に開催されることで合意されたことを受け、6府県市で機運醸成イベントを実施。	コロナの影響があるなか、各府県市で広報物を配布するほか、壁面広告やSNSなどを活用して独自の取組を展開し、ワールドマスターズゲームズ2027関西の認知を図り、スポーツに親しむ機運を醸成することができた。	B	
令和4年度の課題	再延期となっている「ワールドマスターズゲームズ2021関西」の会期決定のタイミングに配慮しつつ、新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえながら実施する。							
令和5年度の対応方針	2027年5月に会期が決定したことを受けて取組を進める。							

番号	1-2	事業名	「インターカレッジコンペティション2022」への支援					
予算額	(R4)	100	千円	(R3)	100	千円	区分	継続(H29~)
目標			達成状況			評価		
アウトプット	目標数値・アウトカム (目標数値)	昨年度からの 改善事項	アウトプット	達成数値・アウトカム (達成数値)	アウトプット評価	達成数値・ アウトカム評価		
ワールドマスターズゲームズ2021関西組織委員会が実施する「インターカレッジコンペティション2022」を支援 ・本コンペに関する情報発信 ・本コンペ開催のために必要な人的支援	本コンペの開催を支援することで、WMGの認知度向上やレガシー創造に向けた取り組みのアイデアを得る。 (参加25チーム以上)	特になし	ワールドマスターズゲームズ2021関西実行委員会が実施する「インターカレッジコンペティション2022」を支援 ・本コンペ開催のために必要な人的支援	参加チーム数 (13チーム)	ホームページで情報発信を行った。	大会再延期による影響があるなか、2027年5月の会期決定を受けて、たくさんのチームが参加できた。	B	
令和4年度の課題	昨年度よりも参加チーム数が減となった。							
令和5年度の対応方針	KCAAとも連携し、広報活動の充実を図る。							

関西広域連合のスポーツ分野に係る施策運営目標

目標設定者： 広域スポーツ部担当委員 齋藤元彦

番号	1-3	事業名	デジタル技術を活用した日々の運動習慣の促進				
予算額	(R4)	2,000	千円	(R3)	千円	区分	新規
目標				達成状況		評価	
アウトプット	目標数値・アウトカム (目標数値)	昨年度からの 改善事項	アウトプット	達成数値・アウトカム (達成数値)	アウトプット評価	達成数値・ アウトカム評価	
日々の運動習慣の促進と定着を図るため、デジタル技術(スマートフォン等)を活用したウォーキングイベントを開催する。 ・期日:令和4年5月～6月	運動機会を創出することで、スポーツ実施者を増やす。 (参加人数2,000人以上)		スマートフォンアプリを活用したウォーキングイベントを5月13日(金)～6月12日(日)に実施した。	参加人数 (5,314人)	計画どおりにイベントを実施できた。 A	参加人数は、目標人数を大きく超えていることから、府県民の運動機会を創出することができた。 A	
令和4年度の課題	-						
令和5年度の対応方針	特になし						

番号	1-4	事業名	「関西マスターズゲームズ」の開催				
予算額	(R4)	2,850	千円	(R3)	千円	区分	新規
目標				達成状況		評価	
アウトプット	目標数値・アウトカム (目標数値)	昨年度からの 改善事項	アウトプット	達成数値・アウトカム (達成数値)	アウトプット評価	達成数値・ アウトカム評価	
生涯スポーツの機運をさらに高めるとともに、成人のスポーツ参加機会の拡充を図るため、「ワールドマスターズゲームズ2021関西」の開催府県市との共催により、冠称大会と広域大会を開催する。 ・広域大会:8府県市11競技 ・冠称大会:全開催府県市	大会の開催を支援することにより、成人のスポーツ参加機会の拡充を図る。 (参加人数 広域大会1,000人以上 冠称大会50,000人以上)	特になし	広域大会 ・スカッシュ(京都市)を4月29日に実施 ・8府県市10競技を10月～2月に開催 冠称大会 ・10府県市で172大会を実施 ・全構成府県市で開催を予定	参加人数 (広域大会1,376人 冠称大会58,902人)	当初4構成府県市での実施を予定していたが、最終6府県市で大会を実施することができた。 A	参加人数が目標を上回ることができ、成人のスポーツ参加機会の拡充に繋がった。 A	
令和4年度の課題	開催府県市圏外の参加者を増やすために、各構成府県市へ大会の情報提供を積極的に行う。						
令和5年度の対応方針	各構成府県市と連携し、大会情報の共有を図る。						

関西広域連合のスポーツ分野に係る施策運営目標

目標設定者： 広域スポーツ部担当委員 齋藤元彦

施策運営目標2 (重点方針)	「生涯スポーツ先進地域関西」の実現	評価区分	中間 最終
施策運営目標の課題	子どもの体力水準は低い傾向が続いている。青年・中年期のスポーツ実施率が減少。スポーツへの関心が高い60歳以上のスポーツ参加機会が少ない。		
対応方針	年齢、性別、障害の有無を問わず、全ての人々のライフステージに応じたスポーツ活動を推進する。		

番号	2-1	事業名	関西広域スポーツ参画事業					
予算額	(R4)	606	千円	(R3)	698	千円	区分	継続(H29～)
目標			達成状況			評価		
アウトプット		目標数値・アウトカム (目標数値)	昨年度からの 改善事項	アウトプット		達成数値・アウトカム (達成数値)	アウトプット評価	達成数値・ アウトカム評価
①関西圏内の総合型地域スポーツクラブ等の小学生を対象としたスポーツ交流大会を実施 ②構成府県市が開催する「スポーツ障害予防講習会」や「スポーツ分野以外の分野をリンクさせたイベント」について、参加対象を関西全域に広げ、「冠称事業」として実施		スポーツ参画の機会を創出することで、スポーツ実施者を増やす。 (①全構成府県市から選手参加 ②500人以上)	特になし	①関西小学生スポーツ交流大会テニール大会(徳島県)令和5年2月11日 ②兵庫県で予定していた婚活イベントは新型コロナウイルスの感染状況を踏まえて中止 令和4年度兵庫県スポーツ推進委員中央研究協議会内の講演会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、「冠称事業」としては実施しなかった。		①関西小学生スポーツ交流大会テニール大会の実施 (4府県市7チーム)	①当初予定よりも規模は縮小されたが、大会を開催することができた。 ②適宜「冠称事業」の対象イベントを支援できるよう情報提供を依頼したが該当イベントの申込みがなかった。	①小学生のスポーツ参画機会の創出につなげることができたが、募集期間が新型コロナウイルスの感染拡大時期であったことや、競技団体が組織されていないために大会参加が難しい府県市があったため、目標チーム数に達することができなかった。
令和4年度の課題	新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえながら実施する。							
令和5年度の対応方針	新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえながら、安全に配慮して実施する。							

番号	2-2	事業名	女性のスポーツ参画の推進					
予算額	(R4)	120	千円	(R3)		千円	区分	新規
目標			達成状況			評価		
アウトプット		目標数値・アウトカム (目標数値)	昨年度からの 改善事項	アウトプット		達成数値・アウトカム (達成数値)	アウトプット評価	達成数値・ アウトカム評価
スポーツを通じた女性の活躍を促進するため、スポーツイベント等の企画や参加形態、情報発信の充実などの方策を検討する。		女性のスポーツに特化したHPの開設 (令和5年2月までに開設)		<HPの内容> ・女性が参加対象となるスポーツイベント ・託児付き等のスポーツイベント ・親子で参加できるスポーツイベント ・女性スポーツに関する講演会や研修会、フォーラム等 ・女性スポーツ組織 ・女性スポーツ促進に向けたスポーツ指導者ハンドブック		女性のスポーツに特化したHPを開設 (令和5年2月に開設)	当該HPは公開できたが、掲載内容については不十分であり、構成府県市と調整中である。	当初の予定どおりHPを開設できたが、今後は内容を充実させることが必要。
令和4年度の課題								
令和5年度の対応方針	構成府県市と連携し、HPの充実を図る。							

関西広域連合のスポーツ分野に係る施策運営目標

目標設定者： 広域スポーツ部担当委員 齋藤元彦

番号	2-3	事業名	障害者スポーツイベント等の情報発信					
予算額	(R4)	120	千円	(R3)	438	千円	区分	継続(R1~)
目標			達成状況			評価		
アウトプット	目標数値・アウトカム (目標数値)	昨年度からの 改善事項	アウトプット	達成数値・アウトカム (達成数値)	アウトプット評価	達成数値・ アウトカム評価		
関西圏域内で開催される国際競技大会や全国大会、スポーツイベントなどの情報を発信するとともに、各府県市の障害者スポーツ団体等のホームページとリンクし障害者スポーツに関する情報発信を行う	障害の有無を問わず、全ての人のライフステージに応じたスポーツ活動を支援するため、障害者が気軽にスポーツに参加できる機会の拡充を図る (ホームページアクセス数: 1,000ビュー)	特になし	障害者スポーツ体験会や障害者スポーツアスリート育成練習会の情報発信を行う	ホームページの随時更新 (1,394ビュー)	ホームページを適宜更新して情報発信を行っている。	ホームページの情報発信によって、スポーツに参加する機会の拡充につなげた。		
令和4年度の課題	-							
令和5年度の対応方針	特になし							

番号	2-4	事業名	障害者スポーツ体験会の開催					
予算額	(R4)	1,770	千円	(R3)	708	千円	区分	継続(R1~)
目標			達成状況			評価		
アウトプット	目標数値・アウトカム (目標数値)	昨年度からの 改善事項	アウトプット	達成数値・アウトカム (達成数値)	アウトプット評価	達成数値・ アウトカム評価		
府県市単位では開催の難しい障害者競技種目の体験会を大型商業施設などPR効果の高い会場で一般利用者向けに開催する。	障害者スポーツの競技人口に拡大や、障害者スポーツに対する理解促進を図る。 (参加者の満足度 85%以上)	特になし	障がい者スポーツ体験会の実施 <各府県市の取組> ・滋賀県：障がい者サッカー ・鳥取県：車いすラグビー等 ・京都市：車いす駅伝 ・大阪市：ポッチャ ・堺市：ブラインドサッカー	- (調査実施せず)	当初の予定どおり6府県市で開催することができた。	・障害のない府県市民にバラスポーツを観戦してもらい、車いすの試乗や障害者サッカーチームと対戦など、バラスポーツを実際に体験してもらうことで、障害者とバラスポーツへの理解促進を図ることができた。		
令和4年度の課題	新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえながら実施する。							
令和5年度の対応方針	アンケート実施について仕様書に記載する等して徹底を図る。							

番号	2-5	事業名	企業等表彰制度の実施					
予算額	(R4)	500	千円	(R3)	500	千円	区分	継続(R1~)
目標			達成状況			評価		
アウトプット	目標数値・アウトカム (目標数値)	昨年度からの 改善事項	アウトプット	達成数値・アウトカム (達成数値)	アウトプット評価	達成数値・ アウトカム評価		
経済団体と連携し、スポーツ振興に積極的な企業やスポーツを通じて健康経営に積極的に取り組む企業等に対する表彰を実施し、企業がスポーツ振興に取り組む機運の醸成を図る。	機運醸成に向けた取組を通じて地域のスポーツ振興に向けた広域的連携を図る。 (全構成府県市から応募)	参加企業数が増えるように、継続して広報活動を行う。	【受賞企業】 ・大賞：株式会社紀陽銀行 ・スポーツ振興賞：早駒運輸株式会社 ・地域振興賞：大塚ホールディングス株式会社 ・健康経営賞：株式会社世古工務店 ・特別賞：株式会社ワントゥーテン ※表彰式は、1月26日に開催	全構成府県市からの応募が得られた。 (12府県市)	3年ぶりに表彰式が開催でき、スポーツを通して、スポーツ振興や地域振興等、様々な分野に貢献している企業を表彰することができた。	新型コロナウイルス感染症の影響があるなか、地域のスポーツ振興に取組む多くの企業からのエントリーがあった。		
令和4年度の課題	表彰式については、新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえながら実施する。							
令和5年度の対応方針	特になし							

関西広域連合のスポーツ分野に係る施策運営目標

目標設定者： 広域スポーツ部担当委員 齋藤元彦

施策運営目標3 (重点方針)	「スポーツの聖地関西」の実現	評価区分	中間 最終
施策運営目標の課題	他府県からの訪問者の拡大が期待できる関西圏域内の国際大会や全国大会、スポーツイベントなどの周知支援が必要。障害者等のスポーツ人材の育成・確保が必要。		
対応方針	関西圏域内で開催される国際大会や全国大会をホームページで情報発信するとともに、アスリートや指導者の養成講習会を開催し、スポーツ人材を育成する。		

番号	3-1	事業名	「神戸世界パラ陸上競技選手権大会」の開催支援					
予算額	(R4)	677	千円	(R3)	531	千円	区分	継続(R2~)
目標			達成状況			評価		
アウトプット	目標数値・アウトカム (目標数値)	昨年度からの 改善事項	アウトプット	達成数値・アウトカム (達成数値)	アウトプット評価	達成数値・ アウトカム評価		
「世界パラ陸上」開催に向けて、府縣市単位では強化・育成が難しいパラ陸上アスリート向けの練習会や、大型商業施設などPR効果の高い会場で一般利用者や障害者向けに体験会を開催する。 ①アスリート育成練習会 ②障害者スポーツ体験会	構成府縣市が連携したスポーツ人材の育成や障害者スポーツの振興が期待できる。 (参加者満足度 80%以上)	特になし	①アスリート育成練習会 種 目：パラ陸上(短距離走・中距離走) 開催日：12月4日(日) ②障害者スポーツ体験会 種 目：パラ陸上(競技用車いす(レーサー)) 開催日：①令和4年11月3日(木・祝) ②令和5年1月8日(日) ③令和5年3月11日(土)	- (調査実施せず)	当初の予定どおり開催することができた。 A	①世界の最前線で活躍する指導者を招聘し、その指導を受けたことで、選手から積極的に質問が出るなど、有意義な練習会となった。 ②参加者はアスリートの指導を受けて、実際に競技用車いすに乗り、トラックの走行体験をもらった。世界パラ陸上が2024年に開催されることを知ると、ぜひ行きたいとの声が聞かれるなど、満足度の高い感想を得ることができた。 -		
令和4年度の課題	新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえながら実施する。							
令和5年度の対応方針	アンケート実施について仕様書に記載する等して徹底を図る。							

番号	3-2	事業名	関西で開催されるスポーツ大会やイベント情報の発信					
予算額	(R4)	120	千円	(R3)	439	千円	区分	継続(H29~)
目標			達成状況			評価		
アウトプット	目標数値・アウトカム (目標数値)	昨年度からの 改善事項	アウトプット	達成数値・アウトカム (達成数値)	アウトプット評価	達成数値・ アウトカム評価		
関西圏域内で開催される国際競技大会や全国大会、スポーツイベントなどを掲載したホームページの更新を行い、指導者・ボランティア情報やスポーツツーリズム情報と一体的に発信する。	関西圏域内のスポーツ関連情報を一体的に発信するホームページの更新により、スポーツの聖地関西としての認知度向上を図る。 (ホームページアクセス数： 50,000ビュー)	特になし	各構成府縣市に更新データを照会し、上半期と下半期の2回更新してイベント情報を公開した。	- (8770ビュー)	関西圏域内で開催されるスポーツイベントを発信することができた。 A	目標ビュー数を大きく下回った。昨年度までスポーツ部単独のHPを運営していたが、昨年度末に本部のHPに統合したため、検索エンジンにヒットしにくくなっていく可能性が考えられる。 C		
令和4年度の課題	-							
令和5年度の対応方針	実態に応じて目標を下方修正するとともに、HP関連業者に相談することでビュー数の向上を図る。							

関西広域連合のスポーツ分野に係る施策運営目標

目標設定者： 広域スポーツ部担当委員 齋藤元彦

番号	3-3	事業名	障害者スポーツアスリート育成練習会の開催					
予算額	(R4)	531	千円	(R3)	531	千円	区分	継続(H29～)
目標				達成状況		評価		
アウトプット		目標数値・アウトカム (目標数値)	昨年度からの 改善事項	アウトプット		達成数値・アウトカム (達成数値)	アウトプット評価	達成数値・ アウトカム評価
競技人口が少ない競技種目や障害者競技種目など、府県市単位では強化・育成が難しいアスリート向けの練習会を開催する。 (パラパワーリフティング、ボッチャ、パラ水泳)		府県市単位では、強化・育成が難しい競技種目の練習会を開催することで、構成府県市が連携したスポーツ人材の育成や障害者スポーツの振興が期待できる。 (参加者満足度 85%以上)	特になし	スポーツアスリート育成練習会の実施 <各府県市の取組> ・京都府：パラ・パワーリフティング ・奈良県：パラ水泳 ・大阪市：ボッチャ		- (調査実施せず)	当初の予定どおり府県市で開催できた。 A	各競技連盟から強化委員長や技術委員等をコーチとして招聘したところ、参加者には、コーチの話に熱心に耳を傾け、真摯にトレーニングに取り組む姿勢が見られた。終了後の感想でも、充実した練習が出来た、と好評であった。 -
令和4年度の課題	新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえながら実施する。							
令和5年度の対応方針	アンケート実施について仕様書に記載する等して徹底を図る。							

番号	3-4	事業名	スポーツ指導者講習会の実施					
予算額	(R4)	2,165	千円	(R3)	2,165	千円	区分	継続(H29～)
目標				達成状況		評価		
アウトプット		目標数値・アウトカム (目標数値)	昨年度からの 改善事項	アウトプット		達成数値・アウトカム (達成数値)	アウトプット評価	達成数値・ アウトカム評価
あらゆる競技の指導に活用できる普遍的なコーチング技術について国際競技大会等で実績のある著名な指導者を招聘し、関西圏域内のスポーツ指導者に向けた講習会を開催		講習会の開催により、関西圏域内のスポーツ指導者の資質や指導力の向上が期待できる。 (参加者の理解・満足度 80%以上)	特になし	スポーツ指導者講習会を令和4年2月4日(土)に大阪府で開催した。 テーマ：「女性とスポーツ」 講師： 鳥塚 之嘉(整形外科医：武庫川女子大学 教授) 吉川 貴仁(内科医：大阪公立大学 教授) 安井 智代(産婦人科医：大阪公立大学 准教授)		参加者数221名 (参加者の理解・満足度 98.4%)	コロナ禍でも開催できるように、会場とWEBのハイブリット方式で実施できた。 A	有識者によるスポーツ医学等の知見を活用し女性アスリート特有の課題をテーマに講演やパネルディスカッションを行い、指導力向上につながる会となった。 A
令和4年度の課題	新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえながら実施する。							
令和5年度の対応方針	特になし							

関西広域連合のスポーツ分野に係る施策運営目標

目標設定者： 広域スポーツ部担当委員 齋藤元彦

施策運営目標4 (重点方針)	「スポーツツーリズム先進地域関西」の実現	評価区分	中間 最終
施策運営目標の課題	「ワールドマスターズゲームズ2021関西」の開催に向け、広域的なスポーツツーリズムを整備・促進させる取組が必要。		
対応方針	関西で開催されるスポーツ大会やスポーツイベントを掲載したホームページや「関西広域サイクリングルート」を活用したイベントをとおして関西の魅力発信を行う。		

番号	4-1	事業名	関西でのスポーツツーリズム情報を紹介するホームページ運用					
予算額	(R4)	120	千円	(R3)	439	千円	区分	継続(H29～)
目標			達成状況			評価		
アウトプット		目標数値・アウトカム (目標数値)	昨年度からの 改善事項	アウトプット		達成数値・アウトカム (達成数値)	アウトプット評価	達成数値・ アウトカム評価
関西圏域内で開催される国際競技大会や全国大会、スポーツイベントなどを掲載したホームページの運用を行い、指導者・ボランティア情報やスポーツツーリズム情報と一体的に発信する。		ホームページの運用により、関西圏域内のスポーツ関連情報等を一体的に発信することでスポーツツーリズムの推進を図る。 (ホームページアクセス数: 50,000ビュー)	特になし	各構成府県市に更新データを照会し、上半期と下半期の2回更新してイベント情報を公開した。		- (8770ビュー)	関西圏域内で開催されるスポーツイベントを発信することができた。 A	目標ビュー数を大きく下回った。昨年度までスポーツ部単独のHPを運営していたが、昨年度末に本部のHPに統合したため、検索エンジンにヒットしにくくなっている可能性が考えられる。 C
令和4年度の課題								
令和5年度の対応方針		実態に応じて目標を下方修正するとともに、HP関連業者に相談することでビュー数の向上を図る。						

番号	4-2	事業名	観光・文化資源を融合させたスポーツの推進					
予算額	(R4)	5,118	千円	(R3)	3,540	千円	区分	継続(H30～)
目標			達成状況			評価		
アウトプット		目標数値・アウトカム (目標数値)	昨年度からの 改善事項	アウトプット		達成数値・アウトカム (達成数値)	アウトプット評価	達成数値・ アウトカム評価
スポーツと関西に集積する多彩な観光・文化資源を融合し、周遊プログラムとして開発した「関西広域サイクリングルート」を活用したイベントを開催する。		イベントを通じて、関西の観光・文化資源を理解・体験する。 (参加人数500人以上)	特になし	スマートフォンアプリを活用したサイクリングイベントを10月1日～11月30日で開催した。 イベント名：ツール・ド×関西 Season II - 忍びの里・古都をめぐる周遊サイクリング -		参加者数 (511名)	当初の予定どおりイベントを実施できた。 A	発着地点ごとに記念品を用意したり、ルート上の観光名所を立ち寄りスポットにすることで、関西の魅力を体験できるスポーツツーリズムを促進できた。 A
令和4年度の課題		-						
令和5年度の対応方針		特になし						

関西広域連合の広域観光・文化・スポーツ振興(ジオパークの推進)分野に係る施策運営目標

目標設定者: ジオパーク推進担当委員 平井 伸治

基本目標 (目指すべき将来像)	国内外にわたる観光・文化・スポーツの交流拠点関西 観光資源や歴史文化遺産、スポーツ資源を活かし、更に魅力を高めながら情報発信を行うとともに、関西に移転する新・文化庁とも連携して積極的に関西・日本を元気にする新しい取組を展開し、世界に誇る国際観光・文化・スポーツ圏“関西”を目指す。		
令和3年度施策運営目標評価結果に対する外部有識者からの意見	—		

施策運営目標 (重点方針)	多様な広域観光の展開による関西への誘客	評価区分	中間 最終
施策運営目標の課題	ジオパークを活用したインバウンドの推進		
対応方針	国内外に向けた情報発信、ジオパークを巡る周遊観光促進、ジオパークに通じた人材の育成		

番号	1	事業名	ジオパークの魅力発信・周遊促進					
予算額	(R4)	1,100	千円	(R3)	918	千円	区分	継続(H30~)

目標			達成状況		評価	
アウトプット	目標数値・アウトカム (目標数値)	昨年度からの 改善事項	アウトプット	達成数値・アウトカム (達成数値)	アウトプット評価	達成数値・ アウトカム評価
○国内外に向けた魅力発信 ・観光プロモーションの実施 ○山陰海岸ジオパーク・南紀熊野ジオパークを巡る周遊観光促進 ・旅行商品の造成促進のためのファミトリップの実施 ○ジオパークに通じた人材の育成 ・両ジオパークのガイド研修への講師の相互派遣等	ジオパークの魅力発信、PR等の取り組みにより国内外からの誘客を図る。 (ジオパーク拠点施設の 入込客数:年53万人)	インバウンドの推進により直接的な効果が期待できる旅行商品造成のためのファミトリップについて強化充実を図った。	○山陰海岸ジオパーク・南紀熊野ジオパークの周遊観光促進(旅行商品の造成) ・9/5~6に南紀熊野ジオパークにおいて、旅行代理店、通訳案内士によるファミトリップを実施。海外エージェント11社にツアーモデルプランを情報発信した。 ○ジオパークに通じた人材の育成 ・12月22日に関西観光本部職員と地元自治体職員等を対象に、9月の南紀熊野ジオパークのファミトリップを踏まえ取り組んでいる旅行商品造成等についての研修を開催。 ○トッププロモーション、各種イベント等でのPR ・海外での旅行博等において、チラシの配布等によりジオパークのPRを実施。 ・アメリカのニュースチャンネル「CNN」と連携し海外のミドルアッパー層へのプロモーション及び東アジア向けにプロモーションを実施(関西広域連合の観光関連事業全体の中で実施)	3月末時点でのジオパーク拠点施設の入込客数 (ジオパーク拠点施設の 入込客数:年61万人)	・令和4年度に予定した取組は概ね実施できた。	・令和3年度比約17万人増の入込客数を確保できた。目標数値を達成した。
令和4年度の課題	新型コロナウイルスの影響により、観光需要が回復していない状況が続いている。					
令和5年度の対応方針	引き続き、関係府県、関西観光本部等と連携しながら、インバウンドの回復を見据えてジオパークの誘客のための施策を実施する。					

関西広域連合の広域産業振興分野に係る施策運営目標

目標設定者： 広域産業振興担当委員 吉村 洋文

基本目標 (目指すべき将来像)	世界に開かれた経済拠点関西		
	関西の産業競争力を更に強化し、国内外での存在感を高めるため、各地域の強みを束ね、国内外から「人・モノ・投資・情報」が集まり、持続可能な社会の実現に貢献し、世界に開かれた経済拠点“関西”を目指す。		
令和3年度施策運営目標評価結果に対する外部有識者からの意見	—		

施策運営目標1 (重点方針)	関西の優位性を活かしたイノベーション創出環境・機能の強化	評価区分	中間 最終
施策運営目標の課題	グローバルな企業間競争の激化や、東京一極集中の流れが止まっていないなど、関西の企業を取り巻く競争環境が厳しさを増す中、競争力のある新たな産業を創出するためには、関西の持つ高いポテンシャルを活かしたイノベーションの創出が不可欠であり、オープンイノベーションの取組を拡大、推進していく必要がある。		
対応方針	関西が優位性を持つライフサイエンス分野・グリーン分野において、企業や大学とも連携して広域でのマッチングやネットワーク化及び研究開発を支えるインフラ等のイノベーションを創出するための環境整備や機能強化を図る。		

番号	1-1	事業名	関西スタートアップ・エコシステム情報発信事業			
予算額	(R4)	10,818	千円	(R3)	10,027	千円
				区分	継続(R3~)	

目標			達成状況		評価	
アウトプット	目標数値・アウトカム (目標数値)	昨年度からの 改善事項	アウトプット	達成数値・アウトカム (達成数値)	アウトプット評価	達成数値・ アウトカム評価
<p>京阪神スタートアップ・エコシステムが、内閣府の「世界に伍するスタートアップ・エコシステム拠点形成戦略」に基づく「グローバル拠点都市」に選定されたことを契機に、関西全域でのエコシステムの構築・発展を進め、域外企業や投資家等を関西に呼び込む。</p> <p>この目的のもと、スタートアップDBへの域内スタートアップの登録、国内イベントや海外メディアでの情報発信、情報発信イベントの開催、ポータルサイトの運営、情報発信等を実施する。</p>	<p>情報発信戦略に基づくポータルサイトによる情報発信、国内外への情報発信やイベント開催により、スタートアップや投資家等の関西における集積、また構成府県市によるスタートアップ支援策の積極的な活用を促進させる。</p> <p>(スタートアップDBへの登録：50社)</p>	<p>昨年度オープンしたポータルサイト等を活用し、関西全体の魅力・ポテンシャル・将来性を効果的に情報発信することで、域内外における関西の認知度・存在感の向上を図る</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○域内スタートアップの情報収集・スタートアップDBへの登録 ○国内イベント「KANSAI Startup Night」(スタートアップピッチ、トークセッション)を開催 <ul style="list-style-type: none"> ・第1回 開催日：令和4年6月30日(木) 開催場所：CIC Tokyo(リアルおよびオンライン) ・第2回 開催日：令和4年9月22日(木) 開催場所：CIC Tokyo(リアルおよびオンライン) ○成長産業カンファレンス「FUSE」にて「関西広域連合セッション KANSAIスタートアップが注目され始めている理由」を実施 <ul style="list-style-type: none"> 開催日：令和4年12月14日(水) 開催方法：オンライン ○国内イベント「KANSAI Startup Pitch Night」を開催 <ul style="list-style-type: none"> 開催日：令和5年3月23日(木) 開催場所：CIC Tokyo(リアルおよびオンライン) ○36krにて「KANSAI Startup Night Vol.1」の取材記事 <ul style="list-style-type: none"> 令和4年7月21日掲載(日本語、英語、中国語) ○Crunchbaseにて「Kansai, Japan's Deep Tech Hot Spot, Attracting Global Attention」の記事掲載 <ul style="list-style-type: none"> 令和4年12月24日掲載(英語) ○関西スタートアップ・エコシステムの情報発信イベントを開催 <ul style="list-style-type: none"> 開催日：令和5年2月1日(水) 開催場所：QUINTBRIDGE(リアルおよびオンライン) ○ポータルサイトのSEOコンサルティングおよび支援情報等の定期更新、英訳の拡大を実施。 	<p>スタートアップDBへの登録</p> <p>(205社)</p>	<p>計画どおりに実施した。</p> <p>A</p>	<p>目標を達成した。</p> <p>A</p>
令和4年度の課題						
令和5年度の対応方針	継続実施					

関西広域連合の広域産業振興分野に係る施策運営目標

目標設定者： 広域産業振興担当委員 吉村 洋文

番号	1-2	事業名	ライフサイエンス分野における関西のポテンシャルの発信・強化					
予算額	(R4)	7,286	千円	(R3)	7,135	千円	区分	継続(H26~)
目標			達成状況			評価		
アウトプット	目標数値・アウトカム (目標数値)	昨年度からの 改善事項	アウトプット	達成数値・アウトカム (達成数値)	アウトプット評価	達成数値・ アウトカム評価		
海外に訴求力のある大規模展示会やイベントへの参加により、 関西のライフサイエンス分野の強み・ポテンシャルを広く発信。国 内外における関西の認知度・存在感の向上を図ることにより、域 内への投資、企業立地の促進につなげ、域内関連産業の振興を 図る。	国内外から関西への人(企業)、も の(技術)、情報等の流入が促進 され、関西におけるビジネスチャン スの創出・拡大につながる。 (BioJapanマッチング件数: 参加企業数×6倍以上)	—	○「BioJapan2022」パートナーリング(オンライン)への 参加、セミナーの開催 ・広域連合域内企業11社が参加 ・関西のライフサイエンス分野のポテンシャル・認知度 向上を目的としたセミナー 発表題目:「関西「健都」を拠点とした、自律成長型 人材・技術を育む、総合健康産業都市 づくりへの挑戦」 講師: 浅野 滋啓(国立研究開発法人国立循環器病 研究センター オープンイノベーションセンター 産学連携本部・本部長) 《BioJapan2022》 (ア)開催日: 令和4年10月12日~14日 (イ)開催場所: パシフィコ横浜 ※参考: 出展社数 832社 来場者数 15,813名 ○「メディカル ジャパン 2023大阪」へのブース出展 ・産学官連携事例展示(11社) ・セミナー発表(3名)等 ・メディカルジャパン開催時期に合わせ、バーチャル ブースを開設。(令和5年1月10日~2月17日) 《メディカル ジャパン 2023 大阪》 (ア)開催日: 令和5年1月18日~20日 (イ)開催場所: インテックス大阪	BioJapanマッチング件数 (参加企業数11社) (183件)	計画どおりに実施した。	目標を達成した。 A		
令和4年度の課題								
令和5年度の対応方針	継続実施。							

番号	1-3	事業名	医療機器分野への参入に向けた医療機器相談の実施					
予算額	(R4)	2,224	千円	(R3)	2,224	千円	区分	継続(H25~)
目標			達成状況			評価		
アウトプット	目標数値・アウトカム (目標数値)	昨年度からの 改善事項	アウトプット	達成数値・アウトカム (達成数値)	アウトプット評価	達成数値・ アウトカム評価		
ものづくり企業の医療機器分野への参入を支援するため、医薬 品医療機器等法などの取り扱いに加え、知財や基盤技術、生産・ 管理、販売戦略など、事業化に向けた様々なステージにおける相 談事業を実施する。	中小企業の医療機器分野への参 入が促進され、広域連合域内のラ イフサイエンス分野のイノベーシ ョン創出につながる。 (相談件数: 250件以上)	—	○医療機器相談の実施 メディカルジャパン会期中、医療機器オンライン特別 相談会を実施	相談件数 (236件)	計画どおりに実施した。	目標の94%を達成 A		
令和4年度の課題	PRの一層の強化。							
令和5年度の対応方針	PRの強化を行うとともに、積極的に相談案件の掘り起こしを行う。							

関西広域連合の広域産業振興分野に係る施策運営目標

目標設定者： 広域産業振興担当委員 吉村 洋文

番号	1-4	事業名	「グリーン・イノベーション研究成果企業化促進フォーラム」の実施					
予算額	(R4)	1,785	千円	(R3)	1,840	千円	区分	継続(H27~)
目標				達成状況		評価		
アウトプット	目標数値・アウトカム (目標数値)	昨年度からの 改善事項	アウトプット	達成数値・アウトカム (達成数値)	アウトプット評価	達成数値・ アウトカム評価		
関西が高いポテンシャルを有するグリーン分野において、シーズの事業化を促進するため、域内を中心とした大学、試験研究機関等の研究成果を広域連合域内の企業に広く発信する。	シーズの事業化促進などグリーン分野への参入促進が図られ、広域連合域内のグリーン分野のイノベーション創出につながる。 参加者数:200人以上 (マatching件数: フォーラム発表数×7.4倍以上)	交流会(名刺交換会)に予約枠を設け、参加者の情報を事前に共有することで、Matchingの促進を図る。	○「グリーン・イノベーション研究成果企業化促進フォーラム」の開催 ・開催日：令和4年12月8日 ・開催場所：大阪工業大学 梅田キャンパス OIT梅田タワー 常翔ホール ※会場に参加者を受け入れながら、WEBで同時配信した。 ・内容： 「水素・燃料電池、蓄電池等のカーボンニュートラルに資する技術」をテーマとした研究成果発表会、特別講演等 【特別講演講師】 ①東京大学先端科学技術研究センター 教授 河野 龍興氏 ②経済産業省 産業技術環境局 環境政策課 カーボンニュートラル 実行計画企画推進室 室長補佐 金子 周平 氏	参加者数 (208人) ※会場参加 67人、 WEB参加 141人 Matching件数 (フォーラム発表数×4.8倍) ※フォーラム発表数:7件 Matching件数:34件	計画どおりに実施した。	Matching件数の目標を達成できなかった。		
令和4年度の課題	Matchingの強化(研究成果内容に対する企業の理解促進が必要)							
令和5年度の対応方針	専門的な研究成果内容をわかりやすく企業に伝えるため、発表資料のフォーマットを作成し、発表者に活用してもらうなどの工夫を行い、Matchingを促進していく。							

関西広域連合の広域産業振興分野に係る施策運営目標

目標設定者： 広域産業振興担当委員 吉村 洋文

番号	2-3	事業名	ニューノーマル時代における企業の成長支援					
予算額	(R4)	1,097	千円	(R3)	1,029	千円	区分	継続(R3~)
目標				達成状況			評価	
アウトプット	目標数値・アウトカム (目標数値)	昨年度からの 改善事項	アウトプット	達成数値・アウトカム (達成数値)	アウトプット評価	達成数値・ アウトカム評価		
企業のICT化等の取組み推進に向け、支援情報等ニューノーマルな時代に必要な情報を発信することにより、中小企業等の成長を支援する。	ウィズコロナ・アフターコロナ時代の新たなビジネス戦略を打ち出すための情報を得ることで、企業のICT化等の取組み推進に向けた情報発信機能が強化される。 (Webセミナーの視聴回数 : 1,000回以上)	—	○企業のICT化等の取組推進セミナーの開催 (ア)テーマ:最新DX事例から見る自社の現在地と今後の展開を考える (イ)開催日:令和4年12月15日(木) (ウ)内 容: ・業種を問わない新規サービス等DX事例紹介 ・DX推進指標の活用方法 ・DX推進のための公的支援窓口等の紹介 等 (エ)講 師: 垣見 多容 氏 (ITコーディネータ、NPO法人ITC近畿会 理事長) (オ)対 象: 中小企業の経営者、経営企画・IT・DX担当者、 中小企業支援機関関係者 等 ※令和5年1月10日(火)～令和5年3月31日(金)まで アーカイブ動画を公開	WEBセミナー視聴回数 (1,118回)	計画どおりに実施した。	目標を達成した。 A		
令和4年度の課題								
令和5年度の対応方針	継続実施							

関西広域連合の広域産業振興分野に係る施策運営目標

目標設定者： 広域産業振興担当委員 吉村 洋文

施策運営目標3 (重点方針)	個性豊かな地域の魅力を活かした地域経済の活性化	評価区分	中間・ 最終
施策運営目標の課題	関西には、ものづくりをはじめとする産業資源や、世界文化遺産などの観光資源、歌舞伎や文楽などの歴史・文化資源など、それぞれの地域においてポテンシャルのある様々な資源を有しており、その魅力を発信し、広く認知度を高める必要がある。		
対応方針	関西が有する多様な地域資源の様々な観点からの産業化や、SDGsの取組を進めている地域課題解決型ビジネスモデルの普及先導に取り組むことで、個性豊かな関西の強みを最大限に活かした地域経済の活性化を図る。		

番号	3-1	事業名	ものづくりをはじめとする地域魅力の発信					
予算額	(R4)	6,742	千円	(R3)	6,699	千円	区分	継続(R1~)
目標			達成状況			評価		
アウトプット	目標数値・アウトカム (目標数値)	昨年度からの 改善事項	アウトプット	達成数値・アウトカム (達成数値)	アウトプット評価	アウトカム評価		
<p>関西が有する産業資源や、観光資源、歴史・文化資源などの産業化を推進するため、デザインや実用性に優れた関西の工業製品などの産業資源をはじめとする関西の持つ魅力やポテンシャルを国内外に広く発信するプロモーション活動を展開する。</p>	<p>国内外における関西の認知度・イメージの向上が図られ、個性豊かな関西の強みを最大限に活かした地域経済の活性化につながる。</p> <p>【海外プロモーション】 リアル展示販売会場における関西広域連合ブースへの総来場者数:1000人以上 【CRAFT14】 ホームページアクセス件数:4,300件以上</p>	<p>リアル展示会の他、オンライン展示会への製品出展を行い、コロナ禍にも対応した商品PRを行う予定。</p>	<p>○国内発信 誠品生活日本橋(有隣堂運営)との連携によるプロモーションイベントを開催 関西のものづくり製品の展示・販売と、製品や関西に関連した動画や広報物を展開。 (ア)開催時期:令和4年12月27日~令和5年1月31日 (イ)開催場所:誠品生活日本橋(コレド室町テラス内)及び誠品生活日本橋ECサイト</p> <p>○国外発信 海外産業プロモーション事業の実施 (ア)開催時期:令和4年8月から令和5年3月末 (イ)開催内容:欧州(フランス)の展示会への出展支援等を行うことで、域内ものづくり企業の海外販路開拓を支援 ・パリ展:令和4年11月2日~同月19日 ・地方都市展:令和4年11月25日~12月2日 (ウ)参加事業者数:9社 (昨年度参加事業者16社より募集)</p>	<p>【海外プロモーション】 ブース来場者数 (-)</p> <p>【CRAFT14】 ホームページ アクセス件数 (3,020件)</p>	<p>【国内発信】 計画どおりに実施した。</p> <p>【国外発信】 展示会参加自治体が過去最多を記録した関係で、急遽会場のレイアウトが変更となり、連合含め全自治体がブース出展不可となった。 (参考)会場全体の来場者数:約8,700人</p>	A	<p>【海外プロモーション】 連合単独ブースの出展はできなかったものの、ジェトロ等現地関係機関と連携し、幅広く広報活動を行ったほか、現地で実施した連合主催イベントなどが好評を博した結果、展示販売会場にはコロナ前の約5割増となる来場者数があり、効率的・効果的に商品のPRができたと言える。</p> <p>【CRAFT14】 展示会のオンライン開催や土産品需要が未だ少ない等、HPに誘導できるコンテンツが少なかったためアクセス数が伸びなかったと考える。</p>	B
令和4年度の課題	【CRAFT14】展示会のオンライン開催や土産品需要が未だ少ない等、HPに誘導できるコンテンツが少なかったためアクセス数が伸びなかった。							
令和5年度の対応方針	【CRAFT14】認定事業は終了。カタログやHPでの情報発信のみを行っているが、今後はより効果的な情報発信につなげていくため国内プロモーション事業と合わせて事業の見直しを図る。							

関西広域連合の広域産業振興分野に係る施策運営目標

目標設定者： 広域産業振興担当委員 吉村 洋文

施策運営目標4 (重点方針)	関西を支える人材の確保・育成	評価区分	中間 最終
施策運営目標の課題	関西の優位性を活かしたイノベーション創出環境・機能の強化等の取組を推進する上で、人材の確保や育成は極めて重要な問題である。とりわけ、関西においては生産年齢人口の大幅な減少が見込まれており、関西経済の持続的成長のためには、人材不足の状況に対応した人材の確保が喫緊の課題となっている。		
対応方針	多様な人材の活躍を支える環境づくりや、外国人材が活躍し、共生する環境づくり、イノベーションを生み出す人材の確保・育成という3つの視点で取組を進める。		

番号	4-1	事業名	関西を支える人材の確保・育成					
予算額	(R4)	1,474	千円	(R3)	306	千円	区分	継続(R1~)
目標				達成状況		評価		
アウトプット	目標数値・アウトカム (目標数値)	昨年度からの 改善事項	アウトプット	達成数値・アウトカム (達成数値)	アウトプット評価	達成数値・ アウトカム評価		
人材の確保・育成策について検討を行い、具体的な施策につなげるための人材検討会を運営する。 関西広域連合域内における産業人材の確保・育成に資することを目的に、域内の大学や人材支援機関、企業等の取組で、中堅・中小企業の参考となる情報を「from NOW ON KANSAI」として発行し関西全域に発信する。	構成府県市の施策の充実、横展開による機能強化が図られることにより、中堅・中小企業の人材確保・育成の取組の活性化につながる。 (産業人材 ホームページアクセス件数:2,600 件以上)	—	○人材検討会 (ア)テーマ:「採用」以外に優秀な人材確保をする方法があるのをご存じですか? (イ)開催日:令和5年2月28日(火) (ウ)講師:加地 裕子 氏 中核人材雇用戦略デスク (大阪府プロ人材)統括マネージャー (エ)対象:中小企業の経営者、採用・人事担当者等 ○「from NOW ON KANSAI」の発行 ・第7号(スモールビジネス事例紹介) 11月発行 ・第8号(スモールビジネス事例紹介) 12月発行 ・第9号(人材確保の取組紹介) 2月発行	産業人材ホームページアクセス件数 (2,535件)	人材検討会については、より効果的なものとするため実施方法を見直し、企業向けセミナーとして開催。 「from NOW ON KANSAI」は計画どおりに発行。	目標の80%以上を達成		
令和4年度の課題	アクセス数の増加につながるようなPRが課題。							
令和5年度の対応方針	セミナーや情報紙の内容の充実を図るとともに、メルマガ、SNS等による効果的なPRに努める。							

関西広域連合の農林水産分野に係る施策運営目標

目標設定者： 広域産業振興(農林水産部)担当委員 岸本周平

基本目標 (目指すべき将来像)	関西の産業分野の一翼を担う競争力ある農林水産業 各構成府県市におけるこれまでの農林水産業に関する振興施策を十分に尊重し、かつこれらの施策と連携しつつ、農林水産業を関西の産業分野の一翼を担う競争力のある産業として育成・振興することを目指す。
令和3年度施策運営目標評価結果に対する外部有識者からの意見	—

施策運営目標1 (重点方針)	地産地消運動の推進による域内消費拡大	評価区分	中間 最終
施策運営目標の課題	恒常的にエリア内農林水産物を活用する取組の促進		
対応方針	恒常的に食材を提供する企業の社員食堂や学校給食での利用推進、域内直売所間の交流によるエリア内農林水産物の消費拡大		

番号	1-1	事業名	「おいしい！KANSAI応援企業」の登録					
予算額	(R4)	3,475	千円	(R3)	3,475	千円	区分	継続(H25～)
目標			達成状況			評価		
アウトプット		目標数値・アウトカム (目標数値)	昨年度からの 改善事項	アウトプット		達成数値・アウトカム (達成数値)	アウトプット評価	達成数値・ アウトカム評価
①「おいしい！KANSAI応援企業」の登録推進 地産地消運動の趣旨に賛同する企業等を「おいしい！KANSAI応援企業」として登録し、社員食堂や職員食堂でのエリア内農林水産物を使った料理の提供を通じて消費拡大を図る ②「おいしい！KANSAI応援企業」紹介ページの作成と社食でのイベントによるPR 登録企業のメリット強化として企業の紹介ページをホームページ内に作成するとともに、社食で産品販売イベント等を行う		地産地消運動の啓発や紹介ページの作成などにより、登録企業数を増加させ、エリア内農林水産物の域内消費を拡大 (登録企業数:177社 (対前年度比113%))	企業と産地の双方のメリットを強化し、消費拡大を図るため、社食での産品販売イベント等を拡充する	企業への個別訪問やWEBでの説明会で地産地消運動の趣旨を説明し、17社を登録した。 ・順次、登録企業へ取材し、紹介ページをホームページ内に作成した。 ・社食での産品販売イベントや域内食材のメニューインの取組は、延べ10府県市が参加し、4社で実施した。		登録企業数 (170社)	多くの企業等で地産地消運動の趣旨に賛同いただき、新たに17社を登録することができた。 また、イベントは企業や府県市協力のもと予定どおり進めることができた。	概ね目標どおり17社を登録したが、4社が食堂を廃止したため登録抹消となった。 応援企業へ食材情報の発信をはじめ、イベントの実施を通じて、域内食材のPRと社食での使用拡大に繋げた。
令和4年度の課題	登録数増加に向け、更なる周知が必要							
令和5年度の対応方針	関係者と連携し、周知を広める							

番号	1-2	事業名	学校への特産農林水産物利用促進のための啓発					
予算額	(R4)	4,621	千円	(R3)	4,735	千円	区分	継続(H25～)
目標			達成状況			評価		
アウトプット		目標数値・アウトカム (目標数値)	昨年度からの 改善事項	アウトプット		達成数値・アウトカム (達成数値)	アウトプット評価	達成数値・ アウトカム評価
①出前授業の実施 生産者団体が実施する府県域を越えた出前授業の取組を促進するため、受入希望校とのマッチングを行う ②学校給食への関西広域連合域内特産農林水産物の提供		出前授業での啓発や学校給食におけるエリア内農林水産物の利用拡大により、域内消費を拡大 (域内特産農林水産物の提供学校数:28校)	コロナ禍で影響を受けた品目を中心に域内小学校等に提供するとともに、マッチングを強化し、提供学校数を増加させる	・構成府県市から各教育委員会、学校に呼びかけ、214校を選定し、学校給食へコロナ禍で影響を受けた品目等域内特産農林水産物を提供した。 ・出前授業はWEBも活用し、昨年を上回る26校で実施した。		域内特産農林水産物の提供学校数 (214校)	当初の計画どおり、農林部局及び教育部局が連携し、構成全府県内の学校に域内食材の提供や出前授業を実施した。	目標を上回る、多くの学校給食の場の特産農林水産物を提供し、域内食材の周知PRと利用拡大を図ることができた。
令和4年度の課題	一層のモデル校の拡大							
令和5年度の対応方針	関係者と連携し、事業の拡大を図る							

関西広域連合の農林水産分野に係る施策運営目標

目標設定者： 広域産業振興(農林水産部)担当委員 岸本周平

番号	1-3	事業名	直売所の交流促進					
予算額	(R4)	1,000	千円	(R3)	1,000	千円	区分	継続(H25~)
目標				達成状況		評価		
アウトプット		目標数値・アウトカム (目標数値)	昨年度からの 改善事項	アウトプット		達成数値・アウトカム (達成数値)	アウトプット評価	達成数値・ アウトカム評価
①直売所の交流促進 広域連合がマッチングを行うとともに、府県域を越えたイベントへの支援により、直売所の新たな参加や交流の拡大を図る		直売所間交流によるイベント開催等により、エリア内農林水産物の域内消費を拡大 (直売所間交流回数 :10回)	広域連合がマッチングを強化するとともに、府県域を越えたイベントへの支援により、直売所の新たな参加や交流の拡大を図る	・構成府県市を通じて、直売所に個別訪問を行うなど、交流への参加を広く呼びかけるとともに、新たな参加店舗の掘り起こしを行った。 ・参加希望のあった店舗を対象に受入先店舗とのマッチングを行い、直売所間交流を9回実施した。		直売所間交流回数 (9回)	新たな店舗の参加があり、交流の拡大につながった。 A	コロナ禍で交流不可の店舗も多く、マッチングは難航したが、概ね計画どおり実施することができた。コロナ禍でイベントに出向く、又は受け入れるのが難しい店舗では商品のみでの交流を行い、域内の消費拡大を図った。 B
令和4年度の課題	直売所間交流の新規交流							
令和5年度の対応方針	より多くの交流活動が実施できるようマッチングを強化							

基本目標 (目指すべき将来像)	関西の産業分野の一翼を担う競争力ある農林水産業 各構成府県市におけるこれまでの農林水産業に関する振興施策を十分に尊重し、かつこれらの施策と連携しつつ、農林水産業を関西の産業分野の一翼を担う競争力のある産業として育成・振興することを目指す。							
令和3年度施策運営目標評価結果に対する外部有識者からの意見	-							
施策運営目標2 (重点方針)	国内外への農林水産物の販路拡大						評価区分	中間・ 最終
施策運営目標の課題	国内外での情報発信機会の充実、輸出への機運醸成、域内の食品事業者・農水産物生産者と大型量販店や外食産業等との商談機会の創出							
対応方針	構成府県市のPRイベント等を活用、セミナーの開催、WEB型マッチング商談会の開催							

番号	2-1	事業名	食品輸出セミナーの開催					
予算額	(R4)	494	千円	(R3)	554	千円	区分	継続(H28~)
目標				達成状況		評価		
アウトプット		目標数値・アウトカム (目標数値)	昨年度からの 改善事項	アウトプット		達成数値・アウトカム (達成数値)	アウトプット評価	達成数値・ アウトカム評価
海外輸出セミナーの開催 事業者向け海外輸出セミナーを開催し、輸出に向けての機運を醸成、各種情報を発信する。		輸出促進に向けた機運醸成 輸出に取り組むうえで (「役に立った」という回答) 80%	オンライン開催を引き続き取り入れ、昨年度同様、音声や画像の不具合が生じないようリハーサルを行い、パソコン操作方法などに関し講師をフォローする体制を整えた。また、事前に質問を受け付けることにより、質疑応答がよりスムーズに充実したものとなった。	以下のとおり食品輸出セミナーを開催。 ・日時:令和5年1月13日(金)14~16時 ・場所:オンライン開催 ・テーマ:「競争力を強化し、世界で選ばれる関西の食へ」 ・講演者:佐久間朋宏氏[一般財団法人ハラル・ジャパン協会] デニス・ウー氏[味珍味(香港)有限公司] 大吉枝美氏[株式会社大吉農園] ・申込者数:217名		アンケートにおいて「役立つ」という回答の割合 アンケートで「役立つ」と回答した割合) 89%	当初の計画のとおり、食品輸出セミナーを開催した。 A	アンケートの結果、役立つ旨の回答が89%を占め、目標数値を上回り、輸出促進に向けた機運が醸成できた。 A
令和4年度の課題	社会情勢や時代に即したセミナー内容の充実、管内事業者への効果的な周知及び新型コロナウイルス感染防止策を講じた開催方法。							
令和5年度の対応方針	令和4年度のアンケート結果を踏まえるとともに、構成府県市や輸出に取り組む関西地域の事業者等から講演テーマに関するニーズを把握し、より効果的なセミナーを開催する。							

関西広域連合の農林水産分野に係る施策運営目標

目標設定者： 広域産業振興(農林水産部)担当委員 岸本周平

番号	2-2	事業名	WEB型マッチング商談会の開催					
予算額	(R4)	1,603	千円	(R3)	1,603	千円	区分	継続(R3~)
目標				達成状況		評価		
アウトプット		目標数値・アウトカム (目標数値)	昨年度からの 改善事項	アウトプット		達成数値・アウトカム (達成数値)	アウトプット評価	達成数値・ アウトカム評価
コロナ禍において多様な販路の開拓を支援するため、首都圏等の大型量販店や外食産業等の食品関係バイヤーを15社以上招へいし、域内事業者とのWEB型マッチング商談会を開催することにより100件以上の商談機会を創出する。		WEB商談を契機として域内事業者の販路を拡大。 (満足度80%、成約率 10%)	オンライン商談会スキルアップセミナーを通常の仕様に追加	・11月21日にWEB型マッチング商談会を実施 ・食品関係バイヤーは35社を招へい うちマッチングしたバイヤーは30社 ・商談件数は120件		120件の商談のうち、11件の商談が成立し、成約率9%。 (満足度 95% 成約率 9%)	・目標の15社の倍以上の35社のバイヤーを招へいし、うち30社と商談のマッチングができ、120件の商談機会を創出した。 A	120件の商談のうち、11件の商談が成立し、成約率は9%。コロナ禍における域内事業者の首都圏等への販路拡大に寄与することができた。 B
令和4年度の課題	参加事業者の利便性向上							
令和5年度の対応方針	小売や外食産業等の幅広い業種の食品関係バイヤーを招へいし、引き続きコロナ禍におけるWEBを活用した域内事業者の首都圏等への販路開拓を支援する。							

基本目標 (目指すべき将来像)	関西の産業分野の一翼を担う競争力ある農林水産業 各構成府県市におけるこれまでの農林水産業に関する振興施策を十分に尊重し、かつこれらの施策と連携しつつ、農林水産業を関西の産業分野の一翼を担う競争力のある産業として育成・振興することを目指す。	
令和3年度施策運営目標評価結果に対する外部有識者からの意見	—	

施策運営目標3 (重点方針)	都市との交流による農山漁村の活性化と多面的機能の保全	評価区分	中間・ 最終
施策運営目標の課題	都市と農山漁村の交流の先進的事例等の情報発信や知見を有する人材の育成		
対応方針	優良事例の情報発信、人材バンクの活用と現地研修会の開催		

番号	3-1	事業名	都市農村交流の情報発信					
予算額	(R4)	2,197	千円	(R3)	3,020	千円	区分	継続(H29~)
目標				達成状況		評価		
アウトプット		目標数値・アウトカム (目標数値)	昨年度からの 改善事項	アウトプット		達成数値・アウトカム (達成数値)	アウトプット評価	達成数値・ アウトカム評価
①「都市農村交流サイト」の運営と情報発信の強化 構成府県市の優良事例や交流施設等を紹介する「都市農村交流サイト」を運営するとともに、大手旅行会社との連携やSNSの活用により情報発信を強化する		広域連合ホームページに加え、民間旅行サイト等を活用した情報発信により、都市住民の農山漁村への関心を高め、交流を促進する (民間旅行サイトへの 掲載施設数:100件)	民間旅行会社等と連携して、情報発信の強化を図る	・民間旅行サイトで「体験・観光農園」107施設を紹介するとともに、旅行雑誌に特集記事を掲載し、広く情報発信を行った。 ・府県市の優良事例や地域情報をfacebookやHPを活用し、情報を発信した。		民間旅行サイトへの掲載施設数(3月末見込) (107件)	当初の計画どおり、大手旅行会社のサイトや雑誌を活用して情報発信をした。 A	民間旅行サイトに目標を上回る107施設を掲載し、全国区でPRすることができた。 A
令和4年度の課題	情報発信の強化							
令和5年度の対応方針	掲載情報量や掲載場所を増やし、情報を拡散し、体験コンテンツの魅力を向上させる。							

関西広域連合の農林水産分野に係る施策運営目標

目標設定者： 広域産業振興(農林水産部)担当委員 岸本周平

番号	3-2	事業名	都市農村交流のための人材育成					
予算額	(R4)	804	千円	(R3)	70	千円	区分	継続(H29～)
目標				達成状況			評価	
アウトプット		目標数値・アウトカム (目標数値)	昨年度からの 改善事項	アウトプット		達成数値・アウトカム (達成数値)	アウトプット評価	達成数値・ アウトカム評価
① アドバイザーの追加登録と派遣 都市農村交流に関する知見を有するアドバイザーを追加登録するとともに、地域からの要請に応じ、アドバイザーを派遣する ② 都市農村交流現地検討会の開催 構成府県市における都市農村交流の優良事例の発表や、地域課題の解決に向けた現地見学と意見交換を行う現地検討会を開催する ③ 構成府県における都市農村交流アドバイザー活用優良事例の発信 各構成府県において、都市農村交流アドバイザーが活動した優良事例についてホームページで公開し、広く発信・周知することにより、活用を促進する		アドバイザーの派遣や現地検討会の開催により、関係者の都市農村交流活動に対する意識が高まり、地域の活性化を推進 (参加人数:40人)	-	①アドバイザーを新たに2名登録した。また、3府県内の団体等に対しアドバイザーを4回派遣し、加工品開発や販路開拓、直売所運営等についてアドバイスを行った。 ②11月17～18日、滋賀県で農家民泊実践者等を対象にWEBを併用して現地検討会を開催した。 内容:(一社)近江日野交流ネットワークの取組事例報告、宿泊兼農村生活体験、意見交換等 ③アドバイザー3名の活動事例を新たにホームページで公開した。		現地検討会参加人数 (54人)	構成府県市の協力を得て、計画どおりアドバイザーの派遣や現地検討会を開催することができた。	現地検討会は、コロナ禍も考慮してWEB併用方式で開催し、多くの参加が得られた。また、アンケートで全員が参考になったと回答。特に、実際の宿泊兼生活体験や受入家庭の体験談が役に立ったという意見が多数あった。
令和4年度の課題	取組の周知、アドバイザーの派遣実績の拡大							
令和5年度の対応方針	都市農村交流をさらに推進するため、域内外に向けた情報発信を強化する							

関西広域連合の企画管理分野に係る施策運営目標

目標設定者： イノベーション推進担当委員 齋藤 元彦

基本目標 (目指すべき将来像)	世界に開かれた経済拠点関西 関西の産業競争力を更に強化し、国内外での存在感を高めるため、各地域の強みを束ね、国内外から「人・モノ・投資・情報」が集まり、持続可能な社会の実現に貢献し、世界に開かれた経済拠点“関西”を目指す。
令和3年度施策運営目標評価結果に対する外部有識者からの意見	—

施策運営目標 (重点方針)	産学官連携によるイノベーションの強化・推進	評価区分	中間 最終
施策運営目標の課題	産業界の関心が高い健康・医療関連の新産業創出に向けた産学官連携の取組の促進		
対応方針	産学官の各主体の合意形成を図り、産学官連携による関西健康・医療創生会議におけるこれまでの新型コロナウイルス感染症対策の検証と今後の対応の検討、啓発		

番号	1	事業名	産学官連携によるイノベーションの強化・推進					
予算額	(R4)	2,626	千円	(R3)	2,666	千円	区分	継続 (H27~)

目標			達成状況		評価	
アウトプット	目標数値・アウトカム (目標数値)	昨年度からの 改善事項	アウトプット	達成数値・アウトカム (達成数値)	アウトプット評価	達成数値・ アウトカム評価
産学官連携による関西健康・医療創生会議における健康・医療データの収集・連携・利活用の推進及びこれまでの新型コロナウイルス感染症対策の検証と今後の防止策の検討、啓発等	新型コロナウイルス感染症等に関するシンポジウム・セミナーへの参加者数 (年1,000人)	—	新型コロナウイルス感染症対策の課題の検証と今後の健康社会づくりを検討するシンポジウムを開催 (2月6日) 医療機関が有する医療データや情報システムに対するサイバーセキュリティ対策を検討するセミナーを開催(3月3日)	新型コロナウイルス感染症対策の課題の検証と今後の健康社会づくりを検討するシンポジウムや医療機関向けのサイバーセキュリティ対策を検討するセミナーを開催し、参加者数が目標数値を概ね達成している。 (714人)	シンポジウムの開催により、新型コロナウイルス感染症対策の課題の検証と今後の健康社会づくりの検討及び啓発を図ることができた。併せて、医療機関が有する医療データや情報システムに対するサイバーセキュリティ対策の検討および啓発を図ることができた。 B	目標数値を概ね達成 B
令和4年度の課題	新型コロナウイルス感染症への対応の検討、啓発に努めるとともに健康・医療データの収集・連携・利活用の推進					
令和5年度の対応方針	新型コロナウイルス感染症への対応の検討、啓発に努めるとともに健康・医療データの収集・連携・利活用の推進					

関西広域連合の広域環境保全分野に係る施策運営目標

目標設定者： 広域環境保全担当委員 三日月 大造

基本目標 (目指すべき将来像)	地域環境・地球環境問題に対応し、環境・経済・社会の統合的向上による持続可能な関西		
	○温室効果ガスの排出量の少ない社会の実現 ○多様で豊かな恵みを享受した人と自然が共生する社会の実現 ○地域特性を活かした資源循環の輪が構築された循環型社会の実現 ○様々な世代が多様な形で環境学習や環境保全活動に参画		
令和3年度施策運営目標評価結果に対する外部有識者からの意見	—		

施策運営目標1 (重点方針)	地球温暖化対策	評価区分	中間・ 最終
施策運営目標の課題	○地球温暖化対策(温室効果ガス削減)に対する住民意識を向上させる。 ○地域の未利用資源を活用した再生可能エネルギーの導入を促進する。		
対応方針	○暮らしや産業活動における一層の省エネルギー化に係る啓発、次世代自動車の普及啓発等、広域的な取組を行うことにより、温室効果ガスの排出削減を図る。 ○再生可能エネルギーの導入促進に関する課題や情報等の共有、発信を進めるとともに、地域における再生可能エネルギー導入の担い手となる人材を育成する。		

番号	1-1	事業名	住民・事業者啓発事業					
予算額	(R4)	3,719	千円	(R3)	1,943	千円	区分	継続(H26~)

目標			達成状況		評価	
アウトプット	目標数値・アウトカム (目標数値)	昨年度からの 改善事項	アウトプット	達成数値・アウトカム (達成数値)	アウトプット評価	達成数値・ アウトカム評価
○「関西脱炭素社会実現宣言」の発出に伴う具体的な取組として、「関西脱炭素アクションポスター(関西夏のエコスタイル、関西夏のクールチョイス、関西省エネ家電賞運動、関西冬のエコスタイルを統合)」を年度当初に作成・配布するとともに、環境の分野だけでなく、様々な分野において、住民、事業者、経済団体等とも連携し、多様な主体が一堂に会し交流を行うことができる「関西脱炭素フォーラム」を開催する。 ○オフィス等の省エネ行動を推進するため、「関西エコオフィス宣言」を宣言する事業所を募集し、登録、公表する。また、優れた取組の水平展開のため、宣言事業所の取組事例を募集し、HP上で掲載・紹介する。	○各地域における住民・事業者へのCO ₂ 削減に係る取組の働きかけが促進され、一定数の事業所がエコオフィス宣言を実施する。 (新規宣言事業所: 20事業所以上)	○「関西脱炭素アクションポスター」を両面刷り(夏用:表面 冬用:裏面)で印刷し、ポスター配布に要する費用や、CO ₂ 排出の削減につなげている。 ○多様な主体が一堂に会し交流を行う「関西脱炭素フォーラム」を開催し、脱炭素社会に向けた互いの情報の共有や連携が生まれる場として活用する。	○「関西脱炭素アクション」について、4月に統一ポスターにより広く取組を周知。また今年度は電力需給の逼迫により政府から節電要請があったことから、夏季・冬季について省エネの呼びかけを改めて行った。 ○「関西エコオフィス宣言」新規登録は21事業所と、目標数値を達成。 ○「関西脱炭素フォーラム」を11月26日に開催した。	○一定数の事業所が新規でエコオフィス宣言を行った。 (新規宣言事業所 21事業所)	○計画通りに進捗した。 A	○関西脱炭素アクションの取り組みにより、登録事業所数は順調に推移して目標を達成した。 A
令和4年度の課題	広域で実施することによるPR効果や効率性を活かすことを意識し、新規事業への取組・既存事業の改善を図る。					
令和5年度の対応方針	関西脱炭素社会実現宣言を踏まえた「関西脱炭素アクション」や「関西脱炭素フォーラム」の開催等により、広く住民・事業者への啓発を図る。					

関西広域連合の広域環境保全分野に係る施策運営目標

目標設定者： 広域環境保全担当委員 三日月 大造

番号	1-2	事業名	次世代自動車普及促進事業					
予算額	(R4)	217	千円	(R3)	1,680	千円	区分	継続(H26～)
目標			達成状況				評価	
アウトプット	目標数値・アウトカム (目標数値)	昨年度からの 改善事項	アウトプット	達成数値・アウトカム (達成数値)	アウトプット評価	達成数値・ アウトカム評価		
<p>○次世代自動車(EV,PHV,FCV)の外部給電機能に着目し、災害時や屋外活動での活用方法をPRすることで次世代自動車の普及啓発を実施する。</p> <p>○効果的な施策推進を実施するための情報収集や意見交換を行う。</p>	<p>○各自治体実施する防災訓練等に合わせ、普及啓発を実施することにより、次世代自動車の利用メリット等の理解が深まる。</p> <p>参加者アンケート (「次世代自動車への関心が高まった」回答率:80%以上)</p>	<p>○住民・事業者への啓発、次世代自動車の普及、再生可能エネルギーの導入促進等、脱炭素に向けた情報発信や情報共有を、多様な主体が一堂に会する「関西脱炭素フォーラム」で一体的に実施し、それぞれの相乗効果を生み出すことで、各主体の行動変容や新たな連携につなげていく。</p>	<p>○次世代自動車の外部給電機能に着目し、11月26日に開催する「関西脱炭素フォーラム」および構成府県市が行うイベント等で啓発活動を実施。</p> <p>○効果的な施策推進を実施するため、令和5年3月に構成府県市との意見交換会を開催。</p>	<p>○関西脱炭素フォーラムや各構成府県市が行う防災訓練等で普及啓発を行い、次世代自動車への理解や関心を高めることにつながった。</p> <p>参加者アンケート (「次世代自動車への関心が高まった」回答率:82%)</p>	<p>○計画通りに進捗した。</p> <p>A</p>	<p>○関西脱炭素フォーラムや各構成府県市が行う防災訓練等で普及啓発を行い、次世代自動車への理解や関心を高めることにつながった。</p> <p>A</p>		
令和4年度の課題	広域で実施することによるPR効果や効率化を活かして、事業に取り組む。							
令和5年度の対応方針	先進事例等の情報共有を図ることにより構成府県市の取組に活かすとともに、普及啓発により、次世代自動車への乗り換えを呼びかける。							

番号	1-3	事業名	再生可能エネルギーの導入促進事業					
予算額	(R4)	468	千円	(R3)	736	千円	区分	継続(H26～)
目標			達成状況				評価	
アウトプット	目標数値・アウトカム (目標数値)	昨年度からの 改善事項	アウトプット	達成数値・アウトカム (達成数値)	アウトプット評価	達成数値・ アウトカム評価		
<p>○構成府県市間で様々な地域資源を活用した先進事例等の情報共有を図るとともに、エネルギーポータルサイトを活用し、構成府県市で実施している支援制度等の情報を発信する。</p> <p>○研修会等を開催し、地域における再生可能エネルギー導入の担い手となる人材を育成する。</p>	<p>○様々な地域資源を活用した再生可能エネルギー導入の担い手育成が図られ、各府県市の効果的な施策展開につながる。</p> <p>研修会等参加者の (再エネ導入への意欲向上度:) 90%以上</p>	<p>○住民・事業者への啓発、次世代自動車の普及、再生可能エネルギーの導入促進等、脱炭素に向けた情報発信や情報共有を、多様な主体が一堂に会する「関西脱炭素フォーラム」で一体的に実施し、それぞれの相乗効果を生み出すことで、各主体の行動変容や新たな連携につなげていく。</p>	<p>○構成府県市間で、エネルギーポータルサイト掲載情報を収集、発信した。</p> <p>○11月26日に開催する「関西脱炭素フォーラム」にて講演等を行い、地域における再生可能エネルギー導入の担い手となる人材育成を行った。</p>	<p>○研修会(関西脱炭素フォーラム)の開催により、再エネの更なる導入促進に向けた取組の機運醸成および参加者の意欲向上につながった。</p> <p>研修会等参加者の (再エネ導入への意欲向上度:) 96%</p>	<p>○計画通りに進捗した。</p> <p>A</p>	<p>○研修会(関西脱炭素フォーラム)の開催により、再エネの更なる導入促進に向けた取組の機運醸成および参加者の意欲向上につながった。</p> <p>A</p>		
令和4年度の課題	広域で実施することによる波及効果を活かすことを意識して、太陽光をはじめ、小水力やバイオマスなど地域の未利用資源の利活用を促進する。							
令和5年度の対応方針	地域資源を活用した先進事例等の情報共有を図るとともに、構成府県市で実施している支援制度等の情報を発信することにより、各構成府県市の実状に応じた施策展開の後押しをする。							

関西広域連合の広域環境保全分野に係る施策運営目標

目標設定者： 広域環境保全担当委員 三日月 大造

施策運営目標2 (重点方針)	自然共生型社会づくり(生物多様性の保全)	評価区分	中間 最終
施策運営目標の課題	○生態系サービスを維持・向上するため、各主体による持続的な保全・活用を行う必要がある。また、府県市域を越えて移動する鳥獣による農林水産業被害や生活環境被害が発生している。		
対応方針	○「関西の活かしたい自然エリア」の保全・活用を通じて、生物多様性についての理解を促進していく。また、鳥獣の生息・被害状況を継続して把握し、適時適切な対策が実施できるよう人材を育成する。		

番号	2-1	事業名	生物多様性に関する情報の共有および流域での取組による生態系サービスの維持・向上					
予算額	(R4)	4,500	千円	(R3)	4,833	千円	区分	継続(H26~)
目標			達成状況			評価		
アウトプット		目標数値・アウトカム (目標数値)	昨年度からの 改善事項	アウトプット		達成数値・アウトカム (達成数値)	アウトプット評価	達成数値・ アウトカム評価
○関西の活かしたい自然エリア(以下「自然エリア」という。)の地域資源の保全・活用や生態系サービスの維持・向上に資するため、エコツアーモデルコースの検討・作成を行う。 ○関西の活かしたい自然エリアの普及・啓発のためのエコツアー体験学習を開催する。 ○作成したモデルコースを公表する。		○エコツアーモデルコースの検討・作成などを通して自然エリアの地域資源の保全・活用を図り、関西の生態系サービスの維持・向上につなげる。 (エコツアーモデルコースの作成： 6コース)	○感染症対策に留意しながらエコツアー体験学習が実施できるよう対応を検討する。	○関西の活かしたい自然エリアの普及・啓発のためのモデルコースを作成した(R4年度は6エリア分を作成し、過年度作成分も含めて全23エリア分を作成完了)。 (モデルコース 6コース分を作成)		○普及・啓発のためのモデルコースの作成が進むなど、関西の生態系の保全と活用につながる取組が進んでいる。	○当初の予定通りモデルコース作成を行った。	○エコツアーのモデルコースを作成し、自然エリアの保全・活用が進むことで、関西における豊かな生態系サービスの持続的な享受につながることを期待される。
令和4年度の課題	自然エリアの地域資源としての魅力を構成自治体で共有し、継続的にその保全・活用を目指し、構成自治体内に限らない一般府県民に対し、エコツアーモデルコースを効果的に発信する手法の検討が必要。							
令和5年度の対応方針	自然エリアを活かしたスタディツアーを実施するとともに、自然エリアにおける地域資源の保全・活用の取組事例の情報収集を行う。							

番号	2-2	事業名	関西地域カワウ広域管理計画の推進					
予算額	(R4)	16,904	千円	(R3)	17,431	千円	区分	継続(H26~)
目標			達成状況			評価		
アウトプット		目標数値・アウトカム (目標数値)	昨年度からの 改善事項	アウトプット		達成数値・アウトカム (達成数値)	アウトプット評価	達成数値・ アウトカム評価
○関西地域カワウ広域管理計画(第3次)に基づき、以下の取組を行う。 ・カワウ生息動向調査の実施(年3回)。 ・被害地への飛来数および被害状況・対策状況の把握(年1回)。 ・カワウ対策検証事業の広域展開または計画作成支援(年1回)。 ○関西地域カワウ広域管理計画(第4次)の策定		○構成府県においてモニタリング結果等を活用して漁業被害等の対策に取り組まれる。 (被害対策に取り組む構成府県： 6府県)	○関西地域カワウ広域管理計画(第4次)の策定にあたり、現状の詳細な把握に努めるとともに、有識者からの意見をもとに、関西広域連合としての支援の在り方を検討する。	○カワウ生息動向調査を3回実施済。 ○飛来数および被害状況・被害対策状況の把握は、構成府県を通して漁協に照会し、実施済。 ○地域ごとのカワウ対策支援のための専門家派遣を実施中。 ○関西地域カワウ広域管理計画(第4次)策定。		○構成府県においてモニタリング結果等を活用して漁業被害等の対策に取り組まれる。 (被害対策に取り組む構成府県： 6府県)	○生息動向や被害状況等の調査が計画通りに実施した。 ○専門家派遣により現地対策が進んだ。 ○関西地域カワウ広域管理計画(第4次)策定した。	○アウトカム数値は達成している。今後は、調査結果の共有に加え、専門家派遣事業活用等により、地域ごとの課題に応じたカワウ対策の検討が進み、被害軽減につながる取組の進展が期待される。
令和4年度の課題	令和4年夏の生息動向調査でも、令和2年度から連続して増加傾向にあることから、モニタリング調査を継続し、調査結果を構成府県市と共有して、地域の状況に応じた適時適切な対策が必要である。							
令和5年度の対応方針	関西地域カワウ広域管理計画(第4次)に基づき、モニタリング調査の継続、被害地における市町・府県市への取組支援を実施する。							

関西広域連合の広域環境保全分野に係る施策運営目標

目標設定者： 広域環境保全担当委員 三日月 大造

番号	2-3	事業名	広域連携による鳥獣被害対策の推進					
予算額	(R4)	7,630	千円	(R3)	7,867	千円	区分	継続(H26~)
目標			達成状況				評価	
アウトプット	目標数値・アウトカム (目標数値)	昨年度からの 改善事項	アウトプット	達成数値・アウトカム (達成数値)	アウトプット評価	達成数値・ アウトカム評価		
<p>○ニホンジカや外来獣対策の推進のため、以下の取組を行う。 ・委託側と受託側の意思疎通を円滑に進めるための基準類を整備、更新する。 ・受託者、委託者双方の実態についてより検討を重ね、受託者育成テキストを更新する。 ・委託側監督員の監理能力向上を図るとともに事業の成績評価を行うための手法について検討する。 ・有害鳥獣捕獲に係る市町村主催の捕獲従事者講習会のテキスト等を作成し、支援する。</p>	<p>○各構成府県市において適切かつ迅速にニホンジカや外来獣等対策が講じられることで、関西全体での野生鳥獣被害が軽減される。</p> <p>ニホンジカや外来獣等対策に (関する理解が深まったとする講) 座参加者の割合 : 90%以上</p>	<p>○委託者・受注者ともに安全意識の向上、捕獲技術の効率化を目指し、テキスト等の活用を図られるよう、さらなる、課題の抽出とその対応の検討を行う。</p>	<p>○基準類、受託者育成テキストの整備・更新および、これまで作成した鳥獣捕獲事業設計・監理ガイドラインを活用した人材育成講座開催した。</p> <p>○有害捕獲にかかる行政担当者の理解・ガバナンス向上のための行政担当者によるワーキンググループにより検討を行った。</p> <p>○ワーキンググループ等で抽出した課題に対応するための普及啓発資料を作成した。</p>	<p>○効果的な講座の開催に向けて、講座で使用する基準類、テキストの整備・更新、講座等開催を行うとともに、普及啓発にも利用できる資料の作成も行った。</p> <p>ニホンジカや外来獣等対策に関する理解が深まったとする講座参加者の割合 : 100%</p>	<p>○基準類、テキストの整備・更新を計画どおりに実施した。 ○人材育成講座を計画通りに開催した。 ○有害捕獲従事者講習会テキストの作成に向けた準備が計画通りに進んだ。</p> <p style="text-align: center;">A</p>	<p>○構成府県市の職員等が講座を受講することにより、必要な技術、知見を習得し、関西全体の野生鳥獣被害の軽減につながる取組の進展が期待される。</p> <p style="text-align: center;">A</p>		
令和4年度の課題	市町村が実施する有害鳥獣捕獲業務委託において人身事故等が発生しており、市町村に対し安全管理等の注意喚起を行い、委託者が行う捕獲従事者に向けた安全講習会実施の重要性の認識を広める必要がある。							
令和5年度の対応方針	各構成府県市が抱える有害捕獲業務に関する課題を整理し、検討会等で課題解決に向けた方向性を明らかにするとともに、研修会等を通じ被害対策推進のための人材育成を図る。							

施策運営目標3 (重点方針)	循環型社会づくり(資源循環の推進)	評価区分	中間 最終
施策運営目標の課題	○構成府県市における施策方針や取組との重複、整合性を図る必要がある。		
対応方針	○既存の枠組み利用も念頭に置きつつ広域連合の枠組み(組織・エリア)を生かせる取組について担当者会議の場等で引き続き協議、検討を行う。		

番号	3-1	事業名	3R等の統一取組の展開					
予算額	(R4)	4,820	千円	(R3)	5,098	千円	区分	継続(H26~)
目標			達成状況				評価	
アウトプット	目標数値・アウトカム (目標数値)	昨年度からの 改善事項	アウトプット	達成数値・アウトカム (達成数値)	アウトプット評価	達成数値・ アウトカム評価		
<p>○マイボトル運動の推進 ・「マイボトルスポットMAP」の新規登録数を増やすとともに、更新(月1回を目安)およびサイトの管理を行う。 ・プラスチック資源循環促進法の施行によるプラごみ削減効果を活用しつつ、重畳的にマイボトルの利用促進に資する啓発を行い、スポットMAPの認知度向上を図る。</p> <p>○3R等の取組発信 ・プラスチック資源循環促進法の施行によるプラごみ削減効果を活用しつつ、プラごみ削減に資する啓発を行う。 ・プラスチックごみおよび食品ロス削減等について、住民・団体・企業等と連携したシンポジウムを開催する。(1回) ・食品ロス削減にかかる優良事例の収集を行い事例集を作成する。(200部) ・上記ごみ減量についての取組・情報発信を行い、自発的な3Rの実践行動につなげる。</p>	<p>○スポットMAPの運用とマイボトル利用促進啓発により、MAPの認知度向上とともに、マイボトルの利用が促進される。</p> <p>○関西全体で、ごみを出さないライフスタイルへの転換に向けた機運を醸成し、プラごみ・食品ロス削減を中心としたごみ減量の実践取組に繋げる。</p> <p>(スポットMAP登録数 新規登録 : 50以上)</p>	<p>○スポットMAPの周知を図りつつ、若者も含めた幅広い世代に対し、マイボトル利用の実践を促進する企画内容となるよう工夫する。</p> <p>○プラごみと併せて食品ロス削減の重要性も含めたごみ減量の観点から、3R実践行動の促進を強化する。</p>	<p>○マイボトル運動の推進 ・新規登録スポットとして、97か所を追加。 ・登録店舗に対するスポットMAP事業周知・マイボトル利用促進に資するPOPの送付(10月)。 ・登録内容を最新の情報に更新。</p> <p>○3R等の取組発信 ・3R推進月間および食品ロス削減月間である10月に、域内団体等との連携によるイベントを実施。 ・プラスチックごみゼロ・食品ロス削減シンポジウムを12月に開催。 ・食品ロス削減の優良事例を3月に発行。</p>	<p>○スポットMAPの新規登録数の目標を達成することができた。</p> <p>○企業や団体等の先進事例をイベントやシンポジウム、事例集等により幅広く周知することができた。</p> <p>(スポットMAP登録数 新規登録 : 97か所)</p>	<p>○マイボトルスポット登録店舗に給水ポットとして再認識してもらおうと共に、店舗利用客におけるマイボトルの利用を周知・提案するため、レジ横などに設置できるPOPを発行、送付した。</p> <p>○シンポジウムの開催、事例集の発行を予定通り実施した他、域内団体等と連携したイベントを開催することで優良取組事例等の情報発信を行った。</p> <p style="text-align: center;">A</p>	<p>○マイボトル運動の推進では、構成府県市と連携し、新規登録数の増加や利用促進に向けて普及啓発を進めることで、目標を達成することができた。</p> <p>○3R等の取組では、自ら実践しやすい取組事例の情報収集を行い、イベントやシンポジウム等での情報発信により、取組の水平展開を図るとともに、機運醸成に繋げることができた。</p> <p style="text-align: center;">A</p>		
令和4年度の課題	プラスチックごみゼロや食品ロス削減に向け、身近な取組事例等の情報発信を通じた新しいライフスタイルの提案や啓発を行い、削減に向けた実践的な取組を促進する。							
令和5年度の対応方針	プラスチック代替製品の利用促進を図ると共に、家庭や飲食店における食品ロス削減に資する新しいライフスタイルの提案・啓発を行い、削減に向けた実践的な取組を促進する。							

関西広域連合の広域環境保全分野に係る施策運営目標

目標設定者： 広域環境保全担当委員 三日月 大造

施策運営目標4 (重点方針)	持続可能な社会を担う育て	評価区分	中間 最終
施策運営目標の課題	○幼児の気づき・感動を大切に環境学習の推進や、地域特性を活かした交流型環境学習等を通じ、自ら行動し、発信できる環境人材を育成する。		
対応方針	○滋賀県が先行実施している幼児期環境学習事業をモデルに、構成府県市との協力の下、関西広域連合全体で幼児期環境学習を展開する。 ○地域特性を活かした交流型環境学習プログラムなどにより、関西広域連合全体で当該地域の環境や課題等への理解醸成を図るとともに、環境学習を広域で実施する際のノウハウを共有する。 ○環境保全活動団体・金融機関・企業等の交流を図ることで、環境・経済・社会のつながりを構築するとともに、環境保全活動団体の持続可能な活動の実施や人材育成を図る。		

番号	4-1	事業名	人材育成施策の広域展開					
予算額	(R4)	3,800	千円	(R3)	3,696	千円	区分	継続(H26~)

目標			達成状況		評価	
アウトプット	目標数値・アウトカム (目標数値)	昨年度からの 改善事項	アウトプット	達成数値・アウトカム (達成数値)	アウトプット評価	達成数値・ アウトカム評価
<p>○幼児期の環境学習の指導者を育成するための研修会等を実施する。 ・研修会の開催 3回</p> <p>○地域特性を活かした環境学習プログラムなどを通じて、交流型環境学習事業を実施する。 ・徳島県での自然体験教室の開催 1回 ・環境学習船「うみのこ」親子体験航海等の実施回数 3回</p> <p>○環境・経済・社会のつながり創生に向けた取組の一環として、ESG投資を踏まえた企業の役割に焦点をあて、企業と金融機関および企業と環境保全団体等に関するセミナーを実施する。 ・オンラインによるセミナーの開催 2回</p>	<p>○幼児期の気づきや感動を促す環境学習の効果等について理解が広がり、指導者の育成が推進される。</p> <p>○関西広域連合圏域において、地域の環境課題等について相互理解が推進される。</p> <p>○環境・経済・社会のつながりを形成する上で、必要な情報共有や相互理解が推進される。</p> <p>各事業における目標に対する (理解が深まったとする参加者) 割合:90%以上</p>	<p>○セミナーでは、関西全体の環境保全に向けた意識の向上に向け、企業の役割に焦点をあてた内容とし、環境保全活動団体の持続的な活動を促す。</p>	<p>○幼児期の環境学習の推進として、指導者を育成するための研修会を3回実施(12月14日、1月11日、2月9日)。</p> <p>○地域特性を活かした交流型環境学習事業として、徳島県自然体験教室を実施(8月27日)。学習船「うみのこ」親子体験航海を3回実施(7月23日、8月20日、9月23日)。</p> <p>○環境・経済・社会のつながり創生に向けた交流事業として、2回のオンラインセミナーを実施(10月17日、11月18日)。</p>	<p>○幼児期の気づきや感動を促す環境学習の効果等について理解が広がり、指導者の育成が推進された。</p> <p>○交流型環境学習プログラムを通じて、地域の環境課題等に対する相互理解を推進することができた。</p> <p>○環境・経済・社会のつながりを形成するうえで、必要な情報共有や相互理解が推進された。</p> <p>目標に対する理解 (理解が深まったとする参加者割合:99%)</p>	<p>○幼児期の環境学習は、予定どおり実施した。</p> <p>○地域特性を活かした交流型環境学習事業は、徳島県自然体験教室、学習船「うみのこ」親子体験航海ともに予定どおり実施した。</p> <p>○環境・経済・社会のつながり創生に向けた交流事業は、予定どおり実施した。</p> <p>A</p>	<p>○指導者を通じて多くの子どもたちが環境に触れる機会が増えることが期待される。</p> <p>○地域の環境課題等に対する理解や環境保全に関する意識が向上した。</p> <p>○企業、金融機関、環境保全団体等のつながりの形成が期待される。</p> <p>A</p>
令和4年度の課題	構成府県市の取組を踏まえたウィズコロナでの環境学習の推進や環境保全に必要な人のつながりを形成するきっかけづくりを推進する。					
令和5年度の対応方針	幼児期環境学習事業については、本事業をきっかけに新たな事業に取り組む構成府県市があるなど一定の成果を得られたことから、モデル事業の普及は終了とし、令和5年度からは新たに若者参画による環境学習プログラムを実施予定である。その他の事業については、構成府県市のニーズも取り入れながら、引き続き事業を実施する。					

関西広域連合のプラスチック対策分野に係る施策運営目標

目標設定者:プラスチック対策検討会座長 吉村洋文・三日月大造

基本目標 (目指すべき将来像)	地域環境・地球環境問題に対応し、環境・経済・社会の統合的向上による持続可能な関西		
	都市と自然の魅力が同時に享受できる関西の地域特性や高度に集積する環境関連産業を背景に、環境を経済社会活動の基盤として、環境・経済・社会の統合的向上を実現する地域循環共生圏を形成し、他の地域のモデルとなる持続可能な“関西”を目指す。		
令和3年度施策運営目標評価結果に対する外部有識者からの意見	—		

施策運営目標 (重点方針)	プラスチック対策の推進	評価区分	中間 最終
施策運営目標の課題	関西広域連合では令和元年5月に「関西プラスチックごみゼロ宣言」を行ったが、プラスチック削減のためには、プラスチックの製造・流通・消費・廃棄等の各過程に関わる事業者や住民など多様な主体が相互に連携・協力しつつ、実質的に取り組んでいく必要がある。		
対応方針	プラスチックごみの発生抑制と発生源対策の総合的な取組の推進について検討するため、 ①プラスチック代替品の普及可能性調査、②プラスチックごみ散乱状況の把握調査、③プラスチック対策プラットフォームの運営を行う。		

番号	1	事業名	プラスチック代替品の普及可能性、プラスチックごみ散乱状況の把握、プラットフォームの運営					
予算額	(R4)	10,975	千円	(R3)	10,975	千円	区分	継続(R2~)

目標			達成状況		評価	
アウトプット	目標数値・アウトカム (目標数値)	昨年度からの 改善事項	アウトプット	達成数値・アウトカム (達成数値)	アウトプット評価	達成数値・ アウトカム評価
<p>○プラスチック代替品の普及可能性調査 代替製品の社会実装に向けたモデル事業を実施し、社会受容性向上のための消費者ニーズ・意識と対応策を把握検討するとともに、事業者・自治体で使用可能な情報集を取りまとめる。</p> <p>○プラスチックごみ散乱状況の把握手法等調査 ごみ散乱状況推計モデルを改善するとともに、モデルを活用した実態把握、対策の検討及び評価を行うための利活用マニュアルを作成する。</p> <p>○プラットフォームの運営 関係各主体と課題の情報の共有を行い、プラスチックごみ抑制に向けた連携・協働のための意見交換や各方面の情報収集を行う。</p>	<p>○関係各主体のプラスチック代替品普及の取組に資する情報集と、散乱ごみ防止対策の取組に資する推計モデル及びマニュアルが共有される。</p> <p>○関係各主体にプラスチックごみ抑制のための有益な情報が共有される。</p> <p>プラットフォームで共有 (した情報を有益と回答) した参加者:6割以上</p>	<p>○昨年度整理した代替製品の社会実装に向けた課題を踏まえ、モデル事業を実施し、社会受容性向上のための対応策を検討するとともに、情報集を作成する。</p> <p>○散乱ごみに係る地域取組の促進に向けた施策検討に活用するため、推計モデルの検証・補正を行うとともに、マニュアルを作成する。</p> <p>○アンケートの意見などを参考に、プラットフォームを企画・運営する。</p>	<p>○「プラスチック代替品の普及可能性調査」において、モデル事業を実施し、社会受容性向上に向けた課題等を整理するとともに、プラスチック代替素材製品の普及に向けた課題への対応策や様々な先進事例を盛り込んだ情報集を作成した。</p> <p>○「プラスチックごみ散乱状況の把握手法等調査」において、プラスチックごみ散乱状況推計モデルの検証・補正を行うとともに、推計結果の活用方法などを盛り込んだ利活用マニュアルを作成した。</p> <p>○プラットフォームを3回開催し、関係各主体と先進事例や課題などの情報共有を行うとともに、プラスチックごみ抑制に向けた連携・協働のための意見交換を行った。</p>	<p>○情報集及び利活用マニュアルをホームページに掲載するなどし、域内府県・市町村や事業者等に周知した。</p> <p>○関係各主体とプラスチックごみ抑制に向けた有益な情報を共有・発信した。</p> <p>プラットフォームで共有した情報を有益と回答した参加者:9割以上</p>	<p>予定通りの目標を達成できた。</p> <p>A</p>	<p>予定通りの目標を達成できた。</p> <p>A</p>
令和4年度の課題	・情報集や利活用マニュアルにおける効果的な対策及び先導的な事例の充実 ・プラットフォーム参加者のニーズに応じた情報共有					
令和5年度の対応方針	・情報集の更新 ・推計モデルの精緻化及び利活用マニュアルの改訂 ・プラットフォーム参加者のニーズに応じた情報共有					

関西広域連合のエネルギー分野に係る施策運営目標

目標設定者： エネルギー検討会座長 吉村 洋文・三日月 大造

基本目標 (目指すべき将来像)	関西における“望ましいエネルギー社会”の実現		
	広く国民の理解が得られているエネルギー政策のもとで、 ・環境に配慮した、低廉で安全かつ安定した電力・エネルギー供給体制が構築されている。 ・関西の高い省エネ意識の下、省エネ型ライフスタイル・ビジネススタイルが定着している。 ・関西の特性に応じた再生可能エネルギーが最大限活用されている。 ・関西の企業が有する技術・強みが活かされ、活発な産業活動が行われている。		
令和3年度施策運営目標評価結果に対する外部有識者からの意見	—		

施策運営目標 (重点方針)	エネルギー政策の推進	評価区分	中間 最終
施策運営目標の課題	南海トラフ巨大地震への備えや地域経済活性化、さらには脱炭素社会づくりなどの観点を踏まえた取組を進める必要がある。		
対応方針	関西圏の水素サプライチェーン構想の実現のためのプラットフォームの運営、エネルギー政策の推進等に係る国への提案等を行う。		

番号	1	事業名	関西圏の水素サプライチェーン構想具現化に向けた検討(エネルギーに関する構成府県市間の情報共有、国への提案等含む)			
予算額	(R4)	1,969	千円	(R3)	1,279	千円
				区分	継続(H29~)	

目標			達成状況		評価	
アウトプット	目標数値・アウトカム (目標数値)	昨年度からの 改善事項	アウトプット	達成数値・アウトカム (達成数値)	アウトプット評価	達成数値・ アウトカム評価
○令和元年度に策定した関西圏の水素サプライチェーン構想の実現に向けて、関西水素サプライチェーン構想実現プラットフォームを開催し、産学官が連携して、課題の共有や解決策、具体的な水素実装の取組みの検討を行う。 ○エネルギーに関する構成府県市間の情報共有、国への提案等を行う。	関西圏の水素サプライチェーン構想の実現に向けた産学官の交流 (交流会の累計参加者数 80人(交流会:計5回))	—	○一般公開型セミナー(1回)、テーマ別意見交換会(1回)及び先進事例の施設見学会(2回)を開催した。 ○構成府県市会議において、水素関連施策について情報共有を図るとともに、中長期的なエネルギー政策の推進等について構成府県市及びプラットフォーム参加企業等の意見を集約し、R4年6月、国に提案を行った。	リアル・オンライン併用でのセミナー開催、先進事例見学会やタイムリーな課題設定による意見交換会により多数の参加者を得た。 交流会の累計参加者数270人(交流会:4回)	○一般公開型セミナーを開催し、幅広い参加者にプラットフォームの活動をPRするとともに、意見交換会や見学会を通じて産学官の交流を深めた。 ○エネルギー政策の推進について国への提案した。	関西の先進取組み事例の見学、及び水素モビリティの普及等における現状の課題をテーマに設定した意見交換会(ダイアログ)で、幅広い分野からの参加者の議論と理解を深めることができ、参加者の満足度も高かった。
令和4年度の課題	2025年大阪・関西万博及びその後の水素実装に向けた構成府県市における取組とも連携しつつ、具体的なテーマを設定したダイアログを開催し、具体的な取組みの課題共有や解決策を検討する。					
令和5年度の対応方針	2025年大阪・関西万博を契機とした発信や社会実装に向けた動きも踏まえ、2030年頃の水素実装のあり方の整理等を含め、テーマごとのダイアログの開催等により、具体的な取組みの課題共有や解決策等を検討する。					

関西広域連合の企画管理分野に係る施策運営目標

目標設定者： 広域インフラ検討会座長 三日月連会長

基本目標 (目指すべき将来像)	人・モノ・情報が集積する基盤を有する世界のネットワーク拠点関西		
	経済、環境、医療、観光等における関西の魅力を活かして人が集い、高速鉄道網や高速道路網の整備、空港・港湾の機能強化により、国内はもとより、アジア・世界とつながるネットワークを構築する。また、SDGsの推進や、日本の国家戦略であるSociety5.0時代への対応が求められる中、「2025年大阪・関西万博」の開催とそのレガシーを基盤として、人・モノ・情報が集積・融合・発信される世界のネットワーク拠点“関西”を目指す。		
令和3年度施策運営目標評価結果に対する外部有識者からの意見	—		

施策運営目標 (重点方針)	広域交通インフラの機能強化、整備促進	評価区分	中間 最終
施策運営目標の課題	道路整備の推進、空港・港湾機能の強化、北陸新幹線の早期全線開業、リニア中央新幹線の早期全線開業、高速鉄道網の整備を進める必要がある		
対応方針	関西全体として、国に対してインフラ整備のための予算確保や事業推進についての働きかけを行う		

番号	1	事業名	広域インフラ整備促進		区分	継続(H23~)
予算額	(R4)	936	千円	(R3)	936	千円
目標			達成状況			評価
アウトプット	目標数値・アウトカム (目標数値)	昨年度からの 改善事項	アウトプット	達成数値・アウトカム (達成数値)	アウトプット評価	達成数値・ アウトカム評価
<p>【道路整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「広域インフラマップ(道路)」を更新するとともに、国に対して、必要な予算額の確保及び道路整備の推進について要望を実施する。 <p>【空港・港湾】</p> <ul style="list-style-type: none"> 機能強化に向けて、国の予算編成等に対する提案により、国に対して要望を実施する。 <p>【北陸新幹線】</p> <ul style="list-style-type: none"> 関西での機運醸成を図りつつ、北陸新幹線(敦賀・大阪間)建設促進大会を開催するとともに、国等に対して要請活動を実施する。 北陸新幹線建設促進同盟会等とともに国等に対して要請活動を実施する。 <p>【リニア中央新幹線】</p> <ul style="list-style-type: none"> 国の予算編成等に対する提案により、国に対して要望を実施する。 <p>【四国、山陰新幹線ほか】</p> <ul style="list-style-type: none"> 基本計画路線である四国、山陰新幹線等の整備計画への格上げについて、国の予算編成等に対する提案により、国に対して要望を実施する。 	広域インフラ整備が推進される。	—	<p>【道路整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「広域インフラマップ(道路)」を令和4年3月末時点に更新。 令和5年度国の予算編成等に対する提案により、国に対して要望を実施。 <p>【空港・港湾】</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和5年度国の予算編成等に対する提案により、国に対して要望を実施。 <p>【北陸新幹線】</p> <ul style="list-style-type: none"> 北陸新幹線建設促進同盟会等と合同で建設促進大会を開催するとともに、政府・与党に対して要請活動を実施。 北陸新幹線(敦賀・大阪間)建設促進大会を開催するとともに、政府・与党に対して要請活動を実施。 関西圏での機運醸成を図るため、「北陸新幹線整備促進シンポジウムin関西」を大阪市内で開催。 <p>【リニア中央新幹線】</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和5年度国の予算編成等に対する提案により、国に対して要望を実施。 <p>【四国、山陰新幹線ほか】</p> <ul style="list-style-type: none"> 北陸新幹線の早期開業をはじめ、基本計画路線である四国、山陰新幹線の整備計画への格上げについて、令和5年度国の予算編成等に対する提案により、国に対して要望を実施。 	<p>国の予算編成等に対する提案や要請活動等を行った結果、国土交通省令和5年度予算において、北陸新幹線(敦賀・大阪間)の整備について、従来は工事実施計画の認可後に行っていた調査も含め、施工上の課題を解決するための調査等を先行的・集中的に行うための北陸新幹線事業推進調査費12億3,500万円が計上された。</p> <p>国際コンテナ戦略港湾等の機能強化のための予算として、対前年度比6%増加の568億円が計上された。</p> <p>リニア中央新幹線については、6月の骨太の方針において、「全線開業の前倒しを図るため、建設主体が2023年から名古屋・大阪間の環境影響評価に着手できるよう、沿線自治体と連携して、必要な指導、支援を行う」ことが明記された。</p>	A	A
令和4年度の課題	広域インフラ整備促進のため、引き続き、積極的な国への働きかけが必要					
令和5年度の対応方針	広域インフラ整備促進に向け、引き続き積極的に要望を実施していく					

関西広域連合の資格試験・免許等分野に係る施策運営目標

目標設定者： 広域連合長 三日月 大造

基本目標 (目指すべき将来像)	資格試験・免許等事務の一元的な実施・管理による効率化	
	調理師、製菓衛生師及び准看護師に係る試験・免許交付等事務、及び毒物劇物取扱者試験及び登録販売者試験の適正かつ円滑な実施	
令和3年度施策運営目標評価結果に対する外部有識者からの意見	—	

施策運営目標 (重点方針)	資格試験、免許等事務の着実な推進	評価区分	中間 最終
施策運営目標の課題	①適正な試験問題の作成 ②正確かつ迅速な免許証の交付		
対応方針	①試験問題のチェック強化 ②免許等事務の正確かつ円滑な事務の執行		

番号	1	事業名	資格試験事務					
予算額	(R4)	130,581	千円	(R3)	118,444	千円	区分	継続(H25~)
目標			達成状況			評価		
アウトプット	目標数値・アウトカム (目標数値)	昨年度からの 改善事項	アウトプット	達成数値・アウトカム (達成数値)	アウトプット評価	達成数値・ アウトカム評価		
○試験委員と事務局が密な連携のもと、試験問題のチェックを十分行うことにより、問題のチェック強化を図る。	・試験実施にかかる適正運営 (出題ミスの件数:0)	-	○試験委員会等開催状況 調理師・製菓衛生師試験委員会各3回 調理師・製菓衛生師試験調整部会1回 准看護師試験委員会1回 毒物劇物取扱者試験委員会3回 毒物劇物取扱者試験調整部会1回 登録販売者試験委員会3回 登録販売者試験調整部会1回	・調理師・製菓衛生師試験、准看護師試験、毒物劇物取扱者試験及び登録販売者試験における適正な試験の実施 (出題ミス件数:0)	委員会・調整部会ともに計画どおり実施できた。	・調理師・製菓衛生師試験、准看護師試験、毒物劇物取扱者試験及び登録販売者試験において適正な試験が実施された。		
令和4年度の課題	適正な試験問題の作成							
令和5年度の対応方針	継続的な試験実施に向けた適正かつ円滑な運営							

番号	2	事業名	免許交付等事務					
予算額	(R4)	7,265	千円	(R3)	16,311	千円	区分	継続(H25~)
目標			達成状況			評価		
アウトプット	目標数値・アウトカム (目標数値)	昨年度からの 改善事項	アウトプット	達成数値・アウトカム (達成数値)	アウトプット評価	達成数値・ アウトカム評価		
①免許申請に対する正確かつ迅速な免許等の交付 ②非行のあった免許所有者に対する厳正な対処と、准看護師については、再教育研修の適正な実施	・免許交付の処理速度(標準処理期間30日)を維持することができる ・免許所有者に対する信頼が確保できる (免許交付処理期間の維持(30日以内))	-	①免許証等発行件数(令和5年3月末現在) 調理師 : 6,399件 製菓衛生師 : 1,350件 准看護師 : 1,507件 毒物劇物取扱者 : 64件 登録販売者 : 25件 (ただし、毒物劇物取扱者及び登録販売者については、合格証明書のみ) ②再教育研修:0件	①免許証等発行が30日以内に処理できた。 (30日以内)	①免許交付事務を正確、迅速に実施できた。	①30日以内を維持できた。		
令和4年度の課題	継続した免許交付等の適正かつ迅速な対応							
令和5年度の対応方針	利用者ニーズに沿ったより一層の対応							

関西広域連合の広域職員研修分野に係る施策運営目標

目標設定者： 広域職員研修担当委員 岸本 周平

基本目標 (目指すべき将来像)	広域職員研修の実施		
	職員が構成団体内にとどまらず、“関西”という幅広い視野で広域課題に取り組むことができる能力を身につける。		
令和3年度施策運営目標評価結果に対する外部有識者からの意見	—		
施策運営目標 (重点方針)	1、幅広い視野を有する職員の養成及び業務執行能力の向上 2、構成団体間の相互理解及び人的ネットワークの活用 3、効率的な研修の拡大	評価区分	中間 最終
施策運営目標の課題	広域連合における分権型社会の実現を推進するためには、職員が構成団体内にとどまらず、“関西”という幅広い視野で広域課題に取り組むことができる能力を身に付けることが重要である。また、広域連合の事業を円滑に行うためには、職員間の相互理解と連帯感を深めるとともに、研修の合同実施やインターネットの活用による事業の効率化という視点も意識しながら事業実施を進めていく必要がある。		
対応方針	1、「幅広い視野を有する職員の養成及び業務執行能力の向上」を図るため、関西における共通の政策課題等をテーマとした政策立案研修に加え、政策立案に向けて全国の先進的な取組事例等を学ぶ研修を新たに実施するとともに、各団体が主催する特色ある研修等に他団体職員が受講できる取組(団体連携型研修)においては、各団体の協力を得ながら、提供するメニューの多様化を図る。 2、「構成団体間の相互理解及び人的ネットワークの活用」に向けて、広範な人脈づくりを行う政策形成能力研修における合宿や団体連携型研修(特色ある研修に他団体職員が受講できる機会を設ける取組)におけるグループワークを継続。 3、「効率的な研修の促進」のため、構成団体が共通して実施しているような研修やセミナーについて、インターネットを活用したWEB型による研修をさらに拡大。		

番号	1	事業名	集合型研修の実施					
予算額	(R4)	3,491	千円	(R3)	3,581	千円	区分	継続(H23~)
目標			達成状況			評価		
アウトプット	目標数値・アウトカム (目標数値)	昨年度からの 改善事項	アウトプット	達成数値・アウトカム (達成数値)	アウトプット評価	達成数値・ アウトカム評価		
政策形成能力研修の実施 ①関西における共通課題を基にテーマを設定し、政策立案演習を中心とした研修を実施。 ②政策立案に向けて全国の先進的な取組事例等を学ぶ宿泊を伴わない2日間の集中講義形式を実施。	関西における共通課題等について研究を行うことを通じ、広域的な視点での政策形成の能力向上を図る。また、構成団体の職員間の相互理解を深め、人的ネットワークの形成につなげる。 (受講者の研修内容に係る理解度90%以上)	新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防ぐため、WEBによる研修を活用する等、「新しい生活様式」に対応した研修の実施方法を検討する。	①「10年後の関西の農業」をテーマに、11月に1日の講義(集合型)、1月に2日間のグループワーク(悪天候のためWEB型)を実施し、計3日間のグループ演習形式の研修を実施 ②1月に統計的思考・エビデンスに基づく政策立案、2月にデザイン思考に基づく政策立案をテーマに集中講義形式の研修を実施	①グループ演習形式については、17名が受講し、研修内容について100%の参加者が理解できたと回答した。 ②集中講義形式については、37人が参加し、研修内容について、91%の受講生が理解できたと回答した。 (受講者の研修内容に係る理解度93%)	①悪天候のため、急遽、実施方法を集合型からWEB型に変更したが、円滑に研修を実施することができた。 ②新たな研修テーマを追加することで、受講者数が拡大した。	受講者アンケートの結果、内容の理解度が高いことに加え、他府県市の職員との交流が図られたことについての満足度が高く、施策運営目標に沿った評価を得ることができた。	A	A
令和4年度の課題	令和3年度はWEBを活用した研修がメインであったが、アンケートの中では、対面による開催希望の声もあり、集合研修でのメリットとWEBの活用をうまく融合させていく必要がある。							
令和5年度の対応方針	現地視察や合宿について、コロナ禍で実施を控えていたが、状況を注視し、可能であれば再開していく。							

番号	2	事業名	WEB型研修の実施					
予算額	(R4)	100	千円	(R3)	200	千円	区分	継続(H25~)
目標			達成状況			評価		
アウトプット	目標数値・アウトカム (目標数値)	昨年度からの 改善事項	アウトプット	達成数値・アウトカム (達成数値)	アウトプット評価	達成数値・ アウトカム評価		
WEBを活用した研修の実施 研修本会場と他会場をインターネットで結んだ「WEB型研修」を実施する。	・研修会場までの移動に係る経費の削減 ・研修受講機会の拡大 WEB型研修実施数5研修 (受講者の研修内容に係る理解度90%以上)	構成団体の協力の下、WEB型研修の提供メニューの確保に努めるとともに、開催会場の拡大を図る。	WEB型研修を30研修実施した。	WEB型研修実施数30研修 WEB型研修実施数30研修 (理解度98%)	構成団体から提供のあった30研修について、WEB型研修を実施し、目標を達成することができた。	移動時間や旅費が不要で研修に参加しやすくなった等、受講者から良好な評価を得ており、研修事務の効率化及び受講機会の拡大が図られた。	A	A
令和4年度の課題	魅力的な内容の研修を拡充し、受講者増を目指す。							
令和5年度の対応方針	構成府県市と協力し、新たな研修の掘り起こしを行う。							

関西広域連合の地方分権改革の推進に係る施策運営目標

目標設定者： 広域連合長・政府機関等対策委員長 三日月大造

基本目標 (目指すべき将来像)	○国土の双眼構造を実現し、分権型社会を先導する関西 ○関西における広域行政の責任主体としての役割を担う関西広域連合
	○国と地方の二重行政の解消及び政府関係機関等の関西への移転推進に取り組む。 ○関西全体として、スリムで効率的な行政体制へ転換し、全国に先駆け地方分権の突破口を開く。
令和3年度施策運営目標評価結果に対する外部有識者からの意見	—

施策運営目標1 (重点方針)	分権型社会の実現に向けた効果的取組の推進	評価区分	中間 最終
施策運営目標の課題	広域連合設立後10年余りの社会情勢の変化に伴う地方分権改革気運の停滞		
対応方針	現行の取組は継続しつつ、有識者に提言・意見を求め、今後優先的に着手すべき取組の検討を進める		

番号	1-1	事業名	国の事務・権限の移譲促進等					
予算額	(R4)	768	千円	(R3)	707	千円	区分	継続(H26~)

目標			達成状況		評価	
アウトプット	目標数値・アウトカム (目標数値)	昨年度からの 改善事項	アウトプット	達成数値・アウトカム (達成数値)	アウトプット評価	達成数値・ アウトカム評価
・国の事務・権限の移譲に向けて、国の予算編成等に対する提案、地方分権改革に関する提案募集等により国へ提案・協議を行う。 ・広域連合設立後10年余りの社会情勢の変化を踏まえ、地方分権や国土構造に関する有識者の執筆による提言・意見集を編集する。 ・有識者の提言・意見を踏まえ、今後優先的に着手すべき取組の検討を進める。	(—)	・有識者提言・意見集の編集 ・有識者の提言・意見を踏まえて今後優先的に着手すべき取組の検討	・提案募集において、国家資格等手続オンライン化の対象資格拡大を求める規制緩和提案(5件)が「提案の趣旨を踏まえ対応」とされ、実現の方向で検討する旨閣議決定済み ・都道府県域を越える広域自治体行政の強化に向けて、第33次地制調査会長等に対する関係連との共同提言を実施 ・提言・意見集「未来の希望を担う関西広域連合へ」を編集、執筆有識者と広域連合委員との意見交換を実施 ・有識者の提言・意見を踏まえ、優先的に着手すべき取組を次期広域計画に反映	(—)	A	B
令和4年度の課題	有識者の提言・意見を踏まえて今後優先的に着手すべき取組の検討					
令和5年度の対応方針	関西広域連合の役割拡充に向けて国に対する提案活動を実施するとともに、優先的に着手すべき取組を反映した次期広域計画の推進を図る。					

番号	1-2	事業名	政府機関の移転の促進					
予算額	(R4)	701	千円	(R3)	1,051	千円	区分	継続(H30~)

目標			達成状況		評価	
アウトプット	目標数値・アウトカム (目標数値)	昨年度からの 改善事項	アウトプット	達成数値・アウトカム (達成数値)	アウトプット評価	達成数値・ アウトカム評価
・政府関係機関等の地方移転並びに機能向上を推進するため、政府機関と構成団体等の連携事業についての情報共有などを行い、連携・施策展開による地方創生推進を図る。 ・政府機関等の移転の進捗状況等の情報発信を行う。	(—)	さらなる新たな連携取組につなげるため、関西広域連合各分野事務局が実施する連携事業の結果についても情報共有を行う。	・適宜、政府機関及び構成団体等と情報共有を行うとともに、政府機関等を含めた関係団体による会議を開催している(第1回:6月、第2回:10月、第3回:3月)。 ・文化庁の京都での業務開始に向けた機運醸成のため、関西経済連合会と共催でシンポジウムを開催。(オンラインを含め約190名が参加) また、関西広域連合メールマガジン、SNS等で広報を実施。 ・イベント等において在関西政府機関等との地方創生推進に関するパンフレットを送付する等、政府機関移転のPRを実施。	(—)	A	A
令和4年度の課題	文化庁の全面的移転及び業務開始に向けた機運醸成、政府機関等移転効果の関西全域への拡大					
令和5年度の対応方針	政府機関等との地方創生推進会議の継続実施による政府機関との連携した取組の創出及びパンフレットを活用したPR活動の実施					

関西広域連合の地方分権改革の推進に係る施策運営目標

目標設定者： 広域連合長・政府機関等対策委員長 三日月大造

番号	1-3	事業名	市町村との連携					
予算額	(R4)	544	千円	(R3)	634	千円	区分	継続(H24~)
目標			達成状況				評価	
アウトプット	目標数値・アウトカム (目標数値)	昨年度からの 改善事項	アウトプット	達成数値・アウトカム (達成数値)	アウトプット評価	達成数値・ アウトカム評価		
近畿市長会、近畿府県町村会長をはじめ管内の市町村代表者等との情報共有を行い、信頼関係を構築し、関西全体として、国出先機関の円滑な移管実現をはじめとする分権改革の実現に向けた気運醸成を図る。	・意見交換会の開催に加え、より幅広い情報提供を行うことにより関西の課題等の共通認識につながる。 (市町村への情報提供 件数:12件)	より幅広い情報共有を図る	7月に意見交換会を開催。 関西広域連合メールマガジンによる関西広域連合の取組に関する情報提供	市町村への情報提供 (12)	意見交換会では、テーマ設定(第5期広域計画について)を行うことで、活発な意見交換がなされ、関西の課題について共通認識を深められた。	メールマガジンによりタイムリーな情報提供ができた。		
令和4年度の課題	市町村への情報共有度をさらに高める。							
令和5年度の対応方針	今後も時宜を得たテーマの設定をすることで、活発な意見交換を促す。							

施策運営目標2 (重点方針)	琵琶湖・淀川における流域ガバナンスの向上に向けた取組の推進	評価区分	中間・最終
施策運営目標の課題	琵琶湖・淀川流域における適切な課題の共有及びプロセスを経由した流域対策が必要		
対応方針	琵琶湖・淀川流域対策に係る研究報告書に基づく議論の場づくり		

番号	2-1	事業名	広域的な流域対策の検討					
予算額	(R4)	6,750	千円	(R3)	7,500	千円	区分	継続(H26~)
目標			達成状況				評価	
アウトプット	目標数値・アウトカム (目標数値)	昨年度からの 改善事項	アウトプット	達成数値・アウトカム (達成数値)	アウトプット評価	達成数値・ アウトカム評価		
琵琶湖・淀川流域対策に係る研究会の各部会(リスクファイナンス部会・水源保全部会)からの報告書について、連絡会議での議論を踏まえ、 【リスクファイナンス】 昨年度にとりまとめられた連絡会議報告書などこれまで取り組んできた事などを国関係機関や大学等の研究機関に情報提供や提案を行う。 【水源保全】 引き続き連絡会議を開催し、府県市で実施している水循環に関する施策の調査・共有や既往の研究やデータの調査・共有を行う。流域の一般住民向けにシンポジウム等の開催を検討する。	【リスクファイナンス】 流域での共助の必要性の発信、国や大学研究機関等との連携の可能性の模索。 【水源保全】 流域の水循環の重要性についての認識の共有。流域内の一般住民への流域連携の機運の醸成。 (-)	流域府県市でそれぞれの実施する施策を共有することで水循環の重要性を共有することができる。	【リスクファイナンス】 連絡会議報告書を国関係機関や大学等の研究機関等に情報発信・提案した。 【水源保全】 構成府県市で実施している施策の共有のための調査を実施。また、調査結果を共有するとともに、「琵琶湖を育む森林に関する研究」についての研究内容の紹介を行った。 近畿地方整備局等7団体に後援をいただき、一般住民等向けシンポジウム「気候変動とどう向き合うか～琵琶湖・淀川流域を巡る治水・利水そして自然環境保護のドラマ～」をおこなった。また、同時開催で展示「これからの琵琶湖・淀川流域～このドラマを紡ぐために～」を11ブースで実施した。	実施した施策等の調査結果の共有・意見交換を実施。 (-)	目標とした取組について実施することができた。	目標とした取組について実施することができた。		
令和4年度の課題	【リスクファイナンス】連絡会議の報告書やこれまでの取組みの情報発信・提案 【水源保全】流域の構成府県市の施策の共有							
令和5年度の対応方針	引き続き構成府県市間での施策や研究の共有を行う。また、流域連携の機運醸成にむけてシンポジウムの開催を行う。「つながる関西」「水のつながり」を創っていくための具体的な取組について検討していく。							

関西広域連合の企画管理分野に係る施策運営目標

目標設定者： 広域連合長 三日月 大造

基本目標 (目指すべき将来像)	関西広域連合が目指すべき将来像の実現		
	経済界や連携団体、地域活動団体等との連携・協働等を積極的に推進し、「関西広域連合が目指すべき関西の将来像」の実現を目指す。		
令和3年度施策運営目標評価結果に対する外部有識者からの意見	—		

施策運営目標 (重点方針)	官民連携の推進	評価区分	中間 最終
施策運営目標の課題	様々な主体との積極的な連携・協働を進める必要がある。		
対応方針	経済界との定期的な意見交換会を開催するとともに、必要に応じて「官民連携組織」を設置し、官民が連携したオール関西の取組の着実な推進を図る。		

番号	1	事業名	官民連携の推進			
予算額	(R4)	3,468	千円	(R3)	2,906	千円
				区分		継続(H24~)

目標			達成状況		評価	
アウトプット	目標数値・アウトカム (目標数値)	昨年度からの 改善事項	アウトプット	達成数値・アウトカム (達成数値)	アウトプット評価	達成数値・ アウトカム評価
<p>○関西における様々な課題等について意見交換を行い、官民連携の強化を図るため、関西経済界との意見交換会を開催する。</p> <p>○万博開催の効果を関西全域に波及させるため、「2025年大阪・関西万博連絡会議」を開催し、構成府県市や博覧会協会と連携して取り組む。</p> <p>○関西における女性活躍推進を図るため、関西経済連合会をはじめ様々な主体と連携し設置した「関西女性活躍推進フォーラム」において、「関西女性活躍行動宣言」の推進に向け特定のテーマを設けて取り組む。</p> <p>○関西におけるSDGsの理念の普及及びネットワークの構築に向け、JICA関西、近畿経済産業局と共同で「関西SDGsプラットフォーム」を運営する。 ・コアイベントの開催(年1回)</p>	<p>・関西における様々な課題への対応と官民連携の取組の推進</p> <p>・万博を通じた関西の魅力発信に向けた取組の推進</p> <p>・女性活躍推進のため設定したテーマについて、機運醸成と意識啓発が図られる</p> <p>・関西におけるSDGsの理念の普及</p> <p>(—)</p>	—	<p>○7月21日に関西経済連合会との意見交換会を、1月26日には商工会議所等、関西経済界との意見交換会を開催した。</p> <p>○「2025年大阪・関西万博連絡会議」を8回開催し、構成府県市や博覧会協会と連携して取り組んでいる。</p> <p>○女性活躍推進に向け、「Z世代社員の人材育成とキャリアデザイン」を切り口として、オンラインシンポジウムを開催した。</p> <p>○関西SDGsプラットフォームのネットワークを活用して各種事業を後援したほか、コアイベントとなる「関西SDGsユース・ミーティング2022」を開催した。</p>	<p>・意見交換会や会議を実施し、関西における様々な課題に対応するため、官民連携の取組を推進した。</p> <p>・万博連絡会議における構成府県市及び博覧会協会の取組の情報共有や意見交換を通じ、関西の魅力発信の取組を推進した。</p> <p>・シンポジウムの開催(参加者：約300名)により、女性活躍推進のための機運醸成と意識啓発を図った。</p> <p>・関西SDGsプラットフォームの運営やコアイベントの開催により、SDGsの理念普及を推進した。</p> <p>(—)</p>	<p>関係団体・機関との連携・協働により、官民連携を推進するための各種会議等を、計画通り実施できた。</p> <p>A</p>	<p>関西における課題対応や万博を通じた関西の魅力発信に向けた取組、女性活躍のための機運醸成、SDGsの理念の普及等、官民が連携して取組を推進した。</p> <p>A</p>
令和4年度の課題	関西における様々な課題に対する官民連携の取組の推進					
令和5年度の対応方針	引き続き構成府県市、関係団体等と連携・協働を図りながら、各目標の達成に向けた取組を推進する。					

関西広域連合の企画管理分野に係る施策運営目標

目標設定者： 広域連合長 三日月 大造

基本目標 (目指すべき将来像)	関西広域連合が目指すべき関西の将来像の実現		
	住民等に対し広域連合のメリットや、広域事務の情報発信等を積極的に行い、理解の促進に務める。		
令和3年度施策運営目標評価結果に対する外部有識者からの意見	—		

施策運営目標 (重点方針)	情報発信の推進	評価区分	中間・ 最終
施策運営目標の課題	広域連合の認知度向上		
対応方針	ホームページ、SNS、広報誌等を効果的に活用することで住民にわかりやすい情報発信を行い、広域連合の認知度の向上を図る。		

番号	1	事業名	情報発信の推進					
予算額	(R4)	4,720	千円	(R3)	5,630	千円	区分	継続(H22~)

目標			達成状況		評価	
アウトプット	目標数値・アウトカム (目標数値)	昨年度からの 改善事項	アウトプット	達成数値・アウトカム (達成数値)	アウトプット評価	達成数値・ アウトカム評価
広域連合の見える化の推進 ・ホームページ、メールマガジン、フェイスブック、ツイッターを活用した情報発信 ・パンフレット、ニュースレター、チラシ等多様な広報媒体の活用 ・イベント等におけるPR活動の実施	・ホームページ閲覧数： 2,500,000ビュー ・メールマガジン登録者数： 4,800人 ・フェイスブックフォロワー数： 940人 ・ツイッター閲覧数：4,000件 (10ヶ月間)	・ツイッターによる情報発信の開始(5/30~) ・必要な情報にアクセスしやすい構成にするなど、ホームページの利便性向上	・ツイッターを新たに開設し、各種取組の紹介等を行った(10ヶ月間で132件発信)。 ・メールマガジン、フェイスブックでも引き続き各種取組の情報発信を行った。また、メールマガジンにおいては連合委員からのメッセージを定期的に配信した(メルマガ59件(うち委員メッセージ37件)、ニュースレター12件)。 ・関西広域の行政情報のゲートウェイ機能を担えるようホームページに構成府県市の情報を集約したページを開設。またトップページを見やすいレイアウトに改修した。 ・広域産業振興局の海外産業プロモーションと連携し、フランス(パリ及びオクシタニ州モンペリエ)開催のクリア・パリ企画展「伝統と先端と」~日本の地方の底力~」にて関西広域連合リーフレットの配布によるPRを実施した。	・ホームページ閲覧数： 1,996,202ビュー ・メールマガジン登録者数： 5,013人 ・フェイスブックフォロワー数： 912人 ・ツイッター閲覧数：81,888件 (10ヶ月間)	新たにツイッターを開設し、SNSの活用を始めた。また、ホームページの利便性向上のための改修も行き、予定通り取り組むことができた。	新規開設したツイッターを積極的に運用したところ、閲覧数を目標値より伸ばすことができた。また、メールマガジンの登録者数も目標を上回ることができ、広域連合の情報より多くの方に届けることができた。 一方でホームページの閲覧数が伸び悩んでいるので、引き続きアクセスしやすいホームページの運営に努める。
令和4年度の課題	広域連合を認知されていない方々へ情報を届けること					
令和5年度の対応方針	令和4年度に引き続き、広域連合を認知されていない方々へ情報を届けられるようSNS等を活用した広報を実施する					